

公益財団法人日本モンキーセンター 事業方針

この法人は定款第4条の定めるところにしたがい、以下の事業をおこなう。

1. 公益事業

- (1) 霊長類に関する総合的な調査研究
- (2) 霊長類の保護及びその生息地の保全に関わる活動
- (3) 霊長類に関する環境教育並びに社会普及活動
- (4) 霊長類に関する図書及び学術誌の刊行
- (5) 霊長類の標本等の資料の収集・管理及び展示
- (6) 霊長類の福祉に配慮した動物園の設置及び経営
- (7) 霊長類の適切な飼育・展示並びにこれに関する技術的指導及び協力
- (8) 霊長類に関する研究会、講演会の開催
- (9) 霊長類等に関する展示、保全、環境教育及び社会普及活動に関わる人材の育成
- (10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2. 収益事業

- (1) 動物園における物品並びに飲食物販事業
- (2) 所有する土地・建物の賃貸事業
- (3) その他動物園等に関連する収益事業

I 公益事業

(1) 調査研究

1. 霊長類に関する調査研究の実施

- (1) 霊長類をはじめとする野生生物の社会行動の研究
- (2) 霊長類をはじめとする野生生物の進化に関する研究
- (3) 霊長類をはじめとする野生生物の形態学的研究
- (4) 霊長類をはじめとする野生生物の生態学的研究
- (5) 霊長類をはじめとする野生生物の遺伝学的研究
- (6) 霊長類をはじめとする野生生物の保全研究
- (7) 霊長類の福祉に配慮した飼育管理に関する研究
- (8) 霊長類の福祉に配慮した獣医療に関する研究
- (9) 霊長類を中心とした教材開発に関する研究
- (10) 霊長類標本の作成・管理に関する研究並びに研究利用
- (11) 霊長類の生体及び標本を活用した連携研究の推進
- (12) 研究会等の積極的参加による情報の交換と収集
- (13) 霊長類稀少種の繁殖に関する研究
- (14) 市民参加による霊長類をはじめとした生物多様性の保全に関わる基礎研究

2. 研究倫理ガイドライン

2016年4月1日より施行

外部委員含む7名からなる研究倫理委員会を設置

3. 外部研究費による研究活動（モンキーセンター受入分）

- (1) 日本学術振興会科学研究費基盤研究C（2023～2025年度）
代表者：赤見理恵
分担者：高野智
課題名：動物園と高等学校等の連携による「総合的な探求の時間」の実践
- (2) 日本学術振興会科学研究費若手研究（2022～2024年度）
代表者：豊田有
課題名：霊長類の協力行動におけるミームの探求：
ベニガオザルの連合形成をモデルとして
- (3) 日本学術振興会科学研究費特別研究員奨励費（2023～2026年度）
代表者：豊田有
課題名：「子はかすがい」仮説：ベニガオザルのアカンボウが寛容的社会で担う役割の解明
- (4) 日本学術振興会科学研究費国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）（2019～2024年度）
代表者：松田一希（京都大学）
分担者：豊田有
課題名：霊長類の性的二型の進化要因の解明
- (5) 日本学術振興会科学研究費基盤研究B（2024～2028年度）
代表者：山梨裕美（京都市動物園）
分担者：林美里
課題名：動物園動物の「生きる」をサポートするシステムの開発

- (6) 公益財団法人トヨタ財団 2023 研究助成プログラム
(2023 ~ 2025 年度)
代表者：山梨裕美 (京都市動物園)
分担者：林美里
課題名：動物園でかたちづくると動物の共生の形：
動物福祉の評価と実践
- (7) 中部大学「問題複合体を対象とするデジタルアース共同
利用・共同研究拠点」共同研究 (2024 年度)
代表者：赤見理恵
課題名：妙高笹ヶ峰におけるニホンザル分布拡大と環境
変化モニタリングへのデジタルアースの活用
- (8) 中部大学「問題複合体を対象とするデジタルアース共同
利用・共同研究拠点」共同研究 (2024 年度)
代表者：豊田有
課題名：デジタルアース技術を活用した野生ベニガオザル
地域集団の保全：地域農業との持続的な共存の探究

4. 他機関との連携

- (1) 京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科との共同研究
研究題目：野生霊長類とその生息地の保護保全活動の
ための情報及び技術の相互交換
- (2) 大型類人猿情報ネットワーク (GAIN) との連携
武田康祐、綿貫宏史朗
- (3) 地球規模生物多様性情報機構 (GBIF) およびサイエンス
ミュージアムネットへの標本情報の提供
- (4) 環境省生物多様性センター モニタリングサイト 1000
里地調査の実施 (S118 犬山地域：日本モンキーセンター
哺乳類調査グループ)
園敷地内 3ヶ所にセンサーカメラを設置
設置期間：2024 年 5 月 21 日～8 月 30 日
10 月 11 日～12 月 31 日
撮影された中大型哺乳類 (数字は総撮影頭数)：
イノシシ 379、タヌキ 66、キツネ 27、
ハクビシン 27、アライグマ 17、ニホンザル 9、
アナグマ 7、イタチ類 7、テン 1

5. 研究業績

(1) 論文他

- Correia-Caeiro C, Costa R, Hayashi M, Burrows A, Pater J, Miyabe-Nishiwaki T, Richardson JL, Robbins MM, Waller B, Liebal K. (2025) GorillaFACS: The Facial Action Coding System for the *Gorilla spp.* PLoS ONE 20(1): e0308790. doi: 10.1371/journal.pone.0308790
- Costa R, Brandão Â, Hayashi M. (2024) The behavioral sequences of mountain gorillas under tourism pressure –Insights for tourism sustainability. Primate Conservation. 37: 121-133.
- Costa RFP, Xu S, Brandao A, Hayashi M. (2025) Reconnection with nature through empathy: Rewiring people and animals by assessing zoo visitors's connection to species and the need for their conservation. Frontiers in Psychology. 16: 1517430. doi: 10.3389/fpsyg.2025.1517430

- Howard-Spink E, Hayashi M, Matsuzawa T, Schofield D, Gruber T, Biro D (2024) Nonadjacent dependencies and sequential structure of chimpanzee action during a natural tool-use task. PeerJ. 12: e18484. doi: 10.7717/peerj.18484/supp-1
- Iwaide S, Takemae H, Oba M, Owaku K, Kobayashi N, Itoh Y, Kozono T, Hisada M, Miyabe-Nishiwaki T, Watanuki K, Yanai T, Inoue H, Murakami T. (2024) Systemic AL kappa chain amyloidosis in a captive Bornean orangutan (*Pongo pygmaeus*). Research in Veterinary Science. 175: 105315. doi: 10.1016/j.rvsc.2024.105315
- Kikuchi Y, Amano H, Ogihara N, Nakatsukasa M, Nakano Y, Shimizu D, Kunimatsu Y, Tsujikawa H, Takano T, Ishida H. (2024) Retrodeformation and functional anatomy of a cranial thoracic vertebra in *Nacholapithecus kerioi*. Journal of Human Evolution. 198: 193613. doi: 10.1016/j.jhevol.2024.103613
- Malaivijitnond S, Toyoda A. (2024) Understanding Monkey Behavior: Strategies to End Conflicts and Control Population. The Thai Journal of Veterinary Medicine. 54 (Suppl. 4): S17-S20
- 森光由樹, 渡邊邦夫, 佐藤喜和, 赤見理恵. (2024) 新たなニホンザル保全・管理のネットワーク ~ニホンザルの研究・行政・一般市民をつなぐ試み~: 第 39 回日本霊長類学会大会自由集会報告. 霊長類研究. 40: 25-34. doi: 10.2354 / psj.40.003
- 諸澤崇裕, 高久宏佑, 松木崇司, 川本朋慶, 入口友香, 中島淳, 北川忠生, 綿貫宏史朗. (2025) 個体数推定に基づく生息域外保全に向けたファウンダー確保の取組: 国内希少野生動物種指定のスジシマドジョウ類を例として. 魚類学雑誌. (早期公開)
- Toyoda A, Gonçalves A, Maruhashi T, Malaivijitnond S, Matsuda I. (2024) Necrophilic behaviour in wild stump-tailed macaques (*Macaca arctoides*). Scientific Report. 14: 10946. doi: 10.1038/s41598-024-61678-z
- Yamanashi Y, Ikkatai Y, Honjo M, Tokuyama N, Akami R, Wilson DA, Buchanan-Smith HM. (2025) A comparison of attitudes towards animal welfare between British and Japanese zoo visitors: Where and when do cultural differences diverge? PLoS ONE. 20(4): e0320241. https://doi.org/10.1371/journal.pone.0320241

(2) 書籍

- 山極壽一. (2024) ゴリラと野生動物の復活劇. In: 吉田昌夫, 白石壯一郎 (編) ウガンダを知るための 62 章 (第 2 版). pp. 29-33.
- 山極壽一. (2024) 信頼は時間の関数. In: 離島経済新聞社 (編). 世界がかわるシマ思考—離島に学ぶ、生きるすべ. pp. 97-102.
- 山極壽一. (2024) 戦争と平和—学問はどうあるべきか. In: 羽場久美子 (編) 世界の中の日本. pp. 127-154.
- 山極壽一. (2025) 老いの思考法. 220 pp.
- 山極壽一, きむらゆういち, 林家木久扇. (2024) ゴリラとオオカミ・ヤギとゾウのお話 僕のコミュニケーションの掟. 160 pp.

山極壽一. (2024) ゴリラの研究と保護の狭間で一チンパンジーと共存していたゴリラ. In: 木村大治, 武内進一 (編) コンゴ民主共和国を知るための50章. pp. 48-52.

(3) 連載・記事 (モンキー掲載分を除く)

① 山極壽一 京都新聞『天眼』
美を愛でる心 2024年6月9日
水系のつながりを見直す 9月15日
高校生の環境問題意識 12月8日
報道されない戦争と自然保護活動
2025年3月16日

② 山極壽一 朝日新聞『科学季評』
変化の時代「適応と分散」を — 「選択と集中」は進化論か 2024年6月13日
ヒトが選ぶべきリーダーとは — サル型 ゴリラ型
群れを率いる資質 9月12日
闘争は人間の本性なのか—勝敗つけずに共存
ゴリラのように 12月12日
自然の「あわい」に耳澄ませて 2025年3月13日

③ 山極壽一 Travel Journal『未来社会の探求』
人は旅によって進化した
2024年4月1日号:p. 19.
出会いと気づき 2024年4月29日号:p. 19.
歩く旅の面白さ 2024年6月3日号:p. 19.
旅と包丁 2024年7月1日号:p. 19.
パラレル・ワールド 2024年7月29日号:p. 19.
モンキーツーリズム 2024年9月2日号:p. 19.
野生のゴリラを見る旅 2024年9月30日号:p. 19.
エコツーリズムの本質 2024年11月4日号:p. 19.
旅と美景 2024年12月2日号:p. 19.
真のおもてなし
2025年1月6日・13日合併号:p. 19.
オーバーツーリズム 2025年2月10日号:p. 18.
ツーリズムの未来 2025年3月10日号:p. 19.

④ 犬山市 広報犬山「モンキーレポート」
第83回 国内最後の1頭、サイクスモンキーのライト
2024年4月号 宗像大和
第84回 霊長類の音声コミュニケーション
2024年5月号 高野智
第85回 河合雅雄先生の足跡
2024年6月号 林美里
第86回 モンキーだけでないモンキーセンター
2024年7月号 下村実
第87回 8月15日は国際ワタボウシタマリンの日
2024年8月号 赤見理恵
第88回 『世界ゴリラの日』を盛り上げよう！
2024年9月号 田中ちぐさ
第89回 動物慰霊祭
2024年10月号 赤見理恵
第90回 成長まっさかり！アビシニアコロブスの
イエモン
2024年11月号 武田直子
第91回 秋の風物詩！？ニホンザルの市街地出没
2024年12月号 赤見理恵

第92回 どこが変？古い霊長類図鑑
2025年1月号 新宅勇太
第93回 記憶の旅路の道しるべ ～日本初公開の
キンシコウ～
2025年2月号 今井由香
第94回 Waoランド20周年
2025年3月号 川崎千穂

⑤ その他記事

山極壽一. (2024) 地域住民ら巻き込み活動—世界的ゴリラ研究者の死に学ぶ、おかげさんで今. 神戸新聞朝刊. 2024年4月13日.
山極壽一. (2024) 生物界の論理逆転する危険. 論点「神への挑戦—生命科学の急発展」. 毎日新聞朝刊. 2024年6月21日.
山極壽一. (2024) 思春期は学びの時—ゴリラの先生高校生にエール. 毎日新聞朝刊. 2024年8月12日.
山極壽一. (2024) 現論 自然の循環忘れた人類. 京都新聞朝刊. 2024年10月1日.
山極壽一. (2024) 政治に「ゴリラ型を」衆院選、識者の見方. 日本経済新聞朝刊. 2024年10月29日.
山極壽一. (2024) 私の3冊. 公明新聞. 2024年12月23日.
山極壽一, 湯崎英彦. (2025) 大阪関西万博「いのち輝く未来社会のデザイン」—「平和の尊さ」と「美味しさの宝庫」広島県の魅力追発進. 中国新聞朝刊. 2025年2月15日.

(4) そのほか執筆

Costa R. (2024) O Bom, o Mau e o Vilão do Ecoturismo: O Frágil Sucesso do Turismo de Gorilas e a Vulnerabilidade Desta Espécie. (<https://wilder.pt/opiniao/o-bom-o-mau-e-o-vilao-do-ecoturismo-o-fragil-sucesso-do-turismo-de-gorilas-e-a-vulnerabilidade-desta-especie>)
Costa R. (2024) On the path to ethical and sustainable tourism: what to do and what you should not do when visiting mountain gorillas. Faunalytics. (<https://faunalytics.org/mountain-gorilla-tourism-the-gorillas-perspective/>)
伊沢紘生, 筒井颯, 赤見理恵. (2025) 石川県内の野生ニホンザルの個体群動態について. 石川県自然保護センター報告書.
関野吉晴, 渡辺実優, 山極壽一. (2024) 地球永住計画—これからの地球でどうやって生きていくかを考える. ひと・健康・未来. 37: 18-29.
豊田有. (2024) 死亡個体と交尾するサルは「異常」なのか…「死の概念」はヒト特有のものかもしれないと言える理由. 現代ビジネス. 2024年5月24日公開.
豊田有. (2024) 動物たちから見た〈死の世界〉. Voice. 2024年9月号.
山極壽一. (2024) 人の遊び、ゴリラの遊び. JAPONisme. 34 SPRING: 4-7.
山極壽一. (2024) 白黒の絵の中に「静」の価値観がある. 月刊社会保険. 885: 24-25.
山極壽一. (2024) 必要なタイミングで必要な気づきをもたらしてくれる. Books 暮らしと生き方の、読書案内. 100-101.

山極壽一. (2024) ゴリラに学んだ人間の本质について (下). おおやまと. 令和6年4月号: 1-3.

山極壽一. (2024) 人類の進化と教育の原点—情報化時代に私たちは何を失ったのか. 月刊保団連. 2024年5月号: 4-9.

山極壽一. (2024) 共感社会と言葉のもたらした世界—戦争は人間の本性か. 中日懇話会報. 577: 3-32.

山極壽一. (2024) ダイアン・フォッシーから学んだこと. 東京電機大学編サイエンス探求シリーズ『偉人たちの挑戦』. 170-172.

山極壽一. (2024) 明日を生きるための言葉. Premium 9. 25.

山極壽一. (2024) ゴリラに学ぶ喧嘩の極意—負けず、勝ちをつくらず、共存する社会. 宇城憲治巻頭対談. 季刊道. 221: 4-21.

山極壽一. (2024) 本はすてきなパラレル・ワールド. 子どもと読書. 467: 1.

山極壽一. (2024) 現代人が触れることを避けてきた大事なこと. うんこと死体の復権. pp. 8-9.

山極壽一. (2024) ゴリラ研究から考える未来社会—ともに生きるために. 高槻市教育センターだより. 126: 4.

山極壽一. (2024) 地域はもっと個性的でいい. 人と人がつながり、中央に頼らない信用経済を興せ. Community Based Economy Journal 002 美しい経済の風景をめぐる旅の記憶: 130-144.

山極壽一. (2024) ゴリラという時間. トップオピニオン. 岡崎信用金庫経済月報. 659: 1.

山極壽一. (2024) ゴリラに学ぶ家族のかたち. スタイルアサヒ. 182: 6.

山極壽一. (2024) 共感社会が拓く未来. 清水. 232: 13-18.

山極壽一. (2024) サル型 ゴリラ型 群れを率いる資質 ヒトが選ぶべきリーダーとは. 昭和経済. 第75巻 10号: 48-51.

山極壽一. (2024) 政治家はゴリラのリーダーに学べ. 有働由美子のマイフェアパーソン 71. 文藝春秋. 2024年12月号: 370-379.

山極壽一. (2024) 縮尺を変えて世界を見よう. TOKYO TEEN COHORT NEWS LETTER. 22: 1.

山極壽一. (2024) 「サル化」する人間社会. テーマ別論理 国語. 尚文出版. p. 80.

山極壽一. (2024) 進化と文明のミスマッチから見た未来社会. ひと・健康・未来. 38: 12-19.

山極壽一. 2024. 「総裁の資質とは何か」、青洲, 909号、pp. 4-6.

山極壽一. (2024) 世人研の活躍で明るい未来を. 公益財団法人世界人権問題研究センター 30年史. p. 8.

山極壽一. (2024) ネイチャーポジティブへの期待. 国立公園. 2024年12月号: 5-9.

山極壽一. (2025) 私たちは再び踊り始めなければならない—共感と共鳴が地球の未来を創る. THE BIG ISSUE 494: 8-10.

山極壽一. (2025) 人類史から考える人間・都市像—生態学的世界観に基づく都市計画に向かって. 都市計画. 74 (1): 24-27.

山極壽一. (2025) ゴリラから見た人間の文化と未来. 琉球フォーラム. 371: 2-24.

山極壽一. (2025) 世界は星で満ちている. 京都花山天文台の将来を考える会会報. 14: 2-3.

山極壽一. (2025) 最後の文化人 川田順造さんを悼む. 現代思想 03 統治 vs アナーキー. 203-205.

山極壽一. (2025) 能代高校にゴリラの先生がやってきた. 能代工高図書館報たかはな. 33: 1.

山極壽一. (2025) 人生の区切りとしての「はじまり」. 第8回徒然草エッセイ大賞入選作品集選考委員講評. p. 4.

山極壽一. (2025) ゴリラに学ぶ人類の進化と未来. 諏訪教育. 148: 11-44.

山極壽一, 藤井聡. (2024) 過疎地の産業を復興し、国力を上げよ. 農を語る. クラリオン. 2024年9月号: 115-120.

山極壽一, 前川正雄. (2024) 未来への挑戦と創造—「共存共栄」の知恵から革新は生まれる. 巻頭対談. 理念と経営. 2024年5月号: 7-14.

山極壽一, 延江浩. (2025) ゴリラから人間を識る. 百点対談. ギンザ百点. 843: 68-79.

山極壽一, 鈴木俊貴. (2024) 「ゴリラ研究者」と「シジュウカラ研究者」はどうやって生き物との距離を縮めるのか? 週プレNEWS. 6月15日公開.

(5) 書籍の編集協力

① サル好きアイドルが飼育員さんに聞いてみた.
(水田詩織 著 くもん出版.) 阿野隆平 (絵)

6. 学会参加

(附属動物園部、学術部のみ。JMCで開催したものを除く)

(1) 第40回日本霊長類学会大会

日程: 2024年7月12日~7月14日

会場: 東京エレクトロンホール宮城 (宮城県民会館)、
トーケネットホール仙台 (宮城県仙台市)

林美里、高野智、赤見理恵、新宅勇太、豊田有、
Raquel Costa、奥村文彦、高田晃行

(2) 日本哺乳類学会 2024 年度大会

日程: 2024年9月6日~9月9日

会場: 兵庫県立大学神戸商科キャンパス、
神戸文化ホール (兵庫県神戸市)

新宅勇太

(3) 第78回日本人類学会大会

日程: 2024年10月12日~14日

会場: 梅田スカイビル (大阪府大阪市)

高野智、豊田有

(4) The 19th International Symposium on Primatology and Wildlife Science

日程: 2024年10月30日~10月31日

会場: 京都大学理学セミナーハウス (京都府京都市)

新宅勇太

(5) 第26回 SAGA シンポジウム

日程: 2024年11月9日~11月10日

会場: 中部学院大学各務原キャンパス (岐阜県各務原市)、
名古屋市東山動植物園 (愛知県名古屋市)

林美里、赤見理恵、綿貫宏史朗、新宅勇太、
武田康祐、高田晃行

(6) 第 30 回日本野生動物医学学会
日程：2024 年 12 月 13 日～12 月 15 日
会場：沖縄科学技術大学院大学（沖縄県恩納村）
綿貫宏史朗、武田康祐

(7) 第 65 回日本動物園水族館教育研究会大牟田大会
日程：2025 年 1 月 11 日～1 月 12 日
会場：ホテルヴェルデ（熊本県荒尾市）
大牟田市動物園（福岡県大牟田市）
赤見理恵、川崎千穂

(8) 第 6 回動物園水族館大学シンポジウム
日程：2025 年 2 月 23 日～2 月 24 日
会場：名古屋港ポートビル、名古屋港水族館
（愛知県名古屋市）
下村実、新宅勇太、綿貫宏史朗、武田康祐、
高田晃行、江戸暢章（現地参加）
江藤彩子（オンライン参加）

7. 学会・研究会での発表（プリマーテス研究会を除く）

赤見理恵, 新宅勇太, 江藤彩子, 高野智. (2024) 霊長類の生息地を訪問するフィールドツアーの実践と評価. 第 40 回日本霊長類学会大会. (宮城県仙台市)

赤見理恵, 新宅勇太, 江藤彩子, 高野智. (2024) 霊長類の生息地を訪問するフィールドツアーの実践と評価. 第 26 回 SAGA シンポジウム. (岐阜県各務原市)

赤見理恵, 杉山茂, 松田一希, 杉田暁, 星野智紀, 奥川みらい. (2025) 妙高笹ヶ峰におけるニホンザル分布拡大と環境変化モニタリングへのデジタルアースの活用. 中部大学 国際 GIS センター 問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点 成果報告会. (愛知県春日井市)

赤見理恵, 綿貫宏史朗, 辻内祐美, 荒木謙太, 高野智. (2025) 「世界ニホンザルの日」4 年間の成果と課題. 第 65 回日本動物園水族館教育研究会大牟田大会. (熊本県荒尾市)

林美里. (2024) 日本モンキーセンターを活用した中部学院大学「比較認知発達論」の行動観察実習. 第 40 回日本霊長類学会大会. (宮城県仙台市)

林美里, 竹下秀子, 梅田裕介, 山田丈美. (2025) 比較認知発達の視点から見たヒトの初期言語発達. 日本発達心理学会. (東京都日野市)

林美里, 梅田裕介. (2024) 中部学院大学教育学部における日本モンキーセンターを活用した授業実践. 第 26 回 SAGA シンポジウム. (岐阜県各務原市)

川崎千穂, 辻内祐美, 坂口真悟, 宗像大和. (2025) 学べる「推し活」. 第 65 回日本動物園水族館教育研究会大牟田大会. (熊本県荒尾市)

奥村文彦, 堀川晴喜, 赤見理恵. (2024) 飼育下ヤクシマザルにおけるアルファオスの年齢と群れ内おとなオス個体数の関係. 第 40 回日本霊長類学会大会. (宮城県仙台市)

櫻庭陽子, 山田信宏, 高塩純一, 高橋一郎, 川上文文, 竹下秀子, 林美里, 友永雅己. (2024) 脳性まひチンパンジーにおける療育とリハビリテーションの 10 年. 第 26 回 SAGA シンポジウム. (岐阜県各務原市)

Sauciuc G. Persson T, Costa R, Jacobs I. (2024) Rhythmic parameters and lateralisation in the percussive behaviour of Japanese Macaques (*Macaca fuscata*). 19th SWECOG Conference (Stockholm)

新宅勇太. (2024) 形態から見た小島嶼のアカネズミとニホンザル. 日本哺乳類学会 2024 年度大会 自由集会「瀬戸内海島嶼における哺乳類の独自性と複雑性」. (兵庫県神戸市)

杉山茂, 赤見理恵. (2024) 新潟県妙高市笹ヶ峰地域における積雪と植生の変動、人類の経済活動とニホンザル越冬のニッチの歴史的形成について. 第 40 回日本霊長類学会大会. (宮城県仙台市)

高田晃行, 阿野隆平, 浮瀬百々香, 坂口真悟. (2025) 日本モンキーセンターにおけるシロガオオマキザル (*Cebus albifrons*) の育児と成長およびノドジロオオマキザル (*Cebus capucinus*) の人工保育の取り組み. 第 6 回動物園水族館大学シンポジウム. (愛知県名古屋市)

高野智, 新宅勇太, 綿貫宏史朗, 赤見理恵. (2024) 日本モンキーセンター・霊長類和名リスト改訂版の公開. 第 40 回日本霊長類学会大会. (宮城県仙台市)

武田康祐, 綿貫宏史朗, 平田聡. (2024) 大型類人猿情報ネットワーク (GAIN) を介した類人猿の遺体の有効活用率の変遷. 第 26 回 SAGA シンポジウム. (岐阜県各務原市)

武田康祐, 綿貫宏史朗, 平田聡. (2024) 大型類人猿情報ネットワーク (GAIN) の活動紹介 2024. 第 30 回野生動物医学学会大会. (沖縄県恩納村)

豊田有. (2024) タイ王国での単独長期野外調査時の安全管理の事例. 第 40 回日本霊長類学会大会自由集会「霊長類の野外調査時の安全管理」. (宮城県仙台市)

豊田有, アンドレ ゴンカルヴェス, 丸橋珠樹, Malaivijitnond S, 松田一希. (2024) ベニガオザルは「死」をどう理解しているか? ~仲間の死体に対する観察事例から. 第 78 回日本人類学会大会. (大阪府大阪市)

豊田有, 丸橋珠樹, Malaivijitnond S, Hengsawang D, 杉田暁, 松田一希. (2024) カオクラブック・カオタオモ保護区に生息するベニガオザルの保全状況 - 個体数変化の動向と周辺環境の変化が遊動域に与えた影響について. 第 40 回日本霊長類学会大会. (宮城県仙台市)

Toyoda A, Gonçalves A, Maruhashi T, Malaivijitnond S, Matsuda I (2024). Responses to the corpse observed in wild stump-tailed macaques in Thailand. International Symposium on Comparative Evolutionary Thanatology. (Kyoto)

豊田有, 松田一希, 丸橋珠樹, 杉田暁 (2025) デジタルアース技術を活用した野生ベニガオザル地域集団の保全: 地域農業との持続可能な共存の探索. 2024 年度デジタルアース共同利用・共同研究拠点成果報告会. (愛知県春日井市)

綿貫宏史朗. (2024) 日本におけるゴリラ飼育の「はじまり」に関する考察. 第 26 回 SAGA シンポジウム. (岐阜県各務原市)

綿貫宏史朗, 武田康祐, 新宅勇太, 赤見理恵, 高野智, 林美里. (2024) 研究してもらえ動物園: 日本モンキーセンター公益化後 10 年間の連携研究の総括. 第 30 回日本野生動物医学学会. (沖縄県恩納村)

山梨裕美, 東芝香織, 赤見理恵, 浅川陽子, 木岡真一, 中山侑, 伴和幸, 戸澤あきつ. (2024) 利用者側の視点を取り込んだ小型霊長類の違法ペット取引を抑止するための教材の作成とその予備的評価. 第40回日本霊長類学会大会. (宮城県仙台市)

山梨裕美, 東芝香織, 赤見理恵, 浅川陽子, 木岡真一, 中山侑, 伴和幸, 戸澤あきつ, 工藤宏美, 本田直也, 徳山奈帆子. (2024) 野生動物のペット利用を考えるための教材作成とその評価. 第26回SAGAシンポジウム. (岐阜県各務原市)

8. 講演ほか

Costa, R. (2024) People and Gorillas, from Uganda to Japan: the impacts of interactions between tourists and gorillas on their behavior and species conservation. Delivered in the MSc Environmental Sustainability, MSc. Program in Psychology & Environmental Sustainability. (Lisbon)

原剛, 山極壽一. (2024) 環境日本学の未来. 上廣環境日本学センタープレキックオフシンポジウム. (京都府京都市)

林美里. (2024) チンパンジーから見たヒトの発達と親子関係. ひとみ学舎 親いもの会. (徳島県鳴門市)

林美里. (2024) 日本モンキーセンターで考えるヒトの子育て. 「親性」科研 2024年度第1回研究会. (滋賀県大津市)

下村実. (2024) となりの水辺から～ジンベエザメからミジンコまで. 四国水族館サイエンスカフェ. (香川県宇多津町)

下村実. (2024) 水族館うらばなし ～ジンベエザメを飼う！～. 四国ブリーダーズストリート. (香川県高松市)

下村実. (2025) 芥川講座 川を遊ぶ人、集合。何が面白い芥川！？ (大阪府高槻市)

篠田謙一, 長谷川祐子, 山極壽一. (2025) 人の過去を乗せて地球はまわる: 感覚を通した学びの場としての美術館. 金沢 21世紀美術館地球研 DAYS トークセッション2. (石川県金沢市)

豊田有. (2024) サルは「死」にどう反応するのか - 霊長類死生学が目指すもの. 第19回人類学関連学会協議会合同シンポジウム. (北海道札幌市)

Toyoda A, Maruhashi T, Okumura T, Sugita S, Matsuda I, Malaivijitnond S, Hengsawang D, Raknim C, Trijirakun N, Sriwattanachai S, Sirichan N, Duengkae P. (2024) The current conservation status of the stump-tailed macaque and efforts to develop a science-based conservation plan aimed at reducing crop damage. The 43rd Thailand Wildlife Seminar (Bangkok, Thailand).

綿貫宏史朗. (2024) 動物福祉/環境エンリッチメント～日本モンキーセンターでの事例～. 大阪 ECO 動物海洋専門学校特別講義. (大阪府大阪市)

山極壽一. (2024) 動物たちは何をしゃべっているか. 京都ロータリークラブ講演. (京都府京都市)

山極壽一. (2024) 言葉の進化と人間らしさ. NHK文化センター名古屋教室講演. (愛知県名古屋市)

山極壽一. (2024) 生物とヒトの進化～寛容と暴力の人類史を探る. 富士フィルム株式会社次世代経営リーダー研修第9回講座「生物とヒトの進化」. (東京都港区)

山極壽一. (2024) AI時代における人間らしさを考える. 第83回日本医学放射線学会総会合同特別講演. (神奈川県横浜市)

山極壽一. (2024) 人類の進化と地球の未来. 令和6年度国分寺市小学科学教室開講式記念講演会講演. (東京都国分寺市)

山極壽一. (2024) 人間の本質とAI時代の学び. 広島大学工学部特別講義. (広島県東広島市)

山極壽一. (2024) これからの時代に必要な力とは何か. 浅野中学校中3進路講演会講演. (神奈川県横浜市)

山極壽一. (2024) 人間の本質と情報通信革命. 三菱調査懇談会4月例会講演. (東京都千代田区)

山極壽一. (2024) 共感を失った現代社会. シニア自然大 2024年度地球環境自然学講座第2回. (大阪府大阪市)

山極壽一. (2024) 第1講. EXPO KYOTO 論～未来と世界の変え方～. (京都府京都市)

山極壽一. (2024) ゴリラから見た人間の本質と未来. 並木グループ5月例会講演. (京都府京都市)

山極壽一. (2024) 未来の学び・遊びを模索する～学びの協奏コンテストを通して～. EXPO PLL Talks「命を高める」シリーズ Vol. 8 パネリスト. (大阪府茨木市)

山極壽一. (2024) 人類の進化と文化のミスマッチ. 京都大学 ELP 講座. (京都府京都市)

山極壽一. (2024) 博士人材の今とこれから. 大阪大学超域プログラムシンポジウム「社会と知の変革の現場で活躍する博士人材の今とこれから～超域イノベーション博士課程プログラムの12年～」. (大阪府吹田市)

山極壽一. (2024) 人類の進化と歴史を振り返って、これからの学びを考える. SAGANO GLOBAL FORUM FOR STUDENT RESEARCH. (京都府京都市)

山極壽一. (2024) 人間にとって、ケアとは何か—人類学・霊長類学から考える. 総合人間学会 2024年第18回研究大会特別講演. (オンライン)

山極壽一. (2024) ゴリラに学ぶ平和への道. 長岡京市平和を願う講演会 2024. (京都府長岡京市)

山極壽一. (2024) 京都府立医大発イノベーションを支える人材育成とK-MICSの将来像. 京都府立医科大学 K-MICS 覚生塾キックオフ特別講座 Key Note Lecture. (京都府京都市)

山極壽一. (2024) 人新世の自然学—第2のノマド時代を生きる. 自然学セミナー. (長野県松本市)

山極壽一. (2024) 我々はどこから来て、どこへ行くのか—「共感」の起源をひもとく. たちばな教養学校 UKON. (京都府京都市)

山極壽一. (2024) 進化と文明のミスマッチから見た未来社会. 2024年度「ひと・健康・未来シンポジウム」パネリスト. (京都府京都市)

山極壽一. (2024) 人類の進化と歴史を振りかえってこれからの学びを考える. 能代高校進路講演会. (秋田県能代市)

山極壽一. (2024) 子どもが生き生きと育つために—ゴリラからの提言. 第32回いのちの講演会「授かるいのち未来につなごう! 赤ちゃんが咲く京都へ」講演. (京都府京都市)

山極壽一. (2024) 未来をつくる問いの立て方—ジャングルで学んだこと. FORBES SALON. (東京都千代田区)

- 山極壽一. (2024) 共感力の進化と教育の未来. 帝京科学
大学附属フィールドミュージアム Open Air Lab 活動
5周年シンポジウム基調講演. (山梨県上野原市)
- 山極壽一. (2024) 共感社会の進化と暴力の起源. 大阪商
工会議所朝食懇談会講演. (大阪府大阪市)
- 山極壽一. (2024) ゴリラに学ぶ戦争の起源と平和への道.
姫路産業医活動推進連絡協議会・産業保健友の会講演.
(兵庫県姫路市)
- 山極壽一. (2024) ゴリラ研究者が考えるこれからの教育.
令和6年度高槻市夏季教育セミナー特別講演. (大阪府
高槻市)
- 山極壽一. (2024) 共感社会が拓く未来. うらぼん法話.
(京都府京都市)
- 山極壽一. (2024) 21世紀における旅と旅先の在り方—
第2のノマド時代を生きるために. 第5回瀬戸内デザ
イン会議セッション1「人類学的思考—なぜOSのアッ
プデートなのか」パネリスト. (広島県尾道市)
- 山極壽一. (2024) 共感・交流・対話—ゴリラとアートの
世界から見えてくるもの. CONVIVIAL LAB・武蔵野
美術大学基調講演. (オンライン)
- 山極壽一. (2024) ことばの役割と人間社会の進化—ゴリ
ラから見たコミュニケーション. 檜原中学校創立50
周年記念講演. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2024) 家族の由来とその行方. 真宗大谷派新
潟教区21組公開講演会「生死を超える道と現代」. (新
潟県新潟市)
- 山極壽一. (2024) ネイチャーポジティブへの期待. 自然
保護憲章50周年記念シンポジウム基調講演. (東京都
千代田区)
- 山極壽一. (2024) ゴリラから見た人類の進化と未来. 東
愛知サロン講演会. (愛知県豊橋市)
- 山極壽一. (2024) 奥大山でゴリラに学ぶ未知の時代の生
き方. 奥大山自然塾. (島根県江府町)
- 山極壽一. (2024) シンポジウム「150年後の世界に、私
たちは何を遺すのか」パネリスト. 薩摩会議2024. (鹿
児島県鹿児島市)
- 山極壽一. (2024) シンポジウム「学校からはじめよ—地
域のつながり・文化・自然を再生するシンプルな本質」
パネリスト. (鹿児島県始良市)
- 山極壽一. (2024) これからの学びを考える—人類の進化
と歴史を振り返って. 宮崎県五ヶ瀬中等教育学校研修.
(京都府京都市)
- 山極壽一. (2024) コミュニケーションの進化と共感社会
の未来. 富国生命定例会講演. (大阪府大阪市)
- Yamagiwa J. (2024) Round table “Adaptation to Climate
Change” Panelist. STSForum. (Kyoto)
- 山極壽一. (2024) 旅の進化と未来. 業務渡航センター創
立30周年記念講演. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2024) 第5回大阪・関西万博に向けて機運醸
成 京都ラウンドテーブル. パネリスト. (京都府京都
市)
- 山極壽一. (2024) 森と人間の未来—芸術が照らす持続可
能な環境. 森の芸術祭「晴れの国岡山」特別講演. (岡
山県真庭市)
- 山極壽一. (2024) 京都環境文化学術フォーラム国際シン
ポジウムパネリスト. 第15回 KYOTO 地球環境の殿
堂. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2024) ゴリラたちから学ぶ組織マネジメント
の在り方—人間の本質と未来の姿. クオリティフォー
ラム2024講演. 日本科学技術連盟 (東京都新宿区)
- 山極壽一. (2024) 人間の本質と文明の行方. 第34回中
原寺文化講演会講演. (千葉県市川市)
- 山極壽一. (2024) ゴリラに学ぶ人の進化と未来. 諏訪季
節大会講演. (長野県諏訪市)
- 山極壽一. (2024) ゴリラの目で見た人間の過去と未来.
藤井寺市医師会創立50周年記念式典特別講演. (大阪
府大阪市)
- 山極壽一. (2024) ゴリラから見た人間の本質. 油脂工業
会館定期講演会講演. (東京都中央区)
- 山極壽一. (2024) 人類の進化と文化のミスマッチ. 法政
大学デザインフォーラム「デザインと人類学の目」講演.
(東京都千代田区)
- 山極壽一. (2024) 教育の本質と高等教育の未来. 広島大
学75X75周年記念式典・記念事業特別講演. (広島県
東広島市)
- 山極壽一. (2024) ゴリラから見た環境問題って何だ. 地
球研オープンハウス基調講演. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2024) 京都大学と京都府教育委員会との連携
事業15周年記念シンポジウム「未来を担う子どもた
ちのために」パネリスト. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2024) 人間にとって学びとは何か. 西田中学
校第59回少年式記念講演. (秋田県由利本荘市)
- 山極壽一. (2024) 達老時代の生き方を考える. 第43回
京都退職教職員のつどい. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2024) 思春期の学びとは何か. ウッドデッキ
シンポジウム「若者の「今」と「これから」を考える
基調講演. (神奈川県横浜市)
- 山極壽一. (2024) 日本の霊長類学と人間社会の未来.
GLOBAL ACADEMY OF SCIENCE AND ARTS. (京
都府京都市)
- 山極壽一. (2024) 京都大学のガバナンス改革. GLOBAL
ACADEMY OF SCIENCE AND ARTS. (京都府京都
市)
- 山極壽一. (2024) 第32回日独文化研究所公会員シンポ
ジウム「来るべき世界の構図—ロボットと仮想将来世
代」コメンテーター. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2024) 教育の本質と高校教育の未来. 大阪私
立高等学校進路指導研究会第二回総会・研修会講演.
(大阪府大阪市)
- 山極壽一. (2024) ゴリラから見た人間の文化と未来. 琉
球フォーラム講演. (沖縄県那覇市)
- 山極壽一. (2024) 屋久島で学ぶって何だ. 屋久島学ソサ
エティ第12回大会シンポジウム「屋久島で学びたい
こと、学んでほしいこと」基調講演. (鹿児島県屋久島
町)
- 山極壽一. (2024) 人間の本質とリーダーシップのあり方
について. 価値創造フォーラム21講演. (東京都千代
田区)
- 山極壽一. (2025) ゴリラに学び地域のコミュニティ再構
築を. 山口きらめき財団「男女共同参画推進事業」講演.
(山口県周防大島町)
- 山極壽一. (2025) 思春期の学びとは何か. 成蹊学園中学
1年講演会. (東京都武蔵野市)
- 山極壽一. (2025) 共感革命. 興正寺講演 (愛知県名古屋
市)

山極壽一. (2025) エコロジカルな視点から 40 年後の関西を考える. 関西健康・医療創生会議シンポジウム特別講演. (大阪府大阪市)

山極壽一. (2025) 人口減少をチャンスに変えるには. 関西健康・医療創生会議シンポジウム パネルディスカッション. (大阪府大阪市)

Yamagiwa J. (2025) Communication with gorillas in the wild. Joint International Symposium by Research Institute for Humanity and Nature and Uehiro Research Center for Japan Environmental Studies “Dance with All on Animals and Anima”. (Kyoto)

山極壽一. (2025) 生物多様性と人間の未来. WWF BEE プログラムファイナルセッション基調講演. (東京都港区)

山極壽一. (2025) ゴリラに学ぶ人間の本质と未来. 丸の内ブランドフォーラム講演. (東京都港区)

山極壽一. (2025) ゴリラから見た地球の現状と未来. レイチェル・カーソン没後 60 年記念講演会. (東京都千代田区)

山極壽一. (2025) 「共感」と地域コミュニティー もう一度他者と地域を生きなおす. 滋賀県立大学地域コミュニケーション論公開講義. (滋賀県彦根市)

Yamagiwa J. (2025) Naturalogy. RIHN-KLASICA Workshop: Science x Art, Exploring New Creative Relationships. (Kyoto)

山極壽一. (2025) こもりうたの起源と未来. 子守唄・わらべうた学会 2025 年大会講演. (京都府京都市)

山極壽一. (2025) 思春期世代から「幸せに生きる力」を考える. サントリー次世代エンパワメント活動「君は未知数」講演. (オンライン)

山極壽一. (2025) 誰もが幸せに暮らせる地域社会づくりに向けて. 京都中小企業家同友会「同友会大学」講演. (京都府京都市)

山極壽一. (2025) ゴリラの森から見えるヒトとアートのゆえ. 千葉県立美術館開館 50 周年記念講演会「アートのはじまり」. (千葉県千葉市)

山極壽一. (2025) モノトヒトの流れは社会をどう変えるか. 第 16 回 The KAITEKI FORUM「サーキュラーエコノミーへの転換」招待講演. (東京都千代田区)

山極壽一. (2025) 南アルプスを未来につなぐ会シンポジウム「地域の魅力を生かす未来の取組を語る—南アルプスユネスコエコパークの次の 10 年に向けて」コーディネーター. (静岡県静岡市)

Yamagiwa J. (2025) What does it mean to be human? Nobel Prize Dialogue Tokyo 2025 “The Future of Life” Panelist. (Yokohama)

山極壽一, 長谷川祐子. (2025) ゴリラとアート. 21 世紀美術館特別展「すべてのものとダンスを踊って」記念対談. (石川県金沢市)

山極壽一, 伊藤亜紗. (2024) 共感の時代における分離の対話をめぐって. 文理融合研究・教育の未来パネルディスカッション. (京都府京都市)

山極壽一, 鯨本あつこ, 笈裕介. (2024) 世界が変わるシマ思考—離島に学ぶ 出版記念特別対談. (京都府京都市)

山極壽一, 西江仁徳. (2025) 京都新聞トークイベント「日本霊長類学のこれまで、これから」. (京都府京都市)

山極壽一, 榊田隆之, 岡本栄里. (2024) トークセッション「万博を使った京都企業の魅力発達の可能性」. 京都 X 大阪・関西万博共創 MEETING. (京都府京都市)

山極壽一, 内田健太郎. (2025) ゴリラとミツバチ. NIKKE 大島対談. (山口県周防大島町)

9. 連携研究の受入

2024001

山口庄太郎, 結城健介 (天野エンザイム株式会社)
霊長類からの微生物分離と酵素供給源としての可能性評価に関する研究

日本モンキーセンターが飼育する葉食性コロブス類の糞便から各種乳酸菌用培地 (MRS、BL、TOS、GAM 培地) を用いて嫌気条件・37℃で、また一般的な細菌用培地 (SCD 培地) を用いて好気条件・37℃で菌を分離した。最終的にコロブス類 5 種 9 頭から得られた 12 サンプルの糞便から腸内細菌 93 株を分離して酵素探索対象として保存した。これら 93 の分離菌株について、液体培地を用いた培養を実施し、その培養液中の新規酵素を探索した。2024 年度は新たに 3 種の酵素の探索を実施したが、優れた活性を示す株を見出すことはできなかった。今後も上記 93 株の分離菌株を用いて新規酵素の探索を継続してゆく。

2024002

村松明穂 (秋田県立大学)
飼育下霊長類におけるポータブル式タッチモニタ装置を用いたオープンラボ型比較認知研究

アジア館のマカカ属 (アカゲ・ニホン・ミナミブタオ・チベット・ボンネット・トク) を対象に、ポータブル式タッチモニタ装置を用いた研究を実施した。タッチモニタ課題は、1) 画面上の大きなドットをさわる、2) 小さなドット、3) 複数のドット、4) アラビア数字を順に、という内容で進めた。全グループがアラビア数字の順序の学習まで進んだが、その後の死亡・転出・入替え・復帰・新しいグループの形成・関係性の変化に伴う複数グループでの中心参加個体の変化や、高難易度の課題に取り組む頻度・時間が低下した個体の存在を踏まえ、全グループが再び「画面をタッチしたら食物報酬」を学習中である。また、実験場面での社会性を比較した。限られた個体が装置を独占する種から、複数個体が比較的平等に接近する種まで、野生下での特徴を、動物園の飼育グループでも容易に再現・展示できた。実験外での行動も記録し、実験場面での行動との比較を目指している。

2024003

萩原直道 (東京大学)
クモザル下肢筋骨格系の二足歩行能力に関する解剖学的特徴と力学特性に関する研究

クモザルの二足歩行は、ニホンザルのそれよりもヒトに相対的に類似していることが知られている。本研究では、クモザルの下肢筋骨格系の未固定標本を用い、股関節が伸展する際の受動弾性抵抗特性 (股関節屈筋、靭帯、関節包などの伸展によって生じる弾性力) を計測した。各筋群を逐次解剖・切除し、股関節周囲の受動弾性抵抗を定量化した。同様の計測をニホンザルについても行い、両者の違いを比

較・分析した。その結果、クモザルの股関節はニホンザルよりも大きく伸展可能であることが明らかとなった。ニホンザルでは、内転筋群と関節包が股関節伸展に対して大きな受動的抵抗を示す一方、クモザルでは腸腰筋が股関節伸展を制限する上で相対的に大きな役割を果たしていた。この結果は、直立二足歩行の進化を考える上で、股関節受動的弾性特性の制約が重要であることを示唆している。

2024004

松田一希（京都大学野生動物研究センター）

アヌビスヒヒの群れ形成機構の研究

霊長類の社会構造の解明は、種の行動生態のみならず、ヒトの社会進化を理解する上でも重要な課題である。本研究では、日本モンキーセンターで飼育されているアヌビスヒヒを対象に、個体の直線的な移動順序（隊列行動）に基づく社会構造の可視化を試みた。ヒヒは、毎朝屋内のケージから直線的な通路を通して屋外へと放たれるため、ヒヒが放たれるゲートを正面から撮影することで、その直線的な移動順序を合計 24 例記録した。得られた順序データから NetworkX を用いて社会ネットワークを構築し、Louvain 法によるクラスタ解析を行った。その結果、比較的安定した 4 つのサブグループが検出され、うち 2 つは雌個体のみで構成されていた。さらに、ネットワーク構造は順位関係や毛づくろい関係と相関する可能性が示された。これらの結果は、従来の「ヒヒの隊列は無秩序である」とする古典的見解とは異なり、隊列行動に社会的規則性が存在する可能性を示唆している。

2024005

川合伸幸（名古屋大学）

霊長類の行動伝播についての研究

2024006

MACINTOSH Andrew（京都大学ヒト行動進化研究センター）

Behavioral Analytics for Animal Welfare in Zoo-housed Primates（飼育下霊長類の動物福祉に関する行動分析研究）

2024007

打越万喜子（京都大学ヒト行動進化研究センター）

動物園の利用者と動物の双方に適したサウンドスケープの探索

動物園のサウンドスケープの現状を把握するため、環境音特性調査とアンケート調査を実施した。園内 5 か所で毎月約 10 日間の連続録音をおこなった。環境音特性調査では、音圧や複数の音響指標を用いて分析を進めている。日内および季節による変動が捉えられている。アンケート調査では日本語を読み書きできる 12 歳以上を対象にした。2024 年 7 月から翌 3 月の間に 427 人にご協力いただいた。印象に残った音を自由記述してもらい、各音についての好感度と合致度を 5 段階で評価してもらった。予備的分析の結果、参加者が印象に残った音として記述した内容は場所と時期による違いがあった。音源を非生物由来自然音、生物由来音、飼育される霊長類由来音、人由来音の 4 カテゴリーに分類して評価を比較したところ、人由来音が好感度・合致度ともに最も低い結果となった。今後は、記述で上位に挙げられた各音の評価や音響特性を詳しく分析する。

2024008

半谷吾郎（京都大学）

タイワンザルの腸内細菌叢に関する研究

2024 年 6 月 13 日に、キュレーター赤見さん、飼育担当の浮瀬さんにご協力いただき、タイワンザル (*Macaca cyclopis*) オス・キャロルの新鮮便を採取した。DNA 抽出後、細菌のバーコード領域を増幅し、次世代シーケンスにより細菌の群集構造を解析した。宿主の種と、環境要因のどちらが腸内細菌叢の形成に強く影響するかを明らかにすることを目的に、台湾でサンプリングした野生・餌付け・飼育群での結果と合わせ、既に報告されているニホンザルの腸内細菌叢の結果 (Lee et al., 2019) と比較した。解析の途中経過から、タイワンザルでもニホンザル同様、腸内細菌叢は食性により変動し、多様な環境に適応していることが示唆された。

2024009

中川草（東海大学）

霊長類ゲノムに内在化するウイルス様配列に関する研究

ヒトを含めた霊長類のゲノムの約 10% 程度はウイルス様配列である。ウイルス様配列にはウイルス様タンパク質をコードする遺伝子が存在しており、その一部は宿主で新たな機能を獲得している。しかし、霊長類における機能的ウイルス様遺伝子の種間や種内の多様性の詳細は明らかでない。我々は機能的ウイルス様遺伝子がダイナミックに変化し、進化に寄与している可能性を検証している。本連携研究では、日本モンキーセンターに保存されている 4 種の霊長類の組織サンプルからゲノム DNA を抽出し、ウイルス由来配列を PCR で増幅して配列決定を行った。その結果、当該種のリファレンスゲノムとは異なる変異を確認した。この結果は、ウイルス由来配列に種内多型が存在する可能性を示している。

2024010

今村公紀（金沢大学）

霊長類 iPS 細胞の作製と発生進化研究

本研究では iPS 細胞をツールとした霊長類進化および種特異性の研究基盤として、日本モンキーセンターにて飼育されている霊長類個体の培養細胞バンクを構築し、iPS 細胞作製と分化誘導による発生進化研究に活用することを目的としている。2024 年度には、シロテテナガザル、ゴールデンマンガベイ、ヨザル、パタスモンキー（各 1 個体）の皮膚片を供与いただき、うちシロテテナガザル、ヨザル、パタスモンキーについて線維芽細胞の初代培養と凍結細胞ストックの作製に成功した。また、以前に皮膚片を供与いただいたシロテテナガザル（2 個体）とフクロテナガザル（1 個体）の細胞から作製した iPS 細胞について、研究成果を論文発表した (Hamazaki et al., *Front Cell Dev Biol.* 2025)。申請者らのこうした取り組みについては、新聞報道でも取り上げられている (毎日新聞 2024 年 11 月 18 日 7 面「絶滅防止へ細胞凍結保存」)。引き続き各種霊長類の組織試料から初代培養細胞と iPS 細胞の作製・保存を継続しつつ、発生進化研究を実施していく。

2024011

Catia Correia-Caeiro (ライプチヒ大学)
霊長類の母子間交渉における顔の表情の調査

2024012

Raquel Costa (日本モンキーセンター)
アンバサダーとして人間と接触するかしないかによる行動の差異：日本モンキーセンターのワオキツネザルの事例

2024013

西川真理 (人間環境大学)
ポリビアリスザルの色覚型が顕在的・隠蔽的な色彩の脅威の検出に及ぼす影響

2024014

Emilee Hart (Kent State University)
テナガザルの体色変化とホルモンの相関

2024015

立河龍利 (日本大学)
霊長目の皮膚マイコバイオームを構成する *Malassezia* 属の宿主特異性

昨年の研究結果から *Malassezia* 属の分離には耳垢が重要であると考えられた。本年度は耳垢が容易に得られやすい遺体及び麻酔個体から分離を試み、ヒトと非ヒト霊長類 (NHP: non-humanprimates) の *Malassezia* 属菌相を比較することを目的とした。テナガザル科 2 種 4 頭とオナガザル科 9 種 17 頭の耳垢を保存液に懸濁し、-80℃で保管した。懸濁液は CHROMagar *Malassezia* 培地に播種し、30℃で 5 日から 2 週間後に分離培養した。その結果、テナガザル科 1 種 2 頭およびオナガザル科 6 種 9 頭から 17 菌株が分離された。26S rRNA D1/D2 領域の分子系統解析から全て *Malassezia japonica* に同定され、本菌種の遺伝的変異を ITS 領域の分子系統解析で評価したところ、NHP 由来菌株のみのクレードとヒト由来菌株と混合するクレードの 2 つに分類された。本菌種はヒトからの検出例が少なく希少種と考えられていたが、本研究の高頻度な検出率や ITS 領域の遺伝的多様性から NHP 皮膚環境に適応した菌種と示唆された。次年度も引き続き菌株を収集し、他施設の *Malassezia* 属菌相との比較を行う。

2024016

川出比香里 (熊本市動植物園)
シシオザルのてんかん発作の遺伝性に関する調査

シシオザルの内臓および全身の液浸標本から 19 頭の肝臓片を採取し、理化学研究所において遺伝子解析を進めている。当初の計画より研究開始が遅れたため、すべての解析は完了していないが、今後は他園で飼育されている個体の解析結果と合わせて遺伝的要因についての検討を進める予定である。

また、シシオザル 9 頭の脳標本の提供を受け、東京大学にて各種病理検査を実施した。その結果、てんかん発作の原因を特定するには至らず、特定の疾患や加齢に伴う明確な病理学的傾向は確認されなかった。

2024017

池田智遥 (京都大学)
広鼻猿類における顔の選好の検討

ヒトを含む霊長類は、他個体の顔から多くの情報を得ており、顔は集団社会生活の維持に貢献する役割を持つ。顔から得られる情報のうち、顔の魅力も重要な要素の 1 つであるが、非ヒト霊長類の顔の魅力やその選好について調べられた研究は少なく、一貫した結果も得られていない。

本研究では、広鼻猿類であるフサオマキザルとコモンリスザルを対象に、顔の対称性が選好に影響を与えるのかを検討した。同種未知個体の顔写真から左右対称顔を作成しモニターに呈示し、注視時間を計測した。左右非対称な顔刺激と比較して、対称な顔刺激をより長く注視すると仮定した。しかし、条件間で有意差は見られなかった。また、発情期が顔の選好に影響を与えるかを検証した結果、オマキザルでは有意に顔への注視時間減少した。結果は、ヒトと広鼻猿類 2 種が異なる点で顔の情報を利用している可能性や、選好をもたらす特徴が異なる可能性を示唆する。

2024018

糸井川壯大 (明治大学/日本学術振興会)
キツネザル類における味覚受容体機能の種間比較

本研究は、キツネザル類の多様な食性の背景にある味覚の多様性を受容体の機能レベルで明らかにすることを目指した研究である。まず、連携研究 2021010 から引き続き、モンキーセンター所蔵試料由来の種も含めて広範なキツネザル類の甘味受容体の機能解析を実施し、系統特異的な機能変化が甘味受容体に存在することを見出した。そして、種特異的なアミノ酸置換の糖応答に対する影響を変異体解析により調査し、系統固有の機能差が進化過程のいつ現れたのかを明らかにした。また、一部の苦味受容体についても機能解析を実施し、キツネザルとヒトを含む他の霊長類との間で受容体の感度に差がある植物由来の天然化合物を同定した。

2024019

狩野文浩 (コンスタンツ大学)
霊長類の目の動きに関する種間比較研究

本研究は、霊長類の目の動きの頻度に注目し、種間比較を通じて視線の動かし方と注意の多様性を明らかにすることを目的としている。特に、ヒトを含む霊長類の目の動きの頻度やパターンが、行動文脈や種ごとの認知特性とどのように関係するかを探る。2024 年度は、9 月および 11 月の 2 回にわたり日本モンキーセンターを訪問し、可能な限り多くの飼育霊長類種に対して高画質ビデオによる顔のズームアップ撮影を行った。撮影はビジターエリアおよび観察可能な場所から、個体や来園者・職員の動線に配慮しながら実施した。得られた映像は現在整理中であり、今後の視線解析に活用予定である。

2024020

石村有沙（京都大学）

マーモセットと近縁種の比較から見る腸管上皮の樹液食性適応

新世界ザルが亡くなった際、盲腸を採材し腸管オルガノイド培養を行う計画であったが、今年度は採材機会がなかったため実施しなかった。次年度も引き続き、サンプルを得る機会があれば実施する計画である。今年度は、解剖に研究実施者が参加できず、また採材方法を事前にモンキーセンターの解剖担当の方と共有できていなかったために研究を実施する機会を逃したことがあった。今後はサンプリング体制を整備し、機会があった際は確実に実験を行えるようにする。

2024021

渡邊星華（信州大学）

ワオキツネザルの同性間の社会行動と社会形成に関する研究

本研究は、親和的行動（近接、グルーミング）、敵対的行動（劣位音声他）、その他（採食、日光浴、ニオイつけ）に分けて、モンキーセンターのワオキツネザルが同一集団内の他個体に対してどのような社会行動を示すのか観察した。結果、雌群れにおいては血縁の近いもの同士の間での親和的行動の生起頻度が高くなる傾向が見られた。ブ群では、 α メスとその母親間での親和的行動の生起頻度が高く、祖母よりも母親のほうがより優位に親和的行動が起こった。チ群では、親子間での親和的行動の生起頻度も十分に高かったが、 α メスと2位メス間での親和的行動の頻度も高い傾向にあった。雄群れでは血縁関係による優位性はあまり見られなかった。敵対的行動は、雌群れ雄群れともに採食時に多く観察され、より下位の個体が上位の個体に接近していった際に起こることが多かった。雌と雄間の社会行動は雄が雌から距離をとることでその頻度は低くなっていた。

2024022

松本翔馬（滋賀医科大学）

非ヒト霊長類胎盤幹細胞株の樹立

2024年度はアビシニアコロブス2頭、ノドジロオマキザル1頭の胎盤について胎盤幹細胞の樹立実験を行った。いずれの個体に関しても当日中に検体を輸送することができたが、胎盤幹細胞株を得ることはできなかった。一方で、培養細胞株を扱う上で必須となる無菌操作に関しては当該検体においても問題なく実施可能であることが示された。また、並行して滋賀医科大学に所属するカニクイザルの満期胎盤を用いて同様の実験を行ったが、こちらも幹細胞株を得ることはできなかった。これらのことから、カニクイザルやヒトと同様に、広く旧世界ザルや新世界ザルにおいても幹細胞集団が分娩時には消失していることが示唆された。いただいた検体は核酸抽出用の凍結片、病理解析用のパラフィンおよび凍結ブロックの作製にも供しているため、今後満期胎盤における幹細胞集団の有無をRNA-seqならびに免疫染色により明らかにしていく。

2024023

佐竹まどか（宇都宮大学）

ヤクシマザルの登攀・下降運動時の姿勢と利用する支持体の選好

2024024

末永雄介（千葉県がんセンター研究所）

霊長類における比較腫瘍学的解析

日本モンキーセンターで保管されている過去65年間（1959年7月1日から2024年12月2日）に飼育された霊長類128種6852個体の解剖記録から、腫瘍発生率と臓器の重さの関係を調べた。その結果、直鼻猿類に比較し曲鼻猿類で有意に腫瘍発生率が高かった。また近縁種間の比較ではアカゲザルに比較しタイワンザルで、亜種間比較ではニホンザル（ホンドザル）に比較してヤクシマザルで有意に腫瘍発生率が高いとの結果を得た。さらに、これら近縁種・亜種間比較では腫瘍発生率の高い種で体重あたりの脳重量が有意に低く、他の臓器は有意な重量の差は見出されなかった。すなわち島に住むサルにおいて腫瘍発生率が高く脳重量が低い可能性が浮上した。これら表現型が島嶼効果の可能性を考え、今後は有効個体群サイズや気候と腫瘍発生率・脳重量の関係をさらに解析する予定である。

2024025

山田博之（元愛知学院大学）

新世界ザルの犬歯外形の比較

現生の多くの新世界ザルの上下顎犬歯について舌側面からみた歯冠外形を各系統分類間で比較した。新世界ザルのオスの上顎犬歯の外形は大きく分けて3つに分けられる。チゼル状の形を示したサキ類は硬い種子をかみ砕くため、ホエザル類は草刈り鎌の形あるいはタカの嘴形をし、主に葉食に適していた。その他の新世界ザルは短剣状で、主に熟れた果物や樹液を食べるために適した形をしていた。オスの外形は摂取食物の性状によって変化していた。形の性的二型と社会構造については、一夫一婦制の種は性的二型がないかあってもわずかである。それに対し、一夫多妻制の種は二型性が一般に強い。犬歯の大きさと形の二型性は多くの種で共通していたが、Callicebus, Saimiri, Callithrixには一貫性が見られなかった。オスの下顎犬歯の形は、mesiostylidの位置と遠心基底部の踵状の突起の発達程度により、歪三角形から歪六角形へ変化し、種間の差はわずかであった。新世界ザルの犬歯の形には多様性が見られた。

2024026

田中理暉（東京大学）

チンパンジー手指末節骨の形態分析

ギニア・ボツソウのチンパンジーでは、石を台やハンマーとして使い、ヤシの種をたたき割る道具使用行動が観察されるが、タンザニア・マハレではそのような道具使用行動は確認されていない。本研究では、マハレのチンパンジーなど東アフリカのチンパンジーの手の末節骨形態を計測し、その結果をギニア・ボツソウなど、道具使用行動が観察される西アフリカのチンパンジーの形態と比較することで、ナッツ割り文化と手の形態の共進化の可能性を検証することを目的とした。その結果、西アフリカのチンパンジーの手の第一、第二末節骨粗面は東チンパンジーと比べて相対的に幅広い形態的特徴を示すことが明らかとなった。この形態的特徴は、西アフリカチンパンジーに特有のナッツ割り行動と関連している可能性があると考えられる。

2024027

渡邊星華 (信州大学)

飼育下ワオキツネザルの個体間距離に応じた発声パターン

野生下のワオキツネザルの発声パターンは霊長類の中で中程度の多様性を有し、これまでに 21 種類が報告されている。対して、今回の観察の中で記録した飼育下ワオキツネザルの発声パターンはおおよそ 12 種類であった。そのうちの 9 種類は発声前後の文脈より、野生下と同様の目的で利用していると考えられた。用いる音声の種類が野生下と比較して少なくなっているのは、遊動域が開けており、群れを見失うほどの障害物が少ないこと、雌雄を分けて飼育していること、採食時や移動時でも群れの凝集性が高いことなどが考えられる。劣位音声といった順位に関与する音声であっても、その発声距離の違いは順位差というよりも個体間の友好度やその個体の許容度に影響があるようであった。

2024028

Jarome Ali (New York University)

Primate Natal Coats: Form and Function (霊長類の幼児体毛：その形態と機能)

本研究の第一段階として、園内で収集した霊長類の写真を用いて、おとな個体を対象とした選好注視法で実験をおこなう研究計画とした。ほとんどの脊椎動物では、幼児の色は目立たないが、鳥類の一部では目立つ幼児色をもつ種があり、研究が進められている。霊長類でもルトンやコロブスでは目立つ幼児色をもつが、研究は進んでいない。2024 年度に収集したヤクシマザルの子どもの写真を素材として、体色を加工したものと対呈示した実験刺激映像の準備を進めた。また、これらの画像を呈示するための木製の箱を作成し、ニホンザルの丘・ニホンザルとヒヒの城・アマビスヒヒを対象として、試験的にチンパンジーの画像を呈示して反応を予備的に観察した。アマビスヒヒは、積極的に箱にアプローチして、のぞき窓から箱の中の刺激を見ることがあったが、ニホンザルでは箱へのアプローチ自体が少なかった。何らかの改善策を講じて、本実験を実施したい。

2024029

Nicholas Justyn (Swansea University)

霊長類の幼児体毛：形態と機能

ほとんどの脊椎動物は、幼児の色は目立たずカモフラージュする役割を果たすが、鳥類の一部では目立つ幼児色をもつ種があり、研究が進められている。霊長類でもルトンやコロブスでは目立つ幼児色をもつが、研究は進んでいない。2024 年度は、園内で多くの出産があったため、特に発達に伴う幼児の見かけの変化について、所内研究協力者の Raquel Costa 氏が写真による記録を継続しておこなった。ヤクシマザルの子ども 3 個体では、後続の視覚刺激を呈示する実験のための素材として、カラー補正が可能な状態の、高画質の写真を撮影するために、モンキーバレイ内で撮影をおこなうこともあった。また、2024 年度生まれのアビシニアコロブス 2 個体、フランソワルトン 1 個体、リスザル 1 個体、シロガオオマキザル 1 個体、ノドジロオマキザル 1 個体の発達過程について、週 1 回を基本として継続的

に写真を撮影した。これらのデータベースをもとに後続の研究を進めていきたい。

10. 連携研究に伴う標本の貸し出し

(1) 2024016

申請者：川出比香里

題目：シシオザルのてんかん発作の遺伝性に関する調査

貸出：シシオザル 脳標本

期間：2024 年 9 月 19 日～

11. 日本モンキーセンター屋久島研修所

2020 年 7 月より運用開始

所在地：鹿児島県屋久島町永田

利用目的：屋久島での調査研究・教育・研修・実習

セミナー・ワークショップ・シンポジウム等の開催

利用料金： 宿泊有り 1,000 円 / 泊 / 人

宿泊無し 半日 300 円 / 人

1 日 500 円 / 人

12. 野外調査

(1) 白山 (ニホンザル調査隊への参加)

2025 年 2 月 11 日～2 月 16 日

赤見理恵、辻内祐美

(2) 笹ヶ峰 (妙高高原)

2024 年 9 月 2 日～5 日

赤見理恵、星野智紀、奥川みらい

2025 年 2 月 18 日～2 月 21 日

赤見理恵、星野智紀、奥川みらい

(3) 上高地

2025 年 2 月 27 日～2 月 28 日

赤見理恵

13. その他

(1) 研究活動ミーティング

日程：2024 年 5 月 21 日

(2) 保全活動

1. コンゴ民主共和国 Mbali 地域におけるボノボ保全

2. ギニア共和国 野生チンパンジー保全のための

「緑の回廊」への支援事業

期間：2017年4月～

(1) 京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科との

共同研究に基づく保全活動

期間：2023年4月～2028年3月

3. ガボン共和国 ムカラバ-ドウドウ国立公園における

ニシローランドゴリラ保全

期間：2017年8月～

4. スローロリス保全センターの運営

(1) 飼育個体の福祉向上・飼育環境改善

(2) 連携研究等による研究の推進

(3) ウェブページの公開

https://sites.google.com/view/jmc-fr5/SLCC_Home

(3) 環境教育並びに社会普及活動

1. 学習利用

(1) 団体入園者数

団体区分	2024年度		2023年度比	
	件数	人数	件数	人数
幼稚園・保育園	34	3,408	94.4%	106.5%
小学校	61	5,093	79.2%	89.4%
中学校	7	658	70.0%	53.5%
高等学校	11	617	183.3%	76.6%
大学・短大・専門学校	35	978	109.4%	110.5%
特別支援・養護学校	1	88	50.0%	163.0%
福祉・介護施設	11	150	110.0%	105.6%
一般・その他	41	732	124.2%	118.3%
合計	201	11,724	97.6%	92.8%

(2) 教育プログラム利用状況

利用団体数： 156件・9,336名

	2024年度	2023年度比
レクチャー	153	109.3%
スポットガイド団体利用	118	94.4%
キュレーター等によるガイドツアー	14	116.7%
行動観察実習	15	93.8%
標本を用いた骨学実習	10	100.0%
骨パズル	1	100.0%
ロコモーション観察ワークシート	12	200.0%
バックヤード見学	4	80.0%
「知ったことを伝えよう」ワークシート	16	133.3%
事前学習教材	29	111.5%
その他	8	266.7%
合計	380	106.4%

(3) 犬山市と連携した授業づくり

① 小学校全校児童 1日モンキーデー

犬山北小学校 543名 2024年5月8日

② 小学校4年生 モンキーワーク

理科「わたしたちの体と運動」に関連したプログラム

池野小学校 4年生 13名 2024年6月5日

東小学校 4年生 51名 6月5日

羽黒小学校 4年生 71名 6月5日

楽田小学校 4年生 94名 6月19日

城東小学校 4年生 60名 6月19日

犬山南小学校 4年生 63名 6月26日

犬山西小学校 4年生 79名 6月26日

③ 中学校 モンキーワーク

南部中学校 1年生 112名 2024年5月29日

東部中学校 1年生 103名 9月6日

城東中学校 1年生 147名 11月12日

犬山中学校 3年生 226名 10月17日

④ 犬山市民総合大学敬道館・博物館講座

内容：ロコモーション観察ワークシート実習と講義

第1回 35名 2024年10月5日

第2回 44名 10月19日

- (4) 名古屋経済大学 体験型プロジェクト (FI)
「犬山学・日本モンキーセンター」
- 第1回 ガイダンス・日本モンキーセンターとは
(場所：名古屋経済大学)
2024年4月9日 高野智
- 第2回 霊長類学入門・事前学習 (場所：名古屋経済大学)
2024年4月16日 高野智
- 第3回 霊長類の多様性(1) (場所：日本モンキーセンター)
2024年4月23日 高野智
- 第4回 霊長類の多様性(2) (場所：日本モンキーセンター)
2024年5月7日 高野智
- 第5回 霊長類行動観察入門 (1)
(場所：日本モンキーセンター)
2024年5月14日 赤見理恵
- 第6回 霊長類行動観察入門 (2)
(場所：日本モンキーセンター)
2024年5月21日 赤見理恵
- 第7回 霊長類学の最前線 (1)
(場所：日本モンキーセンター)
2024年6月4日 川上文人 (中部大学)
- 第8回 動物の進化を学ぶ (1)
(場所：日本モンキーセンター)
2024年6月11日 高野智
- 第9回 環境問題と霊長類 (場所：日本モンキーセンター)
(場所：日本モンキーセンター)
2024年6月18日 新宅勇太
- 第10回 霊長類学の最前線 (2)
(場所：日本モンキーセンター)
2024年6月25日 西村剛 (京都大学)
- 第11回 博物館としての動物園
(場所：日本モンキーセンター)
2024年7月2日 綿貫宏史朗
- 第12回 動物の進化を学ぶ (2)
(場所：日本モンキーセンター)
2024年7月9日 高野智
- 第13回 期末課題制作 (1) (場所：日本モンキーセンター)
2024年8月19日 高野智
- 第14回 期末課題制作 (2) (場所：名古屋経済大学)
2024年8月20日 高野智
- 第15回 期末課題発表 (場所：名古屋経済大学)
2024年8月22日 高野智、赤見理恵

- (5) 科学教育における高等学校、中学校等との継続的な連携
- ① 愛知県立明和高等学校
- (1) JMC ガイダンス「行動観察」
日程：2024年4月25日
対象：1年生生徒 369名
内容：講演「霊長類を研究する：ラボからフィールドまで」
(林美里)
レクチャー「動物園でもできる！動物の行動観察入門」(赤見理恵)
(場所：犬山市民文化会館)
ワークシート学習(場所：日本モンキーセンター)
観察を踏まえて2024年6月14日に発表会を実施。林と赤見が参加して講評をおこなった。

- (2) 研究活動
日程：随時
内容：生徒若干名が総合的な探究の時間ないし生物部の活動として来園し、園内の動物を対象に研究活動を実施した。キュレーターの指導のもとで研究をまとめ、第40回日本霊長類学会大会で2件、第69回プリマーテス研究会で1件のポスター発表をおこなった。

- ② 南山高等学校・中学校女子部「科学研究実践活動 霊長類学入門」
日程：随時
生徒有志が1年を通して来園し、研究活動を実施。第40回日本霊長類学会大会で1件、第69回プリマーテス研究会で2件のポスター発表をおこなった。

- ③ 多治見西高等学校附属中学校2年生「動物学研修」
内容：アウトリーチでの講義と骨パズル
(2024年10月29日)
日本モンキーセンターにおける実習
(2024年11月22日)

- ④ 武庫川女子大学附属中学校2年生「サイエンスツアー」
日程：2024年8月1日
内容：東海地方の数カ所の施設を訪問するツアーの訪問先のひとつとして来園。レクチャーと実習を組み合わせたプログラムを実施。

2. 教育普及活動の充実につながる各種ツールの開発

- (1) 学校団体向け「学習利用の手引き」

3. 教員研修会の誘致

2024年度受け入れなし

4. アウトリーチ活動

- (1) 教育活動の実践における職員の講師派遣

- ① 金城学院大学
日程：2024年5月16日
対象：現代子ども教育学科1年生 89名
内容：来園前事前指導 赤見理恵

- ② 熊本県立鹿本高等学校
日程：2024年5月27日
対象：全学年生徒514名および教職員
内容：講演「ヒトの隣人：霊長類から学ぶこと」 赤見理恵

- ③ 愛知教育大学
日程：2024年5月31日
対象：教育学部義務教育専攻理科専修・
高等学校教育専攻・理科専修 1年生約120名
内容：来園前事前指導 赤見理恵

- ④ 犬山市立楽田小学校
日程：2024年6月12日
対象：6年生 3クラス
内容：理科授業「サルの消化管を比べてみよう」 高野智

⑤ 南山高等学校・中学校女子部
日程：2024年10月11日
対象：中学校1年生 204名
内容：理科授業「骨標本から探求する霊長類の進化と多様性」 高野智

⑥ 扶桑町立柏森小学校
日程：2024年10月22日
対象：5年生 124名
内容：理科授業「人のたんじょう」 赤見理恵

⑦ 多治見西高等学校附属中学校
日程：2024年10月29日
対象：2年生 26名
内容：講義「サルについて学ぶとはどういうことか」
実習「ヒトとチンパンジーの骨格標本からわかること」 高野智

⑧ 犬山市立楽田小学校
日程：2025年3月11日
対象：5年生 76名
内容：理科授業「サルの誕生と人の誕生の違い」 赤見理恵

(2) 職員の派遣

① 京都市動物園 野生動物学のすすめ
日程：2024年4月13日～4月14日
場所：京都市動物園（京都府京都市）
内容：ブース出展、活動紹介レクチャー
新宅勇太、綿貫宏史朗、武田康祐

講演「ヒト科大型類人猿の飼育と研究から見る人と動物のつながり」（シンポジウム「動物を通して世界を知る。私たちを知る。」）
林美里

② こどもの本ブックフェア ほんのおまつり 2024
日程：2024年7月28日
場所：京都市勧業館（みやこめッセ）
内容：くもん出版ブースでのイベント参加
「サルの飼育員がやってくる」 阿野隆平

③ 熱田神宮 緑陰教室
日程：2024年7月29日
場所：熱田神宮宝物館（愛知県名古屋市）
内容：講演「サルの話」 赤見理恵

④ 名古屋栄三越 ART & CREATION
「日本モンキーセンターが名古屋栄三越にやってきた！」
場所：名古屋栄三越（愛知県名古屋市）
内容：展示（JMC紹介・所蔵絵画作品資料・阿野隆平作品）
美術作品展示（美術作家・高木智広氏、ARTE CASA・村瀬真以氏 キュレーション）
日程：2024年8月14日～8月20日
内容：ワークショップ「系統樹モビールを作ろう」
日程：2024年8月16日～8月18日
新宅勇太

⑤ 犬山産業振興祭
日程：2024年10月12日
場所：犬山市民文化会館（愛知県犬山市）
内容：ブース出展、グッズ販売 赤見理恵

⑥ 犬山市各務原市ご当地じまんまつり
日程：2025年2月15日～2月16日
場所：オアシスパーク（岐阜県各務原市）
内容：ブース出展、グッズ販売
新宅勇太、阪倉若菜

⑦ 澤田酒造 酒蔵開放
日程：2025年2月22日
場所：澤田酒造（愛知県常滑市）
内容：グッズ販売 高野智、江藤彩子

(3) 地元、近隣の学校訪問（誘致・広報活動）
犬山市を中心に、出前授業等の機会も利用して誘致の呼びかけ

(4) 社会貢献

① 日本霊長類学会 保全・福祉担当理事 林美里
② 日本子ども学会 理事 林美里
③ あいちサイエンスフェスティバル 2024 実行委員 高野智

④ 愛知県尾張北部生態系ネットワーク協議会 委員 高野智

⑤ 名古屋経済大学犬山学研究センター 客員教授 高野智

⑥ 日本霊長類学会 代議員 赤見理恵

⑦ 日本動物園水族館教育研究会 運営委員 赤見理恵

⑧ 特定非営利活動法人屋久島いきもの調査隊 監事 赤見理恵

⑨ 日本哺乳類学会 分類群名・標本検討委員会 委員 新宅勇太

⑩ 日本哺乳類学会 和文誌編集委員会 委員 新宅勇太

⑪ 日本霊長類学会 Primates 誌 Editorial Assistant 新宅勇太

⑫ NPO 法人市民 ZOO ネットワーク 理事 綿貫宏史朗

⑬ 日本野生動物医学会 評議員 綿貫宏史朗

⑭ 日本野生動物医学会 広報委員 綿貫宏史朗

⑮ 日本野生動物医学会 野生動物保全・福祉委員 綿貫宏史朗

⑯ 神戸どうぶつ王国 生物多様性保全担当顧問 綿貫宏史朗

⑰ 日本動物園水族館協会 生物多様性委員会保全戦略部員（神戸どうぶつ王国顧問として） 綿貫宏史朗

⑱ 札幌市市民動物園会議認定動物園支援事業部会 委員 綿貫宏史朗

⑲ 一般社団法人野生生物生息域外保全センター 理事 綿貫宏史朗

⑳ 日本霊長類学会 編集幹事 豊田有

㉑ 日本霊長類学会 Primates 誌 Editorial Assistant 豊田有

㉒ Open Meeting for Portuguese Primatology 2nd Edition, Primate Cognition Research Group, Conference committees Raquel Costa

5. 特別展・特集展示の開催

- (1) 特別展「音声展 ―サルたちの会話をのぞいてみよう―」
会期：2024年3月16日～9月1日
会場：ビジターセンター 特別展示室
監修：西村剛（京都大学ヒト行動進化研究センター）
主担当：高野智
- (2) 特別展「190年前の霊長類図鑑」
会期：2024年9月21日～2025年1月26日
会場：ビジターセンター 特別展示室
主担当：新宅勇太
- (3) 特別展「Wao ランド展
～20年目のありがとうございマダガスカル!～」
会期：2025年3月20日～開催中
会場：ビジターセンター 特別展示室
主担当：綿貫宏史朗
- (4) 企画展「猿の怪」
会期：2024年7月20日～
会場：ビジターセンター 常設展示室
協力：岐阜県博物館
主担当：新宅勇太
- (5) 企画展「キンシコウ来園40周年」
会期：2025年3月16日～開催中
会場：ビジターセンター 常設展示室・企画展示室
主担当：赤見理恵、新宅勇太
- (6) 「動物園長の部屋」
日程：2024年7月20日～
場所：ビジターセンター内
- (7) 民俗資料展示「日本モンキーセンター所蔵 民俗資料
猿二郎コレクション」
会期：2017年10月13日～開催中
場所：木之下城伝承館 堀部邸
協力：特定非営利活動法人 古代瀬波の里・文化遺産
ネットワーク

6. 他の博物館等への展示協力

- (1) 国立科学博物館
特別展「大哺乳類展3 わけてつなげて大行進」
内容：P-S-0258 ボルネオオランウータンなど剥製標本2点、
Pr3684 テングザル頭骨標本の貸出
期間：2024年3月6日～2024年7月10日
(会期：2024年3月16日～6月16日)

7. 2024年度モンキーキャンパス

主催：公益財団法人日本モンキーセンター
共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・
リーディング大学院
受講費：12,000円（全6回分）
（ただし2024年4月1日時点で20才以下の
受講者は9,000円、友の会年会費は別途）
方式：ビジターセンターホールでの会場受講のみ
録画した講義の見逃し配信を実施
受講者数：74名

プログラム：

- 第1回 2024年6月9日
講師：阿形清和（国立基礎生物学研究所）
「再生を科学して再生医療に活かす」
- 第2回 2024年7月7日
講師：大井徹（石川県立大学）
「ツキノワグマとの比較で考えるニホンザルの
雑食性」
- 第3回 2024年8月4日
講師：海部陽介（東京大学総合研究博物館）
「海の人類史 パイオニアたちの100万年」
- 第4回 2024年9月8日
（荒天予報のため9月1日から変更）
講師：村田浩一（よこはま動物園ズーラシア）
「動物園について考える諸々のこと」
- 第5回 2024年10月6日
講師：マイケル・A・ハフマン
（長崎大学熱帯医学研究所）
「霊長類の薬草利用の進化」
- 第6回 2024年11月10日
講師：竹下秀子（追手門学院大学心理学部）
「コミュニケーションの比較発達
―母と子が生みだすもの」

8. モンキーキャンパスサークル活動の実施

モンキーキャンパス受講者をメンバーとして活動
募集型サークル

- ①資料サークル（担当キュレーター：高野、新宅）
- ②行動観察サークル（担当キュレーター：赤見）

自主活動型サークル

- ①畑サークル
- ②エンリッチメントサークル

9. モンキーキャンパス研修ツアー

- ① よこはま動物園ズーラシア見学ツアー
日程：2024年9月29日
場所：よこはま動物園ズーラシア
参加者：20名
引率：綿貫宏史朗、赤見理恵、武田康祐、宗像大和
高田晃行
- ② 屋久島研修ツアー
日程：2024年11月22日～11月25日
場所：鹿児島県屋久島
講師：湯本貴和（ナチュラリスト／京都大学名誉教授）
参加者：5名
引率：赤見理恵、川原宇翔
- ③ 屋久島研修ツアー アドバンストコース
日程：2024年11月25日～11月28日
場所：鹿児島県屋久島
講師：湯本貴和（ナチュラリスト／京都大学名誉教授）
参加者：5名
引率：赤見理恵

10. モンキー日曜サロンの開催

主催：公益財団法人日本モンキーセンター
京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・
リーディング大学院
提供：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・
リーディング大学院
* Zoomでのオンライン配信も併用して開催

第 83 回

日程：2024年5月26日
演題：「あくびは伝染する、おしっこも伝染する？
～チンパンジーの行動伝染現象～」
講師：大西絵奈（京都大学野生動物研究センター）

第 84 回

日程：2024年6月16日
演題：「サルとヒトののどを比べて探ることばの起源」
講師：西村剛（京都大学ヒト行動進化研究センター）

第 85 回

日程：2024年10月27日
演題：「化石から復元する絶滅したキツネザルの脳」
講師：豊田直人（京都大学ヒト行動進化研究センター）

第 86 回

日程：2024年11月3日
演題：「iPS細胞を使って探るテナガザルの腕の
伸ばしかた」
講師：濱寄裕介（京都大学ヒト行動進化研究センター）

第 87 回

日程：2024年12月1日
演題：「ニホンザルはコンタクトコールで何を
どうやって伝えるのか？」
講師：勝野吏子（大阪大学大学院人間科学研究科）

11. 写生大会の開催

(1) 第 68 回日本モンキーセンター写生大会 優秀作品展の開催
期間：2023年7月22日～2024年7月15日
場所：ビジターセンター内企画展示室

(2) 第 69 回日本モンキーセンター写生大会の開催

後援：文部科学省、愛知県、愛知県教育委員会、
岐阜県教育委員会、犬山市、犬山市教育委員会、
京都大学野生動物研究センター
募集期間：2024年4月1日～6月2日
応募点数：199点
審査会：2024年6月13日
入選点数：44点（特別賞12点、特選13点、入選19点）

表彰式：2024年7月20日
場所：ビジターセンターホール
参加者：受賞者およびその家族、79名

(3) 第 69 回日本モンキーセンター写生大会優秀作品展の開催
期間：2024年7月20日～開催中
場所：ビジターセンター内企画展示室

12. ミュージアムトーク

* 友の会会員向けに Zoomでのオンライン配信も併用

第 62 回「豪雪の白山でくらすニホンザルたち～冬季調査
参加報告～」

2024年4月21日 赤見理恵

第 63 回「テナガザルの歌声を聞いてみよう！」

2024年7月13日、7月14日、7月15日

(ライト ver.) 綿貫宏史朗

第 64 回「アフリカ・コンゴの森への旅」

2024年7月21日、7月27日、7月28日

(ライト ver.) 新宅勇太

第 65 回「となりのオオサンショウウオ」

2024年8月10日

下村実

第 66 回「小さなサル：タマリンとマーモセットのはなし」

2024年8月11日、8月14日、8月15日

(ライト ver.) 赤見理恵

第 67 回「小さなサル：タマリンとマーモセットのはなし
骨バージョン」

2024年8月12日、8月13日

(ライト ver.) 高野智

第 68 回「チンパンジーとヒトの骨格をくらべてみよう！」

2024年8月18日

高野智

第 69 回「日本のゴリラ飼育史」

2024年9月21日

綿貫宏史朗

第 70 回「ニシゴリラの骨格標本観察会」

2024年9月22日

高野智

第 71 回「ビュフォンの『博物誌』：190年前の霊長類
図鑑の“原典”」

2024年11月24日

新宅勇太

第 72 回「センサーカメラを使ったニホンザル調査の
成功談&失敗談」

2024年11月30日

赤見理恵

第 73 回「『日本モンキーセンターのじゅうい』
大人向け ver.」

2025年1月19日

武田康祐

13. オンライン講座の開催

(1) 霊長類学基礎講座 2024

(全6回、2023年度に第1回～第4回を実施)

方式：ビジターセンターでの聴講

Zoomによるオンライン配信（2週間の見逃し配信）

定員：各回90名

料金：各回800円（18歳未満500円）

全6回受講 4000円（18歳未満2500円）

第 5 回「霊長類の生態」

2024年4月13日

赤見理恵

第 6 回「霊長類の環境適応と多様性」

2024年5月11日

高野智

(2) 続・霊長類学基礎講座 2025

(全6回、2025年度に第5回、第6回を実施)

方式：ビジターセンターでの聴講

Zoomによるオンライン配信（2週間の見逃し配信）

定員：各回90名

料金：各回800円（18歳未満500円）

全6回受講 4000円（18歳未満2500円）

- 第1回「霊長類学とははじめ」
2025年1月18日 高野智
- 第2回「霊長類の発達と子育て」
2025年2月15日 林美里
- 第3回「コレクションがつなぐ人と霊長類」
2025年3月8日 新宅勇太
- 第4回「霊長類の生態と動物園」
2025年3月29日 赤見理恵

14. 動物園イベント

(1) 通年イベント

- ① オンラインガイド
休園日、YouTubeでガイドをライブ配信（15分程度）
2024年度 計127回開催
- ② 園内ガイド 計708回開催
- ③ スタンプラリー
園内7か所にスタンプを設置、オリジナルイラストの台紙を有料配布
春季：4月 飼育の日 5月～ 国際マカク週間
夏季：8月15日は国際ワタボウシタマリンの日
秋季：10月の最終金曜日は世界キツネザルの日
冬季：3月3日ワシントン条約
- ④ クイズラリー
園内各所にオリジナルクイズを設置
年4回更新
- ⑤ 月刊『さるしり！』
各担当施設において、月毎のテーマに合わせて紹介
園内10か所に設置
4月：こんな声で鳴きます（挨拶・アピール編）
5月：この個体をさがせ！
6月：こんな目をしています
7月：夏ならでは！
8月：こんな声で鳴きます（警戒声・怒り編）
9月：うちのご長寿紹介
10月：好きな食べもの
11月：飼育員が工夫しています
12月：ここの動物園がオススメ！
1月：こんな本に出ています
2月：学名の秘密
3月：絶滅の危惧！

(2) 定期開催イベント

- ① バックヤード見学会
日程：2024年5月18日、5月26日、6月23日、
10月19日、11月9日
13:00～13:45
のべ参加者数：47名
- ② スローロリス保全センター見学ツアー
日程：2024年4月7日、5月19日、6月16日、
8月11日、9月8日、10月14日、11月3日、
12月15日、2025年2月16日、3月16日
13:00～13:40
のべ参加者数：156名
- ③ 飼料倉庫見学会
日程：2024年4月21日、5月5日、6月2日、
8月12日、9月15日、10月6日、11月7日、
2025年2月24日、3月30日
13:00～13:30
のべ参加者数：57名

- ④ 飼育員のお絵描き教室
日程：2024年4月13日、5月25日、6月8日、
8月24日、9月23日、10月26日、11月16日、
2025年2月22日、3月1日
のべ参加者数：68名
- ⑤ 飼育員と一緒におやつをつくろう！
日程：2024年4月27日、5月11日、8月17日、
10月5日、11月4日、12月1日、
2025年2月11日（モンキーパレイ）
2024年4月28日、5月4日、8月31日（中止）
2025年2月8日（アジア館）
2024年4月28日、5月5日、9月14日、
11月2日、2025年2月23日、（アフリカセンター）
2024年4月29日、5月3日、5月11日、6月9日、
9月1日、10月13日、11月10日、12月8日、
2025年2月2日、2月24日、3月23日（ヒヒの城）
2024年5月4日、6月22日、7月27日、
10月12日、11月30日、12月14日、
2025年2月15日、3月22日（Waoランド）
2024年5月6日、9月16日、（南米館）
2024年6月29日、8月10日、9月28日
10月13日、11月23日、2025年2月1日、
3月8日（アフリカ館）
11:00～11:30、13:00～13:30、
14:00～14:30のいずれかで開催
のべ参加者数：386名
- ⑥ 飼育員と一緒に個体をみわけよう！
日程：2024年4月6日、9月29日
（モンキースクランブル・ジェフロイクモザル）
2024年6月15日、10月20日
（アフリカセンター・バーバリーマカク）
2024年8月4日（南米館・ノドジロオマキザル）
のべ参加者数：13名
- ⑦ 飼育員と一緒におやつをつくって個体をみわけよう！
日程：2024年6月1日、11月24日（アジア館）
2024年9月21日（Waoランド）
13:00～14:00
のべ参加者数：25名
- ⑧ 飼育員と一緒に記念日をお祝いしよう！
日程：2024年4月14日 シロガオサキ・モップ
4月27日 サイクスモンキー・ライト
5月12日 ボンネットモンキー・テンテン
6月30日 フサオマキザル・マーフィ（不催行）
7月6日 フサオマキザル・フランシス
7月7日 トクモンキー・フーシャ
7月20日 チンパンジー・マモル
9月7日 フクロテナガザル・メロン
10月27日 フクロテナガザル・スイカ
12月7日 ノドジロオマキザル・マライア
2025年1月18日 チンパンジー・ツトム
3月2日 カニクイザル・モズク
トクモンキー・ボンズ
3月9日 ジェフロイクモザル・レンゲ
3月15日 ワオキツネザル・ラッパ
3月20日 チベットモンキー・
ザルバ、アルカ、カルト
3月29日 パタスモンキー・シグマ
13:00～14:00
のべ参加者数：90名

- ⑨ モーニングツアー
日程：2024年4月20日、5月6日、6月22日、
10月27日、11月16日 8:30～10:00
のべ参加者数：63名
- (3) ガイドツアー
- ① 動物園の“裏側”から見る霊長類の社会
日程：2024年5月19日、6月2日、
2025年3月23日
のべ参加者数：6名 赤見理恵
- ② 動物園の“裏側”から見る身近な野生動物
日程：2024年4月19日、12月29日
2025年1月26日
のべ参加者数：30名 赤見理恵
- (4) 国際マカク週間
- ① 園内ガイド 国際マカク週間 Ver.
日程：2024年5月1日
5月7日（オンライン開催）
- ② なぞとき！マカクイズ！
日程：2024年4月27日～5月31日
内容：園内にオリジナルの謎解きラリーを設置
- ③ スタンプラリー モンキーセンターのマカクたち
日程：2024年5月1日～6月30日
内容：園内10か所にスタンプを設置
- ④ 限定オンラインショップ
期間：2024年5月1日～5月31日
プラットフォーム：SUZURI および BASE
- (5) 第7回飼育施設対抗なんでもアピール選手権大会
通称『甲子猿』
日程：2024年7月13日～7月15日、7月21日（予選）
7月28日、8月3日（準決勝）
8月18日（決勝） 13:00～13:30
8月25日（祝勝会）
場所：ビジターセンターホールおよびYouTube 配信
内容：飼育施設を8チームに分けて担当者が動画や
写真で動物の魅力や個性をプレゼンテーション
現地およびX上で投票（結果は翌日生配信）
- (6) お盆期間イベント
- ① 森の工作室
日時：2024年8月10日、15日
14:00～16:00
場所：ビジターセンター
- ② マーモセットに挑戦！高い声大会
日程：2024年8月11日～8月15日
場所：ビジターセンター
- (7) 世界ゴリラの日
- ① 日本のゴリラ飼育6園協同イベント『ライブ配信で
見る、ゴリラたちの今』
日程：2024年9月22日 13:30～14:30
内容：6園からのYouTube 配信
- ② 日本のゴリラ飼育6園協同イベント『スマホ回収
プロジェクト』
NPO法人テラ・ルネッサンスのプロジェクトに協働
回収期間：2024年9月19日～
回収場所：アフリカセンター屋内観覧通路
- ③ 日本のゴリラ飼育6園協同イベント『日本のゴリラ
たちの過去と現在～そして未来～』（ポスター展示）
期間：2024年9月19日～
場所：アフリカセンター屋内観覧通路
- ④ 「世界ゴリラの日」記念！スペシャルツアー
日程：2024年9月24日 9:30～13:00
参加者：14名
- (8) 世界キツネザルの日
- ① 澤田酒造コラボ日本酒「嗅鼻乃狐猿」販売
期間：2024年10月5日～
- ② しましまタオル2024 ver.の販売
期間：2024年10月12日～
- ③ 飼育員によるキツネザルの園内ガイド
日時：2024年10月25日 13:00～
- (9) 世界ニホンザルの日
- ① ポスターの作製・掲示
- ② 生息地から生配信！～嵐山モンキーパークいわたやま～
日程：2024年12月3日
場所：嵐山モンキーパークいわたやま
- ③ 飼育員と一緒におやつをつくろう！世界ニホンザルの
日 Ver.
日程：2024年12月1日
場所：モンキーバレイ
- ④ 第72回ミュージアムトーク
「センサーカメラを使ったニホンザル調査の成功談&
失敗談」
日時：2024年11月30日 11:00～11:45
講師：赤見理恵
- ⑤ 第87回モンキー日曜サロン
「ニホンザルはコンタクトコールで何をどうやって
伝えるのか？」
日時：2024年12月1日 11:00～11:45
講師：勝野吏子（大阪大学）
- ⑥ ガイドツアー 動物園の“裏側”から見る身近な野生動物
日時：2024年12月29日、2025年1月26日
11:00～12:00
担当：赤見理恵、辻内祐美
- (10) 冬の風物詩 たき火にあたるサル
期間：2024年12月21日（冬至）～
2025年1月26日の土・日・祝および
1月2日、3日（計16日）
時間：11:30～14:00
12:00～13:00の間にオンラインガイド
14:00より園内ガイド（ほかほかおイモタイム）
- (11) 年末年始イベント
- ① 縁起物「奇跡のみかん」の配布
日程：2025年1月1日～1月3日
場所：アフリカセンター
10:00より各日先着30個を配布
- ② モンキーセンターからのお年玉♪
末尾「36」「8936」の年賀ハガキ持参者にプレゼント
受付期間：2025年1月1日～2月28日

- ③ サルおせち
 内容：飼育員作成の「サルおせち」をふるまう
 園内ガイド（13:00～）：
 2025年1月1日 Waoランド（ワオキツネザル）
 1月2日 アフリカセンター
 （ニシゴリラ、バーバリーマカク）
 1月3日 リスザルの島（ポリビアリスザル）
 1月4日 新アフリカ館（アビシニアコロブスほか）
 1月5日 アジア館（チベットモンキー、
 トクモンキー、フランソワルトン）
 1月6日 ギボンハウス
 1月11日 アフリカ館
 1月12日 南米館（フサオマキザル）
 1月13日 アフリカセンター（チンパンジー）
 Web配信（YouTubeプレミアム配信）：
 1月7日 Waoランド（ワオキツネザル）
 1月8日 バックヤード（カニクイザルほか）
 1月10日 ニホンザルの丘（ニホンザル）

(12) 猿 JOY！感謝祭
 開催を2025年4月に変更したため、今年度は実施なし

(13) 特定日開催

- ① テナガザルに挑戦！大声大会
 日程：2024年5月3日～5月6日
 場所：ヒヒの城周辺
- ② 犬山マルシェ ウキウキ猿 joy フェスティバル 2024
 日程：春2024年5月11日 秋10月13日
 出店数：春39店舗 秋25店舗
- ③ 澤田酒造まつり
 日程：2024年5月11日
- ④ 書籍出版記念トークイベント『おしえて！下村園長！』
 日時：2024年5月25日 14:00～15:00
 場所：ビジターセンターホール
- ⑤ ハイイロウーリーモンキー、チベットモンキーのお見送り会
 日時：2024年6月18日 8:30～12:00
 参加者：10名
- ⑥ ちょっと涼しくなった夕方から事務員と巡るツアー
 日時：2024年7月21日、8月18日
 参加者：のべ28名
- ⑦ 動物慰霊祭
 日程：2024年10月17日
 備考：10月12日～17日の間、慰霊祭のお供え物を募集
- ⑧ クリスマスイベント
 内容：2024年12月21日～23日の間、寄附飼料を募集
 12月22日サンタが園内に登場、ツリー設置
 12月24日、25日 YouTube にてプレゼント
 お届け配信
- ⑨ 英語ガイド
 日程：たき火開催日 13:30～14:00
 参加者：1組5名

- ⑩ まるっと！チベットモンキーデー
 日程：2025年3月20日
 内容：特別講演会「チベットモンキーはニホンザルと
 どう違うか」 講師：小川秀司（中京大学）
 3月生まれのチベットモンキー3頭の
 お誕生日を祝おう！
 よこはま動物園ズーラシアとの特別コラボ企画
 「ミーちゃんに会いたい」（中継）
 チベットモンキーパネル展
 （ビジターセンター内、2025年3月1日～3月31日）

15. ワイルドサマーキャンプ

- 日程：第1回 2024年7月30日～7月31日
 参加者：22名
 第2回 2024年8月6日～8月7日
 参加者：20名
 対象：小学校3年生～中学校3年生
 定員20名（最少催行人数12名）
 内容：レクチャー・行動観察・石器作り
 カメラトラップ設置
 参加費：20,000円（友の会年会費2000円を含む）

連携：名古屋 ECO 動物海洋専門学校
 「企業プロジェクト」を受け入れ、
 学生5名が参加。
 ポリビアリスザルが対象のエンリッチメント
 体験のプログラムを立案・実施したほか、
 運営全般を補助。
 事前打ち合わせ 2024年7月9日
 オンラインミーティング 7月12日
 活動内容を YouTube で動画公開

16. 外部イベントへの会場提供

- (1) くだらないものグランプリ 2024
 主催：くだらないものグランプリ実行委員会
 日程：2024年10月26日
 内容：ビジターセンターホールからのイベント生配信

17. ホームページの充実

- (1) 日本語サイト <https://www.j-monkey.jp/>
 Webサイトの更新件数：258件
 （サポーター専用ページを除く）
 主な更新：トップページ写真、ニュース
 Web 霊長類図鑑 等
 リニューアルを3回に分けて実施
- (2) 外国語サイト
 （英）<https://www.j-monkey.jp/lng/en/index.html>
- (3) 寄附・支猿サイト <https://sites.google.com/view/jmc-fr>
- (4) スローロリス保全センターサイト
https://sites.google.com/view/jmc-fr5/SLCC_Home

18. メールマガジン「新 JMC 通信」の発行

2018年4月より不定期配信に変更
 2024年度配信数 31回
 霊長類学基礎講座 2024、飼育員のお絵描き教室 開催
 します！ 2024年4月10日

ゴリラの「奇跡のみかん」がお酒になります！
 4月17日
 ゴールデンウィークのJMCはイベント盛りだくさん
 です！！ 4月24日
 ウキウキ猿 joy フェスティバル 2024 春 5/11 に開催
 します！ 5月8日
 クラウドファンディング目標額100%を達成しました！！
 5月15日
 おしえて！下村園長！5/25(土)開催します！
 5月22日
 クラウドファンディング、モンキーキャンパスの
 申込は5/31(金)まで！ 5月29日
 モンキー日曜サロン 特別展監修者の西村剛先生が
 お話します！ 6月13日
 ボリビアリスザルとアビシニアコロブスの出産が
 ありました！ 6月19日
 ワイルドサマーキャンプの参加者募集中です！
 6月26日
 ワイルドサマーキャンプ参加者募集中！／甲子猿限定
 グッズまもなく販売開始！ 7月3日
 今年の夏の甲子“猿”いよいよ始まります！！
 7月10日
 動物園長の部屋がオープンしました！ 7月24日
 ミュージアムトーク「猿の怪～猿にまつわる妖怪
 たちの世界～」8/31(土)開催！！ 8月27日
 9/24は世界ゴリラの日！ 9月11日
 世界ゴリラの日関連イベントを開催します！
 9月18日
 特別展「190年前の霊長類図鑑」オープンしました！
 9月26日
 友の会のつどい、動物慰霊祭を開催します
 10月10日
 今日国際テナガザルの日です 10月24日
 11/3(日)モンキー日曜サロン開催します！
 10月31日
 飼育員のお絵かき教室、飼料倉庫見学会 開催します！
 11月14日
 11/24(日)ミュージアムトーク開催します！ 11月21日
 12/3は世界ニホンザルの日 11月28日
 続・日本モンキーセンター霊長類学基礎講座 2025
 参加申込受付中！ 12月12日
 たき火にあたるサル 今年も冬至から始まります！
 12月19日
 お正月限定イベントのお知らせ 12月30日
 続・日本モンキーセンター霊長類学基礎講座 2025
 1/18(土)第1回開催！ 2025年1月15日
 続・日本モンキーセンター霊長類学基礎講座 2025
 2/15(土)第2回開催！ 2月13日
 続・日本モンキーセンター霊長類学基礎講座 2025
 3/8(土)第3回開催！ 3月5日
 まるっと！チベットモンキーデー 3/20(木・祝)開催！
 3月14日
 NMB48 水田詩織さんが日本モンキーセンター
 アンバサダーに就任します！ 3月27日

19. ブログ「飼育の部屋」

<https://www.j-monkey.jp/jmkeeper/>
 2024年度投稿数 266件
 (うち148件はオンラインサロン限定記事)

20. Facebook を通じた情報発信

<https://www.facebook.com/japanmonkeycentre/>
 投稿数：7件
 フォロワー数：3,561 (2025年3月31日時点)

21. X (旧 Twitter) を通じた情報発信

日本語版
https://twitter.com/j_monkeycentre
 投稿数：2,103件
 フォロワー数：41,457 (2025年3月31日時点)

①「〇〇の日」ポスト

関係する国際デー、記念日などにあわせた記事を投稿
 2024年5月1～7日 国際マカク週間
 5月22日 国際生物多様性の日
 7月14日 世界チンパンジーの日
 8月15日 国際ワタボウシタマリンの日
 9月13日 国際スローロリスの日
 9月24日 世界ゴリラの日
 10月24日 国際テナガザルの日
 10月28日 世界キツネザルの日
 12月3日 世界ニホンザルの日
 2025年3月3日 世界野生生物の日

英語版

<https://twitter.com/JpnMonkeyCentre>
 投稿数：0件
 フォロワー数：571 (2025年3月31日時点)

22. YouTube の配信 (動画・スライドショー)

公式チャンネル
 2024年度新規公開動画：21本
 ショート動画 29本
 動物園イベント関連動画
 飼育職員撮影の動物動画
 園長の部屋
 ライブ配信：147回
 フォロワー数：6,560 (2025年3月31日時点)

23. Instagram からの配信

<https://www.instagram.com/jpnmonkeycentre/>
 2024年度新規投稿：203件
 フォロワー数：8,546 (2025年3月31日時点)

24. マスメディアへの情報提供

(1) プレスリリース

ゴリラの「奇跡のみかん」がお酒になります！
 2024年4月15日
 シロガオオマキザル出産のお知らせ 4月28日
 「ウキウキ猿 joy! フェスティバル 2024 春」「澤田酒造
 まつり @日本モンキーセンター」を同日開催します！！
 5月7日
 ハイロウリーモンキーとチベットモンキーの移動の
 お知らせ 5月15日
 ベニガオザルで「死亡個体との交尾行動」を野生霊長類で
 初めて記録 - 霊長類の死生観の解明に迫る極めて貴重な
 観察事例 - 5月19日
 ボリビアリスザル出産のお知らせ 6月7日
 アビシニアコロブス出産のお知らせ 6月14日

「甲子猿」開催のお知らせ 6月24日
日本モンキーセンター「動物園長の部屋」オープンのお知らせ 7月24日
10月の最終金曜日は世界キツネザルの日です！

10月4日
日本モンキーセンター創立記念「ウキウキ猿 joy! フェスティバル 2024 秋」を開催します！！ 10月8日
10/17(木) 動物慰霊祭を執りおこないます 10月11日
12月3日は「世界ニホンザルの日」です！ 11月28日
冬の風物詩「たき火にあたるサル」今年も開催します

12月5日
2025年お正月イベントのお知らせ 12月23日
スダスローリス展示開始のお知らせ

2025年2月18日
NMB48 水田詩織さんアンバサダー就任のお知らせ

3月6日
Wao ランド 20周年記念特別展「Wao ランド展 ～20年目のありがとうごさいマダガスカル！～」開催のお知らせ

3月20日
公益財団法人日本モンキーセンター 新所長に湯本貴和氏が就任します 3月31日

(2) 新聞記事掲載 20件

(3) テレビ 45件

① CCNet 「おうちで猿 JOY どうぶつえん」
#55 霊長類を描こう 2024年4月16日初回放送
#56 ウーリーモンキー 5月16日初回放送
#57 アンゴラコロボス 6月16日初回放送
#58 霊長類の音声 7月16日初回放送
#59 霊長類だけじゃない！？ 夏休みは日本モンキーセンターへ！ 8月16日初回放送
#60 シロガオオマキザル 9月16日初回放送
#61 ワオキツネザル 10月16日初回放送
#62 190年前の霊長類図鑑 11月16日初回放送
#63 サイクスモンキー 12月16日初回放送
#64 ヨザル 2025年1月16日初回放送
#65 ブラッザグエノン 2月16日初回放送
#66 進化ってどういうこと？ 3月16日初回放送

(4) ラジオ 4件

① J-WAVE Growing Reed
2024年6月30日放送回
「猿を知ることによって人を知るとはどんな考えですか？」
下村実
②文化放送 浜美枝のいつかあなたと
2024年10月13日放送回 下村実

(5) 雑誌等掲載 5件

(6) Web サイト 6件

(7) 書籍への情報提供 1件

(8) その他

※確認できたもののみ

(4) 図書及び学術誌の刊行

1. 英文学術雑誌「PRIMATES」の発行

PRIMATES 編集委員会 (2024年12月31日時点)

Editor-in Chief

河村正二 (東京大学)

Vice Editors-in-Chief

James R. Anderson (京都大学)

平田聡 (京都大学)

Associate Editors

Kim Bard (University of Portsmouth, イギリス)

Augustin Basabose

(Centre de Recherche en Sciences Naturelles, コンゴ民主共和国)

Fred Bercovitch (アメリカ)

Júlio César Bicca-Marques

(Pontifical Catholic University of Rio Grande do Sul, ブラジル)

Warren Brockelman (Mahidol University, タイ)

Susana Carvalho (University of Oxford, イギリス)

藤田志歩 (鹿児島大学)

郷康広 (兵庫県立大学)

Cyril. C Grueter (The University of Western Australia, オーストラリア)

半谷吾郎 (京都大学)

林美里 (中部学院大学, 日本モンキーセンター)

Eckhard Heymann (German Primate Center, ドイツ)

Catherine Hobaiter (University of St Andrews, イギリス)

Gottfried Hohmann

(Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology, ドイツ)

Michael A. Huffman (長崎大学)

村山美穂 (京都大学)

Patrícia Izar (University of São Paulo, ブラジル)

香田啓貴 (東京大学)

河野礼子 (慶應義塾大学)

Kathelijne Koops (University of Zurich, スイス)

杳掛展之 (総合研究大学院大学)

Phyllis Lee (University of Stirling, イギリス)

Baoguo Li (Northwest University, 中国)

松田一希 (京都大学)

松平一成 (琉球大学)

中川尚史 (京都大学)

中村美知夫 (京都大学)

中村紳一朗 (麻布大学)

中務真人 (京都大学)

西村剛 (京都大学)

小川秀司 (中京大学)

荻原直道 (東京大学)

Martha Robbins

(Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology, ドイツ)

佐藤宏樹 (京都大学)

David S. Sprague (東京外国語大学, Temple University)

Karen Strier (University of Wisconsin, Madison, アメリカ)

杉浦秀紀 (京都大学)

Bernard Thierry (Centre National de la Recherche Scientifique, フランス)

Peter Ungar (University of Arkansas, アメリカ)

山本真也 (京都大学)

山梨裕美 (京都市動物園)

Advisory Board

Matilda Brindle (University College London, イギリス)
Josep Call (University of St. Andrews, イギリス)
Mukesh Chalise (Tribhuvan University, ネパール)
Laurence Culot (Sao Paulo State University, ブラジル)
Pedro Dias (Instituto de Neuroetología, メキシコ)
江成広斗 (山形大学)
Pengfei Fan (Sun Yat-Sen University, 中国)
Renata Gonçalves Ferreira
(Federal University of Rio Grande do Norte, ブラジル)
Songtao Guo (Northwest University, 中国)
早川卓志 (北海道大学)
平崎鋭矢 (京都大学)
五百部裕 (椛山女学園大学)
今井啓雄 (京都大学)
井上英治 (東邦大学)
勝野吏子 (大阪大学)
Andreas Koenig (Stony Brook University, アメリカ)
Amanda Korstjens (Bournemouth University, イギリス)
Jean-Baptiste Leca (University of Lethbridge, カナダ)
Andrew MacIntosh (Wilder Institute, カナダ)
Bonaventura Majolo (University of Lincoln, イギリス)
Charmalie Nahallage (University of Sri Jayewardenepura, スリランカ)
Luciana Oklander
(Consejo Nacional de Investigaciones Científicas y Técnicas, アルゼンチン)
大谷洋介 (大阪大学)
Elisabetta Palagi (University of Pisa, イタリア)
Ryne A. Palombit (Rutgers University, アメリカ)
Annika Paukner (Nottingham Trent University, イギリス)
Jonah Ratsimbazafy
(Study Group and Research of Primates (GERP), マダガスカル)
Ulrich Reichard (Southern Illinois University, アメリカ)
齋藤慈子 (上智大学)
Michael Schillaci (University of Toronto, カナダ)
Robert Seyfarth (University of Pennsylvania, アメリカ)
下岡ゆき子 (帝京科学大学)
David Smith (University of California, Davis, アメリカ)
Joseph Soltis (Disney's Animal Kingdom, アメリカ)
Cedric Sueur (University of Strasbourg, フランス)
高井正成 (京都大学)
竹ノ下佑二 (中部学院大学)
田中正之 (京都市動物園)
徳山奈帆子 (中央大学)
辻大和 (石巻専修大学)
David Watts (Yale University, アメリカ)
山田一憲 (大阪大学)
山極壽一 (総合地球環境学研究所)
山越言 (京都大学)
Anne Yoder (Duke University, アメリカ)

Editorial Assistant

新宅勇太 (京都大学, 日本モンキーセンター)
豊田有 (日本モンキーセンター)

CONTENTS

Volume 65 Number 3, May 2024

Editorial

Thierry B: The off-the-record stories primatologists tell each other.
pp. 139-143-283.

News and Perspectives

Pashchevskaya S, Fruth B, Hohmann G: Water scooping: tool use
by a wild bonobo (*Pan paniscus*) at LuiKotale, a case report.
pp. 145-150.

Chakraborty B, Pithva K, Mohanty S, McCowan B: Lethal dog
attacks on adult rhesus macaques (*Macaca mulatta*) in an
anthropogenic landscape. pp. 151-157.

Original Article

Ardoin T, Sueur C: Automatic identification of stone-handling
behaviour in Japanese macaques using LabGym artificial
intelligence. pp. 159-172.

Pietrangeli E, Saldaña-Sánchez AA, Spaan D, Aureli F: Let's not
use it! A dynamic no-use zone between the home ranges of two
spider monkey groups. pp. 173-181.

Maya Lastra N, Rangel Negrín A, Coyohua Fuentes A, Dias PAD:
Mantled howler monkey males assess their rivals through
formant spacing of long-distance calls. pp. 183-190.

Usui R, Sheeran LK, Asbury AM, Pedersen L: Building resilience
in primate tourism: insights from the COVID-19 pandemic and
future directions. pp. 191-201.

Volume 65, Number 4, July 2024

Editorial

Brockelman WY: What are they eating? pp. 203-207.

News and Perspectives

Dotras L, Barciela A, Llana M, Galbany J, Hernandez-Aguilar
RA: Savanna chimpanzee (*Pan troglodytes*) crop feeding
at Dindéfelo, Senegal: challenges and implications for
conservation. pp. 209-215.

Hirata S, Nogami E, Udono T: Measuring heart rate in captive
chimpanzees without anesthesia. pp. 217-222.

Tamura M, Wilfried EEG, Akomo-Okoue EF: Death of a one-
armed blackback male due to severe injuries in a group of wild
western lowland gorillas (*Gorilla gorilla gorilla*) in Moukalaba-
Doudou National Park, Gabon. pp. 223-228.

Dhawale AK, Sinha A: Twinning in wild, endangered lion-tailed
macaques *Macaca silenus* in the Anamalai Hills of the Western
Ghats, India. pp. 229-234.

Rufo HP, Ferreira LG, Ottoni EB, Falótico T: Toxic tasting: how
capuchin monkeys avoid grasshoppers' chemical defenses. pp.
235-241.

Original Article

Shibata S, Furuichi T: Comparative analysis of intragroup
intermale relationships: a study of wild bonobos (*Pan paniscus*)
in Wamba, Democratic Republic of Congo and chimpanzees
(*Pan troglodytes*) in Kalinzu Forest Reserve, Uganda. pp. 243-
255.

Mitani JC, Angedakin S, Kasozi H, Rowney C, Sarringhaus L,
Tibisimwa J, Watts DP, Langergraber KE: Removing snares is
an effective conservation intervention: a case study involving
chimpanzees. pp. 257-263.

Paulet J, Molina A, Beltzung B, Suzumura T, Yamamoto S, Sueur C: Deep learning for automatic facial detection and recognition in Japanese macaques: illuminating social networks. pp. 265-279.

Galotti A, Fausti G, Casetta G, Nolfo AP, Maglieri V, Palagi E: More than a simple fixed action pattern: Yawning in drills. pp. 281-297.

Samartino S, Christie D, Penna A, Sicotte P, Ting N, Wikberg E: Social network dynamics, infant loss, and gut microbiota composition in female *Colobus vellerosus* during time periods with alpha male challenges. pp. 299-309.

Hou M, Akhtar MS, Hayashi M, Ashino R, Matsumoto-Oda A, Hayakawa T, Ishida T, Melin AD, Imai H, Kawamura S: Reduction of bitter taste receptor gene family in folivorous colobine primates relative to omnivorous cercopithecine primates. pp. 311-331.

Natani T, Culot L, da Cunha RGT: Potential effects of brown howler monkey extinction on dispersal services in fragmented forests void of large dispersers. pp. 333-339.

Burch FC, Nichi M, Mendes CM, Assumpção MEOD, Duarte JMB, Valle RR: Cryopreservation of spermatozoa from black-and-gold howler monkeys (*Alouatta caraya*) using egg yolk-based or soy lecithin-based extenders. pp. 341-353.

Book Review

Heymann EW: Owl Monkeys: Biology, Adaptive Radiation, and Behavioral Ecology of the Only Nocturnal Primate in the Americas, edited by Eduardo Fernandez-Duque. pp. 355-357.

Volume 65, Number 5, September 2024

Editorial

Inoue-Murayama M: Approaching the mystery of aging by the epigenetic clock. pp. 359-363.

News and Perspectives

Hart EN, Palme R, Greenblatt N, Takeshita RSC: Hormonal changes in northern white-cheeked gibbons (*Nomascus leucogenys*) after the death of a group member. pp. 365-371.

Ortiz-Zárate RJ, Rangel-Negrín A, Coyohua-Fuentes A, Cristóbal-Azkarate J, Dias PAD: Mantled howler monkeys (*Alouatta palliata*) show no preferential hand use in two self-directed behaviors. pp. 373-378.

Gottstein M, Morelos-Juárez C, Schaffner CM, Aureli F: Same-sex sexual behavior in brown-headed spider monkeys (*Ateles fusciceps fusciceps*) during grappling between two subadult males. pp. 379-382

Lima GCB, Lacerda JC, Taynor R, Araújo M, Bezerra BM, Souza-Alves JP: A new addition to the toolbox: stone tool use in blonde capuchin monkeys (*Sapajus flavius*). pp. 383-389.

Blanco MB, Bernstein R, Durlacher LM, Hathaway L, Matson M, Sigafos J, Wells L, Greene LK: Paternal behavior in captive fat-tailed dwarf lemurs (*Cheirogaleus medius*) is preserved under socially relevant conditions. pp. 391-396.

Original Article

Tamura M, Akomo-Okoue EF, Mangama-Koumba LB, Wilfried EEG, Mindonga-Nguelet FL: Does kinship with the silverback matter? Intragroup social relationships of immature wild western lowland gorillas after social upheaval. pp. 397-410.

Mello I, Alvarenga de Oliveira C, Sobral G: Temporal variation and age influence activity budget more than sex and reproductive status in wild brown howler monkeys (*Alouatta guariba clamitans*) inhabiting a large, continuous forest. pp. 411-419.

Herter JV, de Barros RM, Silva Santana MI, Tavares MCH, de Castro MB, Gomes PD, Hirano LQL: Analysis of palmprints and soleprints of black-tufted marmosets (*Callithrix penicillata*): are there similarities to humans? pp. 421-429.

Correction

Heymann EW: Correction: Owl monkeys: biology, adaptive radiation, and behavioral ecology of the only nocturnal primate in the Americas, edited by Eduardo Fernandez-Duque. p. 431.

Volume 65, Number 6, November 2025

Special Issue: Twenty-five years of primate research in the Ndoki forest

Editorial

Morgan D, Stephan C, Sanz C: Twenty-five years of primate research in the Ndoki forest, Republic of Congo. p. 433-438.

Review Article

Morgan D, Malonga R, Agnagna M, Onononga JR, Yako V, Mokoko Ikonga J, Stokes EJ, Eyana Ayina C, Funkhouser JA, Judson K, Villioth J, Nishihara T, Sanz C: A brief history of primate research in the Ndoki forest. pp. 439-456.

Original Article

Mayoukou W, Morgan D, Strindberg S, McElmurray P, Abedine C, Sanz C: Great ape surveys and the implications of long-term monitoring in the Djéké Triangle, Republic of Congo. pp. 457-468.

Mehon FG, Kiminou DN, Stephan C: Seasonal variation and group size effects in putty-nosed monkeys' (*Cercopithecus nictitans*) heterospecific associations in the Nouabalé-Ndoki National Park. pp. 469-478.

Teberd P, Sanz C, Zambarda A, Kienast I, Ebombi TF, Abea G, Mengoga D, Makisso JN, Kunz J, Judson K, Stephens C, Morgan D: Path To Acceptance and Refined Practices for Habituating Western Lowland Gorillas. pp. 479-498.

Correction

Teberd P, Sanz C, Zambarda A, Kienast I, Ebombi TF, Abea G, Mengoga D, Makisso JN, Kunz J, Judson K, Stephens C, Morgan D: Correction: Path To Acceptance and Refined Practices for Habituating Western Lowland Gorillas. p. 499.

Original Article

Abea G, Ebika STN, Sanz C, Teberd P, Ebombi TF, Brogan S, de Haan M, Stephens C, Morgan D: Long-term observations in the Ndoki forest resolve enduring questions about truffle foraging by western lowland gorillas. pp. 501-514.

Mehon FG, Zuberbühler K, Stephan C: Population differences in putty-nosed monkey (*Cercopithecus nictitans*) call order. pp. 515-524.

Musgrave S, Koni D, Morgan D, Sanz C: Planning abilities of wild chimpanzees (*Pan troglodytes troglodytes*) in tool-using contexts. pp. 525-539.

Funkhouser JA, Musgrave S, Morgan D, Kialiema SN, Ngoteni D, Brogan S, McElmurray P, Sanz C: Chimpanzees employ context-specific behavioral strategies within fission-fusion societies. pp. 541-555.

Cooksey KE, Sanz C, Massamba JM, Ebombi TF, Teberd P, Abea G, Mbebouti G, Kienast I, Brogan S, Stephens C, Morgan D: Predictors of respiratory illness in western lowland gorillas. pp. 557-569.

Morgan D, Strindberg S, McElmurray P, Zambarda A, Singono I, Huskisson S, Musgrave S, Eyana Ayina C, Funkhouser J, Hellmuth H, Joshi P, Cassidy R, Sanz C: Extending the conservation impact of great ape research: Flagship species sites facilitate biodiversity assessments and land preservation. pp. 571-591.

Editorial

Kawamura S: The *Primates* 2024 most-cited paper award. p. 593.

Acknowledgements pp. 595-596.

2025年1月発行のVolume 66より、発行元を日本モンキーセンターから一般社団法人日本霊長類学会へと移管した。

2. 和文誌「モンキー」の発行

モンキー編集委員会 (2025年3月31日現在)

編集長

林美里 (中部学院大学、日本モンキーセンター)

編集委員

赤見理恵 (日本モンキーセンター)

伊谷原一 (京都大学、日本モンキーセンター)

今井由香 (日本モンキーセンター)

江藤彩子 (日本モンキーセンター)

川上文人 (中部大学)

齋藤亜矢 (京都芸術大学)

新宅勇太 (京都大学、日本モンキーセンター)

高野智 (日本モンキーセンター)

田和優子 (多摩動物公園)

早川卓志 (北海道大学)

平田加奈子 (京都大学)

平田聡 (京都大学)

松田一希 (京都大学)

山梨裕美 (京都市動物園)

湯本貴和 (ナチュラリスト)

綿貫宏史朗 (日本モンキーセンター、京都大学)

協賛団体

天野エンザイム株式会社

株式会社畑中建築事務所

株式会社フェイスワン

大学等賛助団体

中部大学

中部学院大学

名古屋 ECO 動物海洋専門学校

支援団体

株式会社三和化学研究所

協力

京都大学野生動物研究センター

京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

京都芸術大学文明哲学研究所

京都市動物園

バックナンバーの公開:

<https://www.j-monkey.jp/lng/jmonkey/index.html>

目次

9 卷 1 号 (2024 年 6 月 1 日発行)

表紙写真 ヴィルンガゴールデングエノン (撮影:湯本貴和)

特集グラビア 犬山の水辺のいきもの 2-3

連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第 30 回

けんかを仲裁するゴリラたち: 山極壽一 4-5

連載「今日も OSARU 日和」第 20 回

特別展~声を聞く、骨を見る: 竹下景子 6-7

連載「生態学者が往く」第 26 回

ルワンダ・ヴィルンガの旅<前編>: 湯本貴和 8-9

連載「タイ王国を巡る」第 9 回

“幻”のサルを求めて Kaeng Krachan 国立公園へ<後編>:

豊田有 10-11

連載「大型類人猿探訪」第 33 回

ヒトとチンパンジーの関係性: 林美里 12-13

連載「ワイワイワイルドライフ」第 9 回

ガボンでみた、野生動物とヒトのさまざまな関係性:

徳山奈帆子 14-15

連載「自然と芸術」第 30 回

河童の思い出: 吉岡洋 16-17

連載「動物園・水族館だより」第 24 回

身近な森の野生動物~動物園がおこなうカメラトラップ

調査~: 金原弘武 18-19

連載「環境教育実践」第 31 回

動物たちの世界にくらす小さな生き物たち: 早川昌志 20-21

犬山市の稀少淡水魚: 大仲知樹 22-23

日本モンキーセンターだより

ジンベエザメの話: 下村実 24-25

世界の霊長類第 13 回

アカオザル: 綿貫宏史朗 26

収蔵資料めぐり第 13 回

Pr. 3702 アカホエザルの舌骨: 高野智 27

雑誌モンキーのご案内・団体協賛制度のご案内

ニュース・編集後記 裏表紙裏

9 卷 2 号 (2024 年 9 月 10 日発行)

表紙写真 フタイロタマリン (撮影:武真祈子)

特集グラビア 南アメリカの霊長類 30-31

連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第 31 回

遊びのルールは自然に立ち上がる: 山極壽一 32-33

連載「今日も OSARU 日和」最終回

待ってました赤ちゃんズ ~JMC はベビーブーム!:

竹下景子 34-35

連載「生態学者が往く」第 27 回

ルワンダ・ヴィルンガの旅<後編>: 湯本貴和 36-37

連載「タイ王国を巡る」第 10 回

石を使って牡蠣を割るカニクイザル<前編>: 豊田有 38-39

連載「大型類人猿探訪」第 34 回

他種とのかかわり: 林美里 40-41

連載「ワイワイワイルドライフ」第 10 回

混みあってくらす屋久島のサルたち: 杉浦秀樹 42-43

連載「自然と芸術」第 31 回

ましらのごとく: 吉岡洋 44-45

連載「動物園・水族館だより」第 25 回 フサオマキザルの第 1 位オス交代を経験して： 櫻井ひかり	46-47	9 巻 4 号（2025 年 3 月 1 日発行） 表紙 ワオキツネザル（撮影：高野智） 特集グラビア 写真でふり返る Wao ランドの 20 年	86-87
連載「環境教育実践」第 32 回 「サキはいいよなー」の波紋を広げる： 武真祈子	48-49	連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第 33 回 ナイロビの学振センターで過ごした日々： 山極壽一	88-89
Tiputini Biodiversity Station の多様なサルたち： 下岡ゆき子	50-51	連載「生態学者が往く」第 29 回 エジプト・ルクソールの旅： 湯本貴和	90-91
日本モンキーセンターだより 見守る子育て： 高田晃行	52-53	連載「タイ王国を巡る」第 12 回 タイ南部の毛色が黒いベニガオザル： 豊田有	92-93
世界の霊長類第 14 回 キタビグミーマーモセット： 赤見理恵	54	連載「大型類人猿探訪」第 36 回 霊長類の「おもしろさ」： 林美里	94-95
収蔵資料めぐり第 14 回 eb-3262 オートバイに乗る孫悟空： 新宅勇太	55	連載「ワイワイワイルドライフ」第 12 回 DNA も頼れない？毛皮鑑定の意外なアプローチ： 松田一希	96-97
雑誌モンキーのご案内・団体協賛制度のご案内 ニュース・編集後記	裏表紙裏	連載「自然と芸術」第 33 回 人はなぜ動物にひかれるのか： 齋藤亜矢	98-99
9 巻 3 号（2024 年 12 月 1 日発行） 表紙 ヒガシゴリラ（撮影：ラケル コスタ） 特集グラビア 動物園の生態展示	58-59	連載「動物園・水族館だより」第 27 回 MIKKE ルーム：楽しい、でもただ楽しいで終わらない 場所へ： 山梨祐美	100-101
連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第 32 回 遊びは性を学ぶ場所： 山極壽一	60-61	連載「環境教育実践」第 34 回 「なんでサルなの？」から始まる学び： 上野有理	102-103
連載「生態学者が往く」第 28 回 京都・冠島の旅： 湯本貴和	62-63	したたかに生きるキツネザル類に魅了されて： 豊田直人	104-105
連載「タイ王国を巡る」第 11 回 石を使って牡蠣を割るカニクイザル〈後編〉： 豊田有	64-65	アッサムモンキーの調査地を探して：タイの寺院と禁猟区編： 小川秀司	106-107
連載「大型類人猿探訪」第 35 回 「動物」と「人間」？： 林美里	66-67	日本モンキーセンターだより みんなに愛される Wao ランド： 田中ちぐさ	108-109
連載「ワイワイワイルドライフ」第 11 回 大海原で海棲哺乳類を見つける方法： 三谷曜子	68-69	世界の霊長類第 16 回 カオムラサキラングール： 赤見理恵	110
連載「自然と芸術」第 32 回 鶏たちのための五芒星： 三輪真弘	70-71	収蔵資料めぐり第 16 回 Primates1 巻 1 号： 新宅勇太	111
連載「動物園・水族館だより」第 26 回 おとなの階段ののぼり方～ニイニとゲンタロウの場合～： 山梨裕美・安井早紀	72-73	雑誌モンキーのご案内・団体協賛制度のご案内 ニュース・お知らせ・編集後記	裏表紙裏
連載「環境教育実践」第 33 回 人間とヒト以外の動物のあいだのギャップを埋める： ラケル コスタ	74-75		
動物園について考える諸々のこと： 村田浩一	76-77		
魚を食べる上高地のニホンザルたち： 土橋彩加	78-79		
日本モンキーセンターだより 初めて観察した野生のニホンザル： 奥川みらい	80-81		
世界の霊長類第 15 回 フクロウグエノン： 綿貫宏史朗	82		
収蔵資料めぐり第 15 回 P-S-0202 (Pr.2531) ニシゴリラ剥製標本(愛称:木曾太郎)： 高野智	83		
雑誌モンキーのご案内・団体協賛制度のご案内 ニュース・編集後記	裏表紙裏		

(5) 標本等の資試料の収集・管理及び展示

1. 骨格・液浸・剥製・毛皮標本

(1) 標本点数

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
Cheirogaleidae	コビトキツネザル科	4	7	7	1	4	0
<i>Microcebus murinus</i>	ハイロネズミキツネザル	4	7	7	1	4	0
Lemuridae	キツネザル科	74	76	60	73	9	9
<i>Eulemur fulvus</i>	ブラウンキツネザル	1	1	1	2	0	1
<i>Eulemur macaco</i>	クロキツネザル	7	9	7	8	0	1
<i>Eulemur mongoz</i>	マンゲースキツネザル	6	7	4	0	3	2
<i>Lemur catta</i>	ワオキツネザル	42	39	31	35	4	4
<i>Varecia variegata</i>	クロシロエリマキキツネザル	17	20	17	28	2	1
Lemuridae sp.		1	0	0	0	0	0
Galagidae	ガラゴ科	33	41	25	23	7	6
<i>Galago senegalensis</i>	ショウガラゴ	26	29	21	17	4	5
<i>Galagoides demidoff</i>	コビトガラゴ	0	2	0	0	0	0
<i>Otolemur crassicaudatus</i>	オオガラゴ	6	9	4	6	3	1
Galagidae sp.		1	1	0	0	0	0
Lorisidae	ロリス科	76	92	69	35	9	14
<i>Loris tardigradus</i>	スレンダーロリス	7	9	6	1	3	0
<i>Nycticebus bengalensis</i>	ベンガルスローロリス	1	3	3	0	0	0
<i>Nycticebus coucang</i>	スンダスローロリス	41	32	13	4	3	3
<i>Nycticebus pygmaeus</i>	レッサースローロリス	20	38	38	28	0	9
<i>Perodicticus potto</i>	ポト	6	10	9	2	3	2
Lorisidae sp.		1	0	0	0	0	0
Tarsiidae	メガネザル科	2	5	5	2	3	4
<i>Carlito syrichta</i>	フィリピンメガネザル	2	5	5	2	3	4
Callitrichidae	マーモセット科	664	651	559	373	46	52
<i>Callimico goeldii</i>	ゲルディモンキー	15	18	13	13	2	3
<i>Callithrix geoffroyi</i>	シロガオマーモセット	30	39	35	11	3	4
<i>Callithrix jacchus</i>	コモンマーモセット	140	117	92	66	2	9
<i>Callithrix penicillata</i>	クロミミマーモセット	43	53	52	40	2	8
<i>Callithrix</i> sp.		5	0	0	0	0	0
<i>Mico argentata</i>	シルバーマーモセット	25	27	19	4	3	2
<i>Mico humeralifera</i>	サンタレムマーモセット	9	14	14	17	0	1
<i>Cebuella pygmaea</i>	ピグミーマーモセット	85	93	86	78	7	11
<i>Leontopithecus rosalia</i>	ゴールデンライオンタマリン	17	16	9	6	7	3
<i>Saguinus bicolor</i>	フタイロタマリン	2	2	2	0	1	0
<i>Saguinus geoffroyi</i>	ジェフロイタマリン	11	11	10	0	1	0
<i>Saguinus imperator</i>	エンペラータマリン	5	6	5	6	2	0
<i>Saguinus labiatus</i>	ムネアカタマリン	35	36	31	18	3	1
<i>Saguinus leucopus</i>	シロテタマリン	8	9	6	0	3	0
<i>Saguinus midas</i>	アカテタマリン	14	16	16	6	2	2
<i>Saguinus mystax</i>	クチヒゲタマリン	30	33	31	23	2	2
<i>Saguinus oedipus</i>	ワタボウシタマリン	102	94	81	51	2	4
<i>Saguinus</i> sp.		8	0	0	0	0	0
<i>Leontocebus fuscicollis</i>	セマダラタマリン	7	5	1	3	1	0
<i>Leontocebus nigricollis</i>	クロクビタマリン	62	53	47	22	1	0
<i>Leontocebus weddelli</i>	ウェッデルタマリン	11	9	9	9	2	2
Aotidae	ヨザル科	75	75	44	43	5	11
<i>Aotus</i> sp.	ヨザル	75	75	44	43	5	11

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
Cebidae	オマキザル科	146	131	109	85	7	9
<i>Sapajus apella</i>	フサオマキザル	20	19	12	23	2	0
<i>Cebus albifrons</i>	シロガオオマキザル	9	9	10	8	1	1
<i>Cebus capucinus</i>	ノドジロオマキザル	10	12	16	9	1	1
<i>Cubus olivaceus</i>	ナキガオオマキザル	1	2	1	5	0	0
<i>Cebus</i> sp.		4	0	0	0	0	0
<i>Saimiri boliviensis</i>	ボリビアリスザル	8	12	11	14	0	5
<i>Saimiri sciureus</i>	コモンリスザル	89	77	59	26	3	2
Cebidae sp.		5	0	0	0	0	0
Atelidae	クモザル科	92	97	64	49	18	12
<i>Alouatta caraya</i>	クロホエザル	11	12	12	1	4	0
<i>Alouatta guariba</i>	カッシュクホエザル	1	1	1	0	2	0
<i>Alouatta seniculus</i>	アカホエザル	5	2	2	1	0	0
<i>Alouatta</i> sp.		6	1	1	0	0	0
<i>Ateles belzebuth</i>	ケナガクモザル	3	10	5	2	2	0
<i>Ateles fusciceps</i>	コロンビアクロクモザル	0	1	0	0	0	0
<i>Ateles geoffroyi</i>	ジェフロイクモザル	22	34	23	32	4	4
<i>Ateles paniscus</i>	クロクモザル	12	17	8	0	3	1
<i>Ateles</i> sp.		14	0	0	0	0	0
<i>Lagothrix lagothricha</i>	ウーリーモンキー	13	17	10	12	3	6
<i>Lagothrix lagothricha cana</i>	ハイロウーリーモンキー	4	2	2	1	0	1
<i>Lagothrix</i> sp.		1	0	0	0	0	0
Pitheciidae	サキ科	37	36	33	16	15	1
<i>Callicebus cupreus</i>	ドウイロティティ	2	1	2	0	2	0
<i>Callicebus donacophilus</i>	ボリビアハイイロティティ	5	5	4	0	2	1
<i>Callicebus moloch</i>	ダスキーティティ	13	13	14	8	2	0
<i>Callicebus torquatus</i>	エリマキティティ	1	1	0	0	0	0
<i>Callicebus</i> sp.		2	1	1	0	1	0
<i>Cacajao calvus rubicundus</i>	アカウアカリ	3	2	1	0	2	0
<i>Chiropotes satanas</i>	クロヒゲサキ	2	0	0	0	0	0
<i>Chiropotes chiropotes</i>	ヒゲサキ	0	1	0	0	0	0
<i>Pithecia monachus</i>	モンクサキ	5	6	5	0	4	0
<i>Pithecia pithecia</i>	シロガオサキ	4	6	6	8	2	0
Cercopithecidae	オナガザル科	2966	2070	1569	799	92	152
<i>Macaca arctoides</i>	ベニガオザル	11	13	8	5	0	0
<i>Macaca assamensis</i>	アッサムモンキー	5	6	4	1	0	0
<i>Macaca cyclopis</i>	タイワンザル	68	66	54	26	2	3
<i>Macaca fascicularis</i>	カニクイザル	676	308	198	123	1	71
<i>Macaca fuscata fuscata</i>	ニホンザル	710	528	402	187	11	18
<i>Macaca fuscata yakui</i>	ヤクシマザル	449	345	249	126	3	2
<i>Macaca fuscata</i>	(ニホンザル)	10	1	1	0	0	0
<i>Macaca maura</i>	ムーアモンキー	9	11	5	1	1	0
<i>Macaca mulatta</i>	アカゲザル	146	118	109	17	0	0
<i>Macaca nemestrina</i>	ミナミブタオザル	38	38	34	24	1	0
<i>Macaca nigra</i>	クロザル	9	7	7	0	0	0
<i>Macaca ochreata brunnescens</i>	ブーツマカク	2	0	0	0	0	0
<i>Macaca radiata</i>	ボンネットモンキー	67	60	42	38	2	3
<i>Macaca silenus</i>	シシオザル	12	14	14	8	2	0
<i>Macaca sinica</i>	トクモンキー	17	20	18	13	0	4
<i>Macaca sylvanus</i>	バーバリーマカク	17	19	16	10	2	2
<i>Macaca thibetana</i>	チベットモンキー	6	5	5	1	0	0
<i>Macaca tonkeana</i>	トンケアンモンキー	2	0	0	0	0	0
<i>Macaca hybrid</i>		2	1	0	0	3	0
<i>Macaca</i> sp.		94	0	0	0	0	0

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
<i>Cercocebus atys</i>	スーティーマンガベイ	5	5	3	2	1	1
<i>Cercocebus lunulatus</i>	シロカンムリマンガベイ	7	9	8	5	2	1
<i>Cercocebus agilis</i>	アジルマンガベイ	2	1	2	0	0	0
<i>Cercocebus chrysogaster</i>	ゴールドマンガベイ	2	4	4	1	0	0
<i>Cercocebus torquatus torquatus</i>	シロエリマンガベイ	4	5	2	1	1	0
<i>Cercocebus hybrid</i>		2	1	2	0	0	0
<i>Cercocebus sp.</i>		3	0	0	0	0	0
<i>Lophocebus albigena</i>	ホオジロマンガベイ	2	2	1	0	2	0
<i>Mandrillus leucophaeus</i>	ドリル	13	12	3	5	3	1
<i>Mandrillus sphinx</i>	マンドリル	18	16	13	16	1	0
<i>Papio anubis</i>	アヌビスヒヒ	63	49	40	62	1	1
<i>Papio cynocephalus</i>	キイロヒヒ	17	15	6	0	0	0
<i>Papio hamadryas</i>	マントヒヒ	6	5	6	16	0	1
<i>Papio papio</i>	ギニアヒヒ	6	7	7	0	0	0
<i>Papio sp.</i>		15	0	0	0	0	1
<i>Theropithecus gelada</i>	ゲラダヒヒ	5	5	2	2	1	0
<i>Allenopithecus nigroviridis</i>	アレンモンキー	1	1	1	1	1	0
<i>Cercopithecus albogularis</i>	サイクスモンキー	8	10	9	1	2	1
<i>Cercopithecus ascanius</i>	アカオザル	10	9	7	0	0	1
<i>Cercopithecus ascanius schmidti</i>	シュミットグエノン	5	4	4	0	1	0
<i>Cercopithecus cephus</i>	クチヒゲグエノン	5	6	4	0	1	0
<i>Cercopithecus diana</i>	ダイアナモンキー	2	3	2	0	1	0
<i>Cercopithecus doggetti</i>	シルバークグエノン	2	1	0	0	1	0
<i>Cercopithecus hamlyni</i>	フクロウグエノン	1	3	2	0	2	1
<i>Cercopithecus lhoesti</i>	ロエストグエノン	4	5	5	1	1	0
<i>Cercopithecus mitis</i>	ブルーモンキー	2	2	1	0	0	1
<i>Cercopithecus mona</i>	モナモンキー	12	13	9	10	1	1
<i>Cercopithecus neglectus</i>	ブラッサグエノン	15	15	12	3	1	2
<i>Cercopithecus petaurista buettikoferi</i>	バツティコファークグエノン	10	11	7	3	1	2
<i>Cercopithecus sp.</i>		3	1	1	0	0	1
<i>Chlorocebus aethiops</i>	サバンナモンキー	16	13	10	5	4	1
<i>Chlorocebus cynosuros</i>	マルブラウクモンキー	2	3	3	0	0	0
<i>Chlorocebus pygerythrus</i>	ベルベットモンキー	2	0	0	0	0	0
<i>Miopithecus talapoin</i>	タラポアン	14	14	12	2	4	1
<i>Miopithecus ogouensis</i>	キタタラポアン	0	1	1	0	0	0
<i>Erythrocebus patas</i>	パタスモンキー	126	82	68	21	2	5
<i>Cercopithecinae sp.</i>		21	0	0	0	0	0
<i>Colobus angolensis</i>	アンゴラコロブス	15	23	22	5	3	0
<i>Colobus guereza</i>	アビシニアコロブス	17	25	24	4	2	6
<i>Colobus polykomos</i>	キングコロブス	6	1	0	0	0	1
<i>Ptilocolobus badius</i>	ニシアカコロブス	3	3	0	0	3	1
<i>Presbytis melalophos</i>	クロカンムリリーフモンキー	0	1	1	0	0	0
<i>Semnopithecus entellus</i>	ハヌマンラングール	51	54	39	17	4	11
<i>Trachypithecus cristatus</i>	シルバールトン	25	30	30	27	2	1
<i>Trachypithecus francoisi</i>	フランソワルトン	13	11	11	5	3	2
<i>Trachypithecus obscurus</i>	ダスキールトン	11	10	7	0	1	1
<i>Trachypithecus pileatus</i>	ボウシラングール	6	7	4	2	3	0
<i>Trachypithecus vetulus</i>	カオムラサキラングール	3	3	2	0	1	1
<i>Trachypithecus vetulus vetulus</i>	ニシカオムラサキラングール	1	1	0	0	1	1
<i>Presbytis sp.</i>		4	0	0	0	0	0
<i>Nasalis larvatus</i>	テングザル	6	7	6	2	5	1
<i>Pygathrix nemaeus</i>	アカアシドゥクラングール	1	0	0	0	1	0
<i>Colobinae sp.</i>		1	1	0	0	0	0
<i>Cercopithecidae sp.</i>		22	0	0	0	0	0

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
Hylobatidae	テナガザル科	86	52	39	9	12	17
<i>Hylobates agilis</i>	アジルテナガザル	11	9	6	2	2	0
<i>Hylobates klossii</i>	クロステナガザル	2	2	0	0	0	0
<i>Hylobates lar</i>	シロテナガザル	43	19	15	1	4	2
<i>Hylobates moloch</i>	ワウワウテナガザル	3	4	3	2	1	0
<i>Hylobates pileatus</i>	ボウシテナガザル	5	1	0	0	1	2
<i>Hylobates (moloch + lar)</i>		1	1	1	0	0	0
<i>Hylobates sp.</i>		8	0	0	0	0	13
<i>Hoolock hoolock</i>	フーロックテナガザル	2	2	2	0	0	0
<i>Nomascus concolor</i>	カンムリテナガザル	3	2	4	0	1	0
<i>Symphalangus syndactylus</i>	フクロテナガザル	8	12	8	4	3	0
Hominidae	ヒト科	28	30	19	10	16	1
<i>Pongo pygmaeus</i>	ボルネオオランウータン	8	6	3	1	3	1
<i>Pan troglodytes</i>	チンパンジー	12	19	11	9	5	0
<i>Gorilla gorilla gorilla</i>	ニシローランドゴリラ	6	3	3	0	6	0
<i>Gorilla beringei graueri</i>	ヒガシローランドゴリラ	2	2	2	0	2	0
Primates 科不明	霊長目 科不明	1	0	0	0	0	0
misc. Primates		1	0	0	0	0	0
Scandentia	登木目	24	21	10	2	5	5
<i>Dendrogale melanura</i>	ミナミホソオツパイ	1	0	0	0	0	0
<i>Tupaia belangeri</i>	キタツパイ	10	13	8	2	1	5
<i>Tupaia gracilis</i>	ホソツパイ	1	0	0	0	0	0
<i>Tupaia minor</i>	ショウツパイ	1	0	0	0	0	0
Tupaiaidae sp.		10	8	2	0	4	0
<i>Ptilocercus lowii</i>	ハネオツパイ	1	0	0	0	0	0
Other mammals	その他の哺乳類	234	27	0	48	2	9
Artiodactyla	偶蹄目	81	0	0	2	1	1
Carnivora	食肉目	71	0	0	0	1	3
Chiroptera	翼手目	1	0	0	0	0	0
Diprodontia	双前歯目	18	0	0	0	0	0
Dermoptera	皮翼目	1	0	0	0	0	0
Lagomorpha	兎形目	10	12	0	0	0	0
Perissodactyla	奇蹄目	4	0	0	0	0	0
Pilosa	有毛目	1	0	0	0	0	0
Rodentia	齧歯目	37	15	0	42	0	2
Eulipotyphla	真無盲腸目	10	0	0	4	0	3
Others	その他	29	2	0	16	7	4
Aves	鳥類	21	0	0	0	6	4
Reptilia	爬虫類	8	1	0	10	1	0
Amphibian	両生類	0	0	0	2	0	0
Actinopterygii	硬骨魚類	0	1	0	4	0	0
霊長類 計		4284	3363	2602	1518	243	288
霊長類以外 計		287	50	10	66	14	18
総計		4571	3413	2612	1584	257	306
2024年度 収集数		34	32	27	2	0	5

2. 寄生虫標本

宿主		寄生虫			
学名	和名	線虫	条虫	吸虫	その他
Cheirogaleidae	コビトキツネザル科	0	1	0	0
<i>Microcebus murinus</i>	ハイイロネズミキツネザル	0	1	0	0
Galagidae	ガラゴ科	5	3	0	1
<i>Galago senegalensis</i>	ショウガラゴ	2	1	0	0
<i>Otolemur crassicaudatus</i>	オオガラゴ	3	2	0	1
Lorisiidae	ロリス科	9	5	1	1
<i>Loris tardigradus</i>	スレンダーロリス	3	0	0	0
<i>Nycticebus coucang</i>	スンダスローロリス	6	4	1	1
<i>Nycticebus pygmaeus</i>	レッサースローロリス	0	1	0	0
Tarsiidae	メガネザル科	0	1	0	0
<i>Tarsius syrichta</i>	フィリピンメガネザル	0	1	0	0
Callitrichidae	マーモセット科	93	2	1	6
<i>Callimico goeldii</i>	ゲルディモンキー	0	1	0	0
<i>Mico argentata</i>	シルバーマーモセット	4	0	0	1
<i>Callithrix geoffroyi</i>	シロガオマーモセット	3	0	0	0
<i>Callithrix jacchus</i>	コモンマーモセット	45	0	0	1
<i>Cebuella pygmaea</i>	ピグミーマーモセット	2	0	0	0
<i>Leontopithecus rosalia</i>	ゴールドンライオンタマリン	0	0	0	2
<i>Saguinus fuscicollis</i>	サドルバックタマリン	1	0	0	0
<i>Saguinus labiatus</i>	ムネアカタマリン	2	0	0	0
<i>Saguinus leucopus</i>	シロテタマリン	1	0	0	0
<i>Saguinus midas</i>	アカテタマリン	2	0	0	1
<i>Saguinus mystax</i>	クチヒゲタマリン	9	0	0	0
<i>Saguinus nigricollis</i>	クロクビタマリン	20	1	1	0
<i>Saguinus oedipus</i>	ワタボウシタマリン	4	0	0	1
Cebidae	オマキザル科	15	3	0	0
<i>Cebus capucinus</i>	ノドジロオマキザル	0	1	0	0
<i>Saimiri sciureus</i>	コモンリスザル	15	2	0	0
Aotidae	ヨザル科	1	0	0	0
<i>Aotus</i> sp.	ヨザル	1	0	0	0
Atelidae	クモザル科	11	3	0	1
<i>Alouatta caraya</i>	クロホエザル	0	2	0	0
<i>Alouatta</i> sp.		0	1	0	0
<i>Ateles geoffroyi</i>	ジェフロイクモザル	1	0	0	0
<i>Ateles panisucus</i>	クロクモザル	8	0	0	1
<i>Lagothrix lagotricha</i>	フンボルトウーリーモンキー	2	0	0	0
Pitheciidae	サキ科	2	2	0	0
<i>Callicebus cupreus</i>	ドウイロティティ	1	0	0	0
<i>Callicebus moloch</i>	ダスキーティティ	0	2	0	0
<i>Pithecia monachus</i>	モンクサキ	1	0	0	0
Cercopitheciidae	オナガザル科	243	14	11	8
<i>Macaca cyclopis</i>	タイワンザル	5	1	0	0
<i>Macaca fascicularis</i>	カニクイザル	51	1	8	3
<i>Macaca fuscata fuscata</i>	ニホンザル	76	7	0	0
<i>Macaca fuscata yakui</i>	ヤクシマザル	33	2	0	0
<i>Macaca maura</i>	ムーアモンキー	2	0	0	0
<i>Macaca mulatta</i>	アカゲザル	26	1	0	2
<i>Macaca nemestrina</i>	ブタオザル	1	0	0	1
<i>Macaca radiata</i>	ボンネットモンキー	2	0	0	0
<i>Macaca sylvanus</i>	バーバリーマカク	1	0	0	0
<i>Macaca thibetana</i>	チベットモンキー	1	0	0	0
<i>Macaca hybrid</i>		1	0	0	0
<i>Mandrillus sphinx</i>	マンドリル	1	0	0	0
<i>Papio anubis</i>	アヌビスヒビ	1	0	0	0

宿主		寄生虫			
学名	和名	線虫	条虫	吸虫	その他
<i>Papio cynocephalus</i>	キイロヒビ	6	1	0	0
<i>Papio hamadryas</i>	マントヒビ	1	0	0	0
<i>Papio papio</i>	ギニアヒビ	1	0	0	0
<i>Cercopithecus albogularis</i>	サイクスモンキー	1	0	0	0
<i>Cercopithecus ascanius</i>	アカオザル	0	1	0	0
<i>Cercopithecus mitis</i>	ブルーモンキー	1	0	0	0
<i>Cercopithecus mona</i>	モナモンキー	1	0	0	0
<i>Chlorocebus aethiops</i>	サバンナモンキー	1	0	0	0
<i>Miopithecus talapoin</i>	タラポアン	2	0	0	0
<i>Erythrocebus patas</i>	パタスザル	24	0	1	0
<i>Colobus guereza</i>	アビシニアコロブス	0	0	1	0
<i>Ptilocolobus badius</i>	ニシアカコロブス	1	0	0	0
<i>Semnopithecus entellus</i>	ハヌマンラングール	2	0	0	2
<i>Trachypithecus francoisi</i>	フランソワルトン	0	0	1	0
<i>Trachypithecus obscurus</i>	ダスキールトン	1	0	0	0
Hylobatidae	テナガザル科	8	2	0	0
<i>Hylobates agilis</i>	アジルテナガザル	1	0	0	0
<i>Hylobates lar</i>	シロテナガザル	3	2	0	0
<i>Hoolock hoolock</i>	フーロックテナガザル	1	0	0	0
<i>Symphalangus syndactylus</i>	フクロテナガザル	3	0	0	0
Hominidae	ヒト科	15	0	0	0
<i>Pan troglodytes</i>	チンパンジー	15	0	0	0
Scandentia	登木目	4	0	0	0
Tupaiaidae sp.		4	0	0	0
Others	その他	1	0	0	1
Aves	鳥類	1	0	0	1
霊長類 計		402	36	13	17
総計		407	36	13	18
2024年度 収集数		0	0	0	0

3. 複製資料

標本番号	学名	性別・部位等
KNM-CA 380	<i>Micropithecus clarki</i>	下顎骨
KNM-SO 700	<i>Rangwapithecus gordonii</i>	上顎骨
KNM-RU 1850	<i>Dendropithecus macinnesi</i>	上下顎骨
KNM-RU 2087	<i>Proconsul nyanzae</i>	下顎骨
KNM-RU 7290	<i>Proconsul heseloni</i>	頭骨
KNM-SO 396	<i>Proconsul major</i>	下顎骨
KNM-FT 46	<i>Kenyanthropus wickeri</i>	上顎骨片と犬歯
KNM-KP 29281, 29283, 28285B, 28285A	<i>Australopithecus anamensis</i>	上下顎, 脛骨
KNM-WT 40000	<i>Kenyanthropus platyops</i>	頭骨
KNM-WT 17000	<i>Paranthropus aethiopicus</i>	頭骨
KNM-ER 406	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
KNM-ER 729	<i>Paranthropus boisei</i>	下顎骨
KNM-CA 732	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
KNM-ER 999	<i>Homo habilis</i>	大腿骨
KNM-ER 1470	<i>Homo rudolfensis</i>	頭骨
KNM-ER 1472	<i>Homo habilis</i>	右大腿骨
KNM-CA 1802	<i>Homo habilis</i>	下顎骨
KNM-ER 1813	<i>Homo habilis</i>	頭骨
KNM-ER 3733	<i>Homo ergaster</i>	頭骨
KNM-WT 15000	<i>Homo ergaster</i>	全身骨格
KNM-WT 16999	<i>Afropithecus turkanensis</i>	頭骨
OH-2	<i>Australopithecus afarensis</i>	下顎骨
OH-5	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
OH-7	<i>Homo habilis</i>	下顎骨
OH-8	<i>Homo habilis</i>	足骨
OH-13	<i>Homo habilis</i>	上下顎骨
OH-24	<i>Homo habilis</i>	頭骨
WN-64 (Peninj-160)	<i>Paranthropus boisei</i>	下顎骨
SK 48	<i>Paranthropus robustus</i>	頭骨
STS 5	<i>Australopithecus africanus</i>	頭骨
Taung Child	<i>Australopithecus africanus</i>	頭骨
Peking Man	<i>Homo erectus</i>	頭骨
Sangiran 17	<i>Homo erectus</i>	頭骨
Kabwe Skull	<i>Homo heidelbergensis</i>	頭骨
La Ferrassie 1	<i>Homo neanderthalensis</i>	頭骨
LB-1	<i>Homo floresiensis</i>	頭骨
CGM 40237	<i>Aegyptopithecus zeuxis</i>	頭骨
PIN 3381-236	<i>Parapresbytis eohanuman</i>	下顎骨
GSP 15000	<i>Sivapithecus indicus</i>	頭骨
<i>A. afarensis</i> 復元頭蓋	<i>Australopithecus afarensis</i>	頭骨
Zos 50	<i>Gorilla gorilla</i>	オスの頭骨
Zos 53	<i>Pan troglodytes</i>	オスの頭骨
SH-10	<i>Homo sapiens</i>	男性の頭骨
JMC-Re-1	<i>Homo sapiens</i>	男性の全身骨格
JMC-Re-2	<i>Pan troglodytes</i>	オスの全身骨格
JMC-Re-3	<i>Homo sapiens</i>	アジア人男性の頭骨
JMC-Re-4	<i>Pan troglodytes</i>	オスの頭骨
JMC-Re-5	<i>Gorilla gorilla</i>	オスの頭骨
JMC-Re-6	<i>Homo sapiens</i>	女性の頭骨、骨盤、右上腕骨、右大腿骨
JMC-Re-7	<i>Homo sapiens</i>	子供（5歳）の頭骨、骨盤、右上腕骨、右大腿骨
JMC-Re-8	<i>Panthera leo</i>	頭骨
JMC-Re-9	<i>Daubentonia madagascariensis</i>	頭骨
JMC-Re-10	<i>Daubentonia madagascariensis</i>	右前肢

標本番号	学名	性別・部位等
JMC-Re-11	<i>Tarsius sp.</i>	頭骨
JMC-Re-12	<i>Cynocephalus volans</i>	頭骨
JMC-Re-13	<i>Castor canadensis</i>	頭骨
JMC-Re-14	<i>Phascolarctos cinereus</i>	頭骨
JMC-Re-15	<i>Homo sapiens</i>	胎児頭骨
JMC-Re-16	<i>Pan troglodytes</i>	胎児頭骨
JMC-Re-17	<i>Pan troglodytes</i>	骨盤

2024 年度収集数 0 点

4. 分野別民俗資料点数 (猿二郎コレクション)

分類番号	種別	点数	分類番号	種別	点数
00			583.97	縄製品	1
050	逐次刊行物	16	586.27	綿製品 (たおる、てぬぐい)	14
070	和書	29	586.37	麻製品	4
090	古書	17	586.78	織機	1
200			588.38	飴菓子	5
288.9	旗	1	588.39	雑菓子	5
300			588.55	果実酒 (容器)	17
336.94	暖簾、看板	20	589.211	和服	7
337.31	金貨	3	589.215	子供服、Tシャツ	2
337.32	銀貨	4	589.224	ネクタイ	5
337.33	補助貨幣 (銅貨など)	1	589.225	ハンカチ	7
337.4	紙幣	2	589.23	靴下、足袋	4
348.6	タバコ関係	31	589.24	マフラー、ネックチーフ	2
375.9	教科書	8	589.253	靴、スリッパ	1
380	風俗、習慣、民俗	37	589.27	ハンドバック、袋物 (財布)	21
383.3	アクセサリー、マスコット、根付	146	589.28	ボタン、タイピン、カフス	9
383.55	髪飾、小間物 (くし、こうがい、かんざし)	3	589.3	傘、扇、団扇	19
383.9	居住、民具	5	589.4	洋傘	1
386	祭礼	2	589.49	杖、ステッキ	1
387	信仰、民間信仰と迷信	45	589.5	ブラシ	1
387.1	絵馬	200	589.7	文房具、運動具、貯金箱	102
400			594.1	モール	4
458	岩石	11	596.5	厨房具、食器	59
470	植物	13	597	住居、家具、調度	38
474.8	菌類	7	597.2	カーテン、簾、タペストリー	16
489.9	霊長類	1	597.7	床飾、インテリア	2
499.88	薬用動物	1	599.8	絵本	3
500			600		
524	天井	1	629.61	灯籠	9
524.86	出入口 (窓、戸)	3	674.7	宣伝広告用印刷物、新聞、PR 誌、 シール、チラシ、案内状、シオリ	219
535.2	時計	2	674.71	千社札	44
545.28	電灯支持具、照明	4	674.72	ポスター	164
545.5	灯具 (行燈、提灯、ランプ)	4	674.73	カレンダー	24
573.38	タイル	6	675.18	包装、ラベル、容器	39
576.4	蝋燭	1	675.181	マッチラベル	274
581	金属製品	7	688.5	観光みやげ物	219
581.1	鋳物製品	32	693.8	切手、葉書、スタンプ	275
581.7	刃物類 (スプーン、 フォーク、ナイフ、鉄)	6	699.67	ラジオ、テレビ、演劇、娯楽	1
583	木製品	13	700		
583.92	竹製品	3	711.9	仮面 (郷土玩具を除く)	15
583.94	蔓製品 (藤、籐、あけび)	3	713	木彫	285
583.96	藁製品	2	714	石彫	85
			717	粘土彫刻、テラコッタ、蝋、石鹼	7

分類番号	種別	点数
718.4	石仏、仏像	5
720	絵画	37
721.2	大和絵、絵巻物	36
721.3	水墨画	10
721.6	写生画	15
721.7	文人画、南画、俳画、色紙	81
721.8	浮世絵、錦絵、大津絵	49
724.8	ガラス絵	1
726.58	絵葉書	125
726.7	児童画	1
726.8	影絵（シュリエット）	1
728.8	書跡	9
729.3	墨	4
729.5	硯	8
729.6	文鎮	9
729.7	水差し	5
733	木版画、版木	22
739.1	印章材料	10
745	陽画（写真）	47
751.3	陶磁器（皿、絵皿）	455
751.31	灰皿	20
751.32	徳利、杯	17
751.33	急須、湯呑	17
751.4	埴輪、古瓦	16
751.5	ガラス工芸	20
751.9	プラスチック	45
752	漆工芸	3
753.7	刺繍	11
753.8	染物	2
754	木工芸	95
754.7	竹工芸	36
754.9	紙工芸（折り紙、せん紙、 ペーパークラフト）	38
755.4	牙角細工	21

分類番号	種別	点数
755.5	革細工	3
755.6	貝細工	6
756.14	鍍金	78
756.6	刀剣、鐔	14
756.7	甲冑	1
759	人形、玩具	340
759.9	郷土玩具、郷土人形	19
759.91	土人形、土笛、土面	541
759.92	首人形	13
759.93	土鈴、陶鈴、鈴	164
759.94	張り子	99
759.95	凧	5
759.96	張り子面、土面子	159
759.97	紙塑	5
759.98	練り物	6
759.99	木、竹、その他	159
774	歌舞伎	2
777.1	人形浄瑠璃	6
777.8	影絵芝居、ギニョール、 マリオネット	30
791.5	茶器、菓子器	23
792.6	香合、香炉	16
793.5	花器	7
900		
909.3	童話	10
000	未分類	1
合計		5,679点

2024年度新規登録数 0点

5. 音響・映像資料

2025年3月31日現在、42点の映像資料、および以下の映像機器が登録されている。

ビデオデッキ		液晶プロジェクター	
SONY VHS SLV-F6	1	東芝 TLP781J	1
カラービデオカメラ		EPSON EMP1710	1
SONY CCD-G5	1	EPSON EH-TW5200	1 (PWS)
デジタルビデオカメラ		CD/DVD プレーヤー / レコーダー	
Panasonic NV-GS50	1	SONY DVP-NS53P	1
SONY DCR-PC5	1	Panasonic DVD-S39	1
SONY DCR-HC62	1	Victor SR-DVM700	1
デジタルハイビジョンビデオカメラ		CCD-001	1
Panasonic HDC-HS100	2	テレビモニター	
8mm 映写機		TOSHIBA REGZA 37C7000	1
エルモ E80	1	By D:sign d:4222GJV3	1
16mm 映写機		Panasonic VIERA TH-37TX50	1
BELL & HOWELL	1	I・O Data LCD-MF223FBR-T	1 (PWS)
スライドプロジェクター		Panasonic TH-42AS600	1 (PWS)
ファミリーキャビン	1		
Master Lux	1		
オーバーヘッドプロジェクター	1		

6. 図書資料

2024 年度に登録した資料は、次のとおりである。

図書	64 点
定期刊行物（雑誌類等）	407 点

2025 年 3 月 31 日現在、保有する登録図書資料（製本分を含む）は、次のとおりである。

和書	6,174 点
洋書	3,745 点
計	9,919 点

逐次刊行物を受贈した機関は次のとおりである。

〈一般および研究関係等〉

NHK 出版	大阪自然環境保全協会	東京農業大学学術情報通信課程	日本人類学会
Springer	神奈川大学日本常民文化研究所	名古屋経済大学犬山学研究センター	日本生物多様性情報イニシアチブ
愛銀教育文化財団	川村学園女子大学	名古屋経済大学地域連携センター	日本動物愛護協会
愛知学院大学歯学会	環境省自然環境局生物多様性センター	名古屋市立大学大学院医学研究科	日本動物心理学会
愛知県生涯学習推進センター	京都大学生態学研究センター	なごや生物多様性センター	農林水産省動物検疫所
石川県白山自然保護センター	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科	なごや生物多様性保全活動協議会	ボルネオ保全トラスト・ジャパン
一般社団法人実践倫理宏正会	国立感染症研究所	成田山名古屋別院大聖寺	三重県林業研究所
犬山市	市民 ZOO ネットワーク	南山考古文化人類学研究会	明治大学学芸員養成課程
岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	全日本写真連盟	日本写真著作協会	野生生物保全論研究会
岩波書店	中部科学技術センター		野生動物保護管理事務所
栄研化学株式会社	同志社大学博物館学芸員課程		山階鳥類研究所
			立教大学学校・社会教育講座

〈博物館等〉

秋吉台科学博物館	岡崎市美術博物館	田原市博物館	半田市立博物館
熱田神宮宝物館	嶺山会	千葉県立中央博物館	平塚市博物館
一宮市博物館	春日井市道風記念館	徳島県立博物館	福井市自然史博物館
犬山城白帝文庫	神奈川県立生命の星・地球博物館	栃木県立博物館	藤原岳博物館
茨城県自然博物館	蟹江町歴史民俗資料館	鳥取県立博物館	鳳来寺山自然科学博物館
岩手県立博物館	刈谷市歴史博物館	富山市科学博物館	北海道博物館
江戸東京博物館	岐阜県博物館	豊橋市自然史博物館	みのかも文化の森
大阪歴史博物館	京都大学総合博物館	豊橋市美術博物館	山口県立山口博物館
大阪市立自然史博物館	群馬県立自然史博物館	名古屋市博物館	和歌山県立自然博物館
大府市歴史民俗資料館	国立民族学博物館	日本大学生物資源科学部	
大町山岳博物館	たばこと塩の博物館	日本博物館協会	

〈動物園・水族館等〉

秋田市大森山動物園	いしかわ動物園	札幌市円山動物園	名古屋港水族館
アクアマリンふくしま	伊丹市昆虫館	世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ	日本動物園水族館協会
アクアワールド茨城県大洗水族館	岡崎市東公園動物園	東京動物園協会	のじま水族館
旭川市旭山動物園	葛西臨海水族園	天王寺動物園	浜松市動物園
熱川バナナワニ園熱帯動植物友の会	鴨川シーワールド	動物園研究会	日立市かみね動物園
	高知県立のいち動物公園	鳥羽水族館	福山市立動物園
	釧路市動物園		碧南海浜水族館

(6) 霊長類の福祉に配慮した動物園の設置及び経営

1. 飼育動物一覧（2025年3月31日現在）

(1) 霊長類

種名	学名	合計	オス	メス	不明
ワオキツネザル	<i>Lemur catta</i>	48	18	30	0
クロシロエリマキキツネザル	<i>Varecia variegata</i>	1	0	1	0
クロキツネザル	<i>Eulemur macaco</i>	1	1	0	0
スンダスローロリス	<i>Nycticebus coucang</i>	2	1	1	0
レッサースローロリス	<i>Nycticebus pygmaeus</i>	2	1	1	0
ポト	<i>Perodicticus potto</i>	1	0	1	0
コモンマーモセット	<i>Callithrix jacchus</i>	3	3	0	0
クロミミマーモセット	<i>Callithrix penicillata</i>	9	7	2	0
アカテタマリン	<i>Saguinus midas</i>	6	4	2	0
ムネアカタマリン	<i>Saguinus labiatus</i>	1	0	1	0
ワタボウシタマリン	<i>Saguinus oedipus</i>	4	3	1	0
ヨザル	<i>Aotus spp.</i>	9	4	5	0
シロガオサキ	<i>Pithecia pithecia</i>	1	1	0	0
ヒゲサキ	<i>Chiropotes chiropotes</i>	2	1	1	0
ノドジロオマキザル	<i>Cebus capucinus</i>	6	2	4	0
シロガオオマキザル	<i>Cebus albifrons</i>	5	2	3	0
フサオマキザル	<i>Sapajus apella</i>	22	12	10	0
ボリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	23	14	9	0
コロンビアクロクモザル	<i>Ateles fuscipes</i>	2	0	2	0
ペルークロクモザル	<i>Ateles chamek</i>	1	1	0	0
クモザル（種間交雑）	<i>Ateles hybrid</i>	5	4	1	0
ジェフロイクモザル	<i>Ateles geoffroyi</i>	6	2	4	0
バーバリーマカク	<i>Macaca sylvanus</i>	15	8	7	0
トクモンキー	<i>Macaca sinica</i>	22	8	14	0
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	13	4	9	0
シシオザル	<i>Macaca silenus</i>	9	3	6	0
ミナミブタオザル	<i>Macaca nemestrina</i>	4	2	2	0
カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	72	31	41	0
アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>	3	0	3	0
タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i>	1	1	0	0
チベットモンキー	<i>Macaca thibetana</i>	4	1	3	0
ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	115	56	59	0
ヤクシマザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	133	72	61	0
アヌビスヒヒ	<i>Papio anubis</i>	78	32	46	0
マントヒヒ	<i>Papio hamadryas</i>	6	3	3	0
マンドリル	<i>Mandrillus sphinx</i>	9	4	5	0
サイクスモンキー	<i>Cercopithecus alboglaris</i>	1	0	1	0
ブラッサグエノン	<i>Cercopithecus neglectus</i>	2	1	1	0
アカオザル	<i>Cercopithecus ascanius</i>	4	0	4	0
ショウハナジログエノン	<i>Cercopithecus petaurista</i>	1	0	1	0
ベルベットモンキー	<i>Chlorocebus pygerythrus</i>	6	1	5	0
キタタラポアン	<i>Miopithecus ogouensis</i>	2	1	1	0
パタスモンキー	<i>Erythrocebus patas</i>	5	1	4	0
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	3	2	1	0
アビシニアコロブス	<i>Colobus guereza</i>	6	2	4	0
アンゴラコロブス	<i>Colobus angolensis</i>	1	1	0	0
シロテテナガザル	<i>Hylobates lar</i>	3	3	0	0
ボウシテナガザル	<i>Hylobates pileatus</i>	4	3	1	0
ミュラーテナガザル	<i>Hylobates muelleri</i>	1	0	1	0
フクロテナガザル	<i>Symphalangus syndactylus</i>	8	4	4	0
ニシゴリラ	<i>Gorilla gorilla gorilla</i>	1	1	0	0
チンパンジー	<i>Pan troglodytes</i>	7	5	2	0
計		699	331	368	0

(2) その他動物

種名	学名	合計	オス	メス	不明
イヌ	<i>Canis familiaris</i>	1	0	1	0
シバヤギ	<i>Capra hircus</i>	1	1	0	0
総計		2	1	1	0

2. ブリーディングローン動物一覧 (2025年3月31日現在)

(1) 貸付動物

種名	個体数	出園日 / 誕生日	現飼育施設
ハイロウリーモンキー <i>Lagothrix lagothricha cana</i>	オス 1	1999年2月18日 (横浜市立よこはま動物園で出生)	横浜市立よこはま動物園
シシオザル <i>Macaca silenus</i>	オス 1	1999年9月3日 (長野市茶臼山動物園で出生)	天王寺動物園
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	オス 1	2003年5月4日 (広島市安佐動物公園にて出生)	広島市安佐動物公園
シシオザル <i>Macaca silenus</i>	メス 1	2005年11月12日 (出園)	東武動物公園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2	2014年7月23日 (出園)	旭川市旭山動物園
	メス 2		
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 6	2014年10月21日 (出園)	神戸どうぶつ王国
	メス 2		
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 2	2014年10月21日 (出園) (神戸どうぶつ王国から移動)	那須どうぶつ王国
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	メス 1	2014年10月23日 (神戸市立王子動物園にて出生)	神戸市立王子動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2	2014年11月16日 (出園)	熊本市動植物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2014年11月27日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
ボリビアリスザル <i>Saimiri boliviensis</i>	メス 1	2014年11月27日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
フサオマキザル <i>Sapajus apella</i>	メス 2	2014年11月27日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス 1	2015年6月23日 (出園)	おびひろ動物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2015年6月23日 (出園)	札幌市円山動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2015年6月29日 (熊本市動植物園にて出生)	熊本市動植物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 10	2015年10月19日 (出園)	NIFREL
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス 1	2015年11月24日 (出園)	浜松市動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2016年3月12日 (旭川市旭山動物園にて出生)	旭川市旭山動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2	2016年3月16日 (熊本市動植物園にて出生)	熊本市動植物園
アカタマリン <i>Saguinus midas</i>	オス 1	2016年3月29日 (出園)	市川市動植物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2016年4月5日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2016年4月5日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	那須どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2016年6月6日 (熊本市動植物園にて出生)	熊本市動植物園
シロテテナガザル <i>Hylobates lar</i>	オス 1	2016年6月30日 (出園)	伊豆シャボテン動物公園
ヨザル <i>Aotus trivirgatus</i>	オス 1	2016年6月30日 (出園)	伊豆シャボテン動物公園
コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	オス 1	2016年9月10日 (出園)	東京都恩賜上野動物園
	メス 1		
ヨザル <i>Aotus trivirgatus</i>	メス 1	2016年9月10日 (出園)	東京都恩賜上野動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2016年10月8日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	那須どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2017年4月3日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2018年3月15日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2018年3月15日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	那須どうぶつ王国
ボリビアリスザル <i>Saimiri boliviensis</i>	メス 1	2018年3月16日 (出園)	豊橋総合動植物公園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2018年4月14日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国

種名	個体数	出園日 / 誕生日	現飼育施設
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2018年8月19日 (浜松市動物園にて出生)	浜松市動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 4	2019年1月16日 (出園)	富士自然動物公園
アカテタマリン <i>Saguinus midas</i>	オス 1	2019年1月31日 (出園)	伊豆シャボテン動物公園
コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	メス 1	2019年3月20日 (出園)	川崎市夢見ヶ崎動物公園
フクロテナガザル <i>Symphalangus syndactylus</i>	オス 1	2019年11月10日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
パタスモンキー <i>Erythrocebus patas</i>	オス 1	2020年5月26日 (出園)	千葉市動物公園
ハイロウーリーモンキー <i>Lagothrix lagothricha cana</i>	メス 1	2020年10月27日 (出園)	横浜市立よこはま動物園
フクロテナガザル <i>Symphalangus syndactylus</i>	オス 1	2020年10月27日 (出園)	秋田市大森山動物園
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	メス 1	2021年1月13日 (横浜市立よこはま動物園にて出生)	横浜市立よこはま動物園
シロテナガザル <i>Hylobates lar</i>	オス 1	2021年3月27日 (出園)	福岡市動植物園
シロテナガザル <i>Hylobates lar</i>	メス 1	2021年12月9日 (伊豆シャボテン動物公園にて出生)	伊豆シャボテン動物公園
クロシロエリマキキツネザル <i>Varecia variegata</i>	メス 1	2022年11月25日 (出園)	仙台市八木山動物公園
ワタボウシタマリン <i>Saguinus oedipus</i>	メス 1	2023年4月12日 (出園)	いしかわ動物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス 1	2023年5月30日 (出園)	宮崎市フェニックス自然動物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2023年6月5日 (出園)	おびひろ動物園
ワタボウシタマリン <i>Saguinus oedipus</i>	オス 1	2023年6月13日 (出園)	浜松市動物園
	メス 1		
ヨザル <i>Aotus</i> sp.	オス 1	2023年10月7日 (伊豆シャボテン動物公園にて出生)	伊豆シャボテン動物公園
アカテタマリン <i>Saguinus midas</i>	オス 1	2024年1月26日 (市川市動植物園にて出生)	市川市動植物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2024年2月27日 (出園)	静岡市立日本平動物園
	メス 1		
ワタボウシタマリン <i>Saguinus oedipus</i>	メス 1	2024年3月28日 (出園)	東京都恩賜上野動物園
ハイロウーリーモンキー <i>Lagothrix lagthricha cana</i>	オス 2	2024年6月18日 (出園)	横浜市立よこはま動物園
チベットモンキー <i>Macaca thibetana</i>	メス 1	2024年6月18日 (出園)	横浜市立よこはま動物園
ヒゲサキ <i>Chiropotes chiropotes</i>	メス 1	2024年11月28日 (出園)	静岡市立日本平動物園
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	メス 1	2025年3月17日 (出園)	天王寺動物園

(2) 借受動物

種名	個体数	来園日 / 誕生日	来園元
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	オス 1	1994年5月19日 (来園)	横浜市立野毛山動物園 (帰属は横浜市立よこはま動物園)
シロガオサキ <i>Pithecia pithecia</i>	オス 1	2006年3月17日 (来園)	静岡市立日本平動物園
コロンビアクロクモザル <i>Ateles fuscipes</i>	メス 1	2010年12月16日 (来園)	愛媛県立とべ動物園
クロシロエリマキキツネザル <i>Varecia variegata</i>	メス 1	2011年4月30日 (出生)	JMC 生まれ (帰属は静岡市立日本平動物園)
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	メス 1	2013年6月6日 (来園)	豊橋総合動植物公園
フランソワルトン <i>Trachypithecus francoisi</i>	メス 1	2016年4月22日 (出生)	JMC 生まれ (帰属は鯖江市西山動物園)
クロキツネザル <i>Eulemur macaco</i>	オス 1	2017年11月8日 (来園)	浜松市動物園
フランソワルトン <i>Trachypithecus francoisi</i>	オス 1	2022年11月22日 (来園)	横浜市立よこはま動物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス 1	2023年11月28日 (来園)	日立市かみね動物園 (帰属は大牟田市動物園)
スンダスローロリス <i>Nycticebus coucang</i>	オス 1	2024年10月24日 (来園)	恩賜上野動物園 (帰属は札幌市円山動物園)
スンダスローロリス <i>Nycticebus coucang</i>	メス 1	2024年10月27日 (来園)	札幌市円山動物園
クロミマーモセット <i>Callithrix penicillata</i>	メス 1	2024年11月16日 (来園)	千葉市動物公園
ヒゲサキ <i>Chiropotes chiropotes</i>	メス 1	2024年11月28日 (来園)	静岡市立日本平動物園
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	メス 1	2024年11月28日 (来園)	静岡市立日本平動物園

3. 動物の異動

(1) 出園

① 霊長類

ブリーディングローン 4種5頭

内訳：よこはま動物園ズーラシア
よこはま動物園ズーラシア
静岡市立日本平動物園
天王寺動物園

チベットモンキー *Macaca thibetana* メス1頭
ハイロウリーモンキー *Lagothrix lagothricha cana* オス2頭
ヒゲサキ *Chiropotes chiropotes* メス1頭
チンパンジー *Pan troglodytes* メス1頭

(2) 来園

① 霊長類

ブリーディングローン 5種6頭

内訳：鹿児島市平川動物公園
恩賜上野動物園
札幌市円山動物園
千葉市動物公園
静岡市立日本平動物園
静岡市立日本平動物園

アビシニアコロブス *Colobus guereza* メス1頭
スンダスローロリス *Nycticebus coucang* オス1頭
スンダスローロリス *Nycticebus coucang* メス1頭
クロミミマーモセット *Callithrix penicillata* メス1頭
ヒゲサキ *Chiropotes chiropotes* メス1頭
ブラッサグエノン *Cercopithecus neglectus* メス1頭

(3) 出産 (現存・死亡は2025年3月31日現在)

種名	学名	出産	現存	死亡	流産	備考
クロミミマーモセット	<i>Callithrix penicillata</i>	1	0	1	0	
シロガオオマキザル	<i>Cebus albifrons</i>	1	1	0	0	
ノドジロオオマキザル	<i>Cebus capucinus</i>	1	1	0	0	人工哺育
ヤクシマザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	4	3	1	0	
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	1	0	1	0	
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	1	1	0	0	人工哺育
アビシニアコロブス	<i>Colobus guereza</i>	2	2	0	0	
計 7種 11頭		11	8	3	0	

(4) 死亡

① 霊長類

種名	学名	死亡
クロキツネザル	<i>Eulemur macaco</i>	1
ブラウンキツネザル	<i>Eulemur fulvus</i>	1
レッサースローロリス	<i>Nycticebus pygmaeus</i>	2
ポト	<i>Perodicticus potto</i>	1
コモンマーモセット	<i>Callithrix jacchus</i>	1
クロミミマーモセット	<i>Callithrix penicillata</i>	2
ワタボウシタマリン	<i>Saguinus oedipus</i>	1
ヨザル	<i>Aotus sp.</i>	1
クモザル (種間交雑)	<i>Ateles (hybrid)</i>	1
ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	1
ヤクシマザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	12
カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	1
ミナミブタオザル	<i>Macaca nemestrina</i>	3
トクモンキー	<i>Macaca sinica</i>	1
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	1
バーバリーマカク	<i>Macaca sylvanus</i>	2
アヌビスヒビ	<i>Papio anubis</i>	2
ゴールデンマンガベイ	<i>Cercocebus chrysogaster</i>	1
パタスモンキー	<i>Erythrocebus patas</i>	1
シロテテナガザル	<i>Hylobates lar</i>	1
計 20種		37

② その他動物

種名	学名	死亡
チリアンコモン	<i>Grammostola porteri</i>	1
計 1種		1

4. 高齢動物（年齢は2025年3月31日現在）

種名	個体名	性別	年齢	摘要
ヨザル <i>Aotus</i> sp.	ザザ	メス	34	1990/6/7 生
ノドジロオマキザル <i>Cebus capucinus</i>	マライア	メス	30	1994/12/3 生
フサオマキザル <i>Sapajus apella</i>	トム	オス	32	1992/4/4 生
コロンビアクロクモザル <i>Ateles fuscipes</i>	ブカルバ	メス	40	1985/3/22 生
コロンビアクロクモザル <i>Ateles fuscipes</i>	オバケ	メス	50 以上	1974/6/27 来園
ペルークロクモザル <i>Ateles chamek</i>	アイレス	オス	30 以上	1994/2/18 来園
ジェフロイクモザル <i>Ateles geoffroyi</i>	レイコ	メス	39	1985/4/5 生
ジェフロイクモザル <i>Ateles geoffroyi</i>	チロ	メス	33	1991/7/21 生
クモザル（種間交雑） <i>Ateles hybrid</i>	エマ	メス	34	1990/11/14 生
シシオザル <i>Macaca silenus</i>	ドウ	メス	35 以上	1989/6/22 来園
ミナミブタオザル <i>Macaca nemestrina</i>	マリー	メス	34 以上	1991/3/19 来園
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モズク	メス	40	1985/3/19 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	ツムギ	メス	38	1986/4/13 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モン	メス	36	1988/7/16 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モルゴ	オス	34	1990/4/24 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モンペ	メス	33	1992/4/23 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モナリザ	メス	32	1992/6/23 生
ヤクシマザル <i>Macaca fuscata yakui</i>	タイマイ	オス	33	1991/6/9 生
アヌビスヒビ <i>Papio anubis</i>	ゾヘ	メス	34	1990/9/5 生
マントヒビ <i>Papio hamadryas</i>	アルミ	メス	30	1995/1/21 生
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	ドント	オス	推定 57	1969 年推定 2 歳で日本平へ入園 1994/5/19 来園
ミュラーテナガザル <i>Hylobates muellerii</i>	クリケット	メス	42 以上	1982/8/11 来園
ニシゴリラ <i>Gorilla gorilla</i>	タロウ	オス	51	1973/4/20 生
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	フジコ	メス	推定 54	1971 年出生と推定 1983/6/13 来園
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	アキラ	オス	推定 44	1980 年出生と推定 1987/7/2 来園

5. 獣医療

(1) 年間診療件数

入院	170 件	退院	160 件
麻酔	203 件	外科手術	83 件
歯科処置	5 件	抜糸	58 件
補液・注射	762 件	避妊処置（インプラント）	14 件
外用薬塗布	66 件	避妊処置（インプロバック）	51 件
マイクロチップ挿入	6 件	洗浄・消毒	146 件
検便	103 件	検尿	77 件
X線検査	63 件	エコー検査	59 件
血液検査	53 件	薬処方	1,675 件
		総診察数	3,270 件

6. 動物の給餌量（園全体、購入分のみ、2025年3月31日現在）

品目	週間給餌量	品目	週間給餌量	品目	週間給餌量	品目	週間給餌量
白菜	17.5 束	トマト	38.5kg	リンゴ	231.7kg	パン	29 袋
ニンジン	225.9kg	生サツマイモ	511.9kg	バナナ	235.6kg	卵	287 個
大根	404.0kg	蒸サツマイモ	184.8kg	ミカン	53.9kg	ココロギ	700 匹
						固形飼料	240kg

カットフルーツ・カット野菜

品目	週間給餌量	品目	週間給餌量	品目	週間給餌量
パイナップル（芯）	240kg	トマト	9kg	キャベツ	600kg
リンゴ（芯）	60kg	レタス	12kg	カボチャ	20kg
				ゴボウ	60kg

7. 月別入場人員数

入園区分	有料		無料	合計	前年比	開園 日数	休園日
	一般	団体					
2024年4月	5,822	667	1,068	7,557	103.3%	24日	火曜・水曜（4/2・4/3・4/30は開園）
5月	8,081	1,422	1,523	11,026	99.7%	23日	火曜・水曜（5/1は開園）
6月	3,813	617	1,207	5,637	106.4%	22日	火曜・水曜
7月	1,412	59	743	2,214	77.8%	15日	火曜・水曜・7/1-5・7/8-12
8月	2,248	173	697	3,118	97.1%	25日	火曜・水曜（8/13・8/14は開園）
9月	2,970	713	855	4,538	100.7%	16日	火曜・水曜・9/2-6・9/9-13
10月	5,416	3,156	1,699	10,271	103.9%	26日	火曜（10/17は開園）
11月	5,922	2,342	2,055	10,319	101.9%	26日	火曜
12月	3,849	165	963	4,977	86.0%	22日	火曜・水曜
2025年1月	5,239	70	942	6,251	107.4%	13日	1/7-10・1/14-17・1/20-24・1/27-31
2月	2,534	199	674	3,407	67.7%	15日	2/3-7・2/10・2/12-14・2/18-19・2/25-26
3月	5,786	571	1,212	7,569	97.1%	24日	火曜・水曜（3/26は開園）
合計	53,092	10,154	13,638	76,884	97.7%	251日	

（参考）過去の年間入場者数の推移（2013年度までの数値は遊園地日本モンキーパークとの総計）

年度	入場人員	年度	入場人員	年度	入場人員	年度	入場人員
2004年	776,068	2009年	604,306	2014年	147,523	2019年	104,868
2005年	594,590	2010年	595,391	2015年	154,378	2020年	66,668
2006年	734,906	2011年	560,920	2016年	118,113	2021年	85,141
2007年	773,256	2012年	562,465	2017年	112,965	2022年	93,000
2008年	725,870	2013年	548,045	2018年	107,841	2023年	78,695

8. 土地・主な施設および設備の一覧と変動

〈土地〉 (2025年3月31日現在)

地区名	面積 (m ²)
官林地区	173,480.04
栗栖地区	6,153.62
小野洞地区	759,061.22

〈施設・設備〉 (2025年3月31日現在)

施設名	構造	面積 (m ²)	建設・変動年
動物園管理事務所	鉄筋コンクリート2階造	565.5	平成15年
飼料調理倉庫	鉄骨造	64.8	平成15年
動物園出改札詰め所	鉄骨造	50.4	平成15年
ビジターセンター	鉄筋コンクリート造	860	平成元年
ベビールーム	ブロック積鉄柱梁組サイドボード張コロニアル葺造	16.24	平成10年
Waoランドmini	ステンレス檻 木造寝室 木造デッキ	35.1	平成21年
マダガスカル館	鉄筋コンクリート造(建物) 芝張り、硝子、電気柵(島)	193 235	平成13年
アフリカ館	鉄骨ブロック造	446	昭和39年
南米館	鉄筋コンクリート2階造	480	昭和41年
南米館用バコティンヒーター室	上屋鉄骨組ルーフデッキ葺 サイディングボード張りスレート葺造	9.25	平成10年
ボイラー室と変電室(旧モンキーアパート関係)	鉄骨ブロック造	49	昭和38年
アジア館	鉄筋コンクリート造	375	昭和53年
Waoランド	木造 ブロック積 水張り 電柵併用	1,000	令和5年
アフリカセンター	鉄筋コンクリート造	2,240	昭和55年
トイレ(アフリカセンター)	鉄筋コンクリート造	60	令和6年
障害者用トイレ(アフリカセンター前)	鉄筋ALC張切板葺	10.2	令和6年
セミナーハウス白帝	鉄筋コンクリート平屋建造	261	昭和39年
駐車場			平成15年
屋外収容棟	鉄骨金網張り造	129.6	平成9年
収容棟	ルーフデッキ葺造	71.28	平成9年
診療および資料棟	ブロック積鉄柱梁組サイディングボード張 ルーフデッキ葺造	217.74	平成9年
検疫棟	ルーフデッキ葺造	91.08	平成9年
標本作成棟	ルーフデッキ葺造	18.5	平成9年
資材倉庫	プレハブ造	17	平成9年
焼却炉	プレハブ造	7.3	平成27年
ニホンザルの丘	放養式フェンス、電気柵造	1,647	平成23年
ヒビの城	放養式鉄筋コンクリート造	415	平成15年
モンキーバレイ	放養式フェンス電気柵造	3,321.7	平成9年
エコドーム寝室	鉄筋コンクリート造	45	平成3年
休憩所(エコドーム横)	鉄筋組ルーフデッキ葺造	85.8	平成3年
リスザルの島	鉄筋コンクリート水張り造	1,507	令和4年
テナガ・クモザルの島	鉄筋コンクリート石積水張造一部電柵併用	1,500	平成9年
ギボンハウス	鉄筋強度セメント中空押出整形張 ALC葺シート防水SOS メッシュ張造2棟	164.4 ×2棟	平成6年
無料休憩所	鉄骨2階造	166.87	昭和55年
くすのきの森	透水路面工法 トレーラーハウス カーポート付デッキ 軽量鉄骨造休憩室	568	平成27年
トイレ(くすのきの森横)	鉄筋コンクリートコロニアル葺造	36	平成28年
営繕小屋	鉄骨造	36	平成30年
ビジターセンター裏スタッフ詰所	プレハブ造	20	令和2年
おでかけタマリン	鉄骨造		令和2年
バックヤードおひさまエリア	鉄骨金網張り造		令和3年
新アフリカ館 原野と森の家	鉄骨造	2,860	令和4年
トイレ(Waoランド横)	鉄骨造	40.6	令和5年

9. 施設配置図



- | | | |
|----------------|--------------|--------------------|
| 1 管理事務所 | 18 セミナーハウス白帝 | 36 エコドーム |
| 2 飼料倉庫 | 19 駐車場 | 37 リスザルの島 |
| 3 資材倉庫 | 20 倉庫 | 38 テナガ・クモザルの島 |
| 4 ガレージ | 21 倉庫 | 39 ギボンハウス 2 |
| 5 ポンプ場 | 22 ポンプ場 | 40 ギボンハウス 1 |
| 6 モニュメント | 23 屋外収容棟 | 41 トイレ |
| 7 動物園正門出札 | 24 収容棟 | 42 楽猿 (レストラン) |
| 8 ビジターセンター | 25 診療棟および資料棟 | 43 無料休憩所 |
| 9 Wao ランド mini | 26 検疫棟 | 44 モンキーバー (軽食) |
| 10 マダガスカル館 | 28 資料作成室 | 45 くすのきの森 |
| 11 アフリカ館 | 30 焼却炉 | 46 トイレ |
| 12 南米館 | 31 猿塚 | 47 営繕小屋 |
| 13 ボイラー室 | 32 ポンプ場 | 48 ビジターセンター裏スタッフ詰所 |
| 14 アジア館 | 33 ニホンザルの丘 | 49 おひさまエリア |
| 15 Wao ランド | 34 ヒヒの城 | 50 おでかけタマリン |
| 16 アフリカセンター | 35 モンキーバレイ | 51 新アフリカ館『原野と森の家』 |
| 17 トイレ | | 52 トイレ |

10. 施設修繕（業者工事）

2024年4月4日、5日
 アフリカ館FA暖房メンテナンス(泉商店)

4月9日 Waoランド漏電箇所調査、仮配線(文化電気)

4月9日 アフリカセンターガスタンクセンサー
 メンテナンス(名古屋プロパン瓦斯)

4月15日 アフリカセンター照明器具LED交換(文化電気)

4月16日、17日
 Waoランド横トイレ再工事(津田建設)

4月18日 南米館加圧ポンプバルブ交換工事(有川設備)

4月23日 Waoランドエアコン交換工事(文化電気)

5月14日 Waoランド寝室漏電工事、蛍光灯取り
 換え工事(文化電気)

5月15日 動力メーター(旧山水貯水槽)交換工事
 (中部電力パワーグリッド)

5月21日 ワゴン運転席側窓検査
 (アクセスコーポレーション)

5月29日、6月4日、5日、11日～13日
 危険木・竹藪伐採(小野洞、栗栖地区、
 アフリカセンター周辺、南米館周辺、
 外周通路)(松川林業)

6月4日 新アフリカ館漏水窓コーキング
 (シンエイライフ)

6月7日 バックヤード隔離舎照明交換工事(文化電気)

6月25日 南米館、バックヤード漏電箇所点検(文化電気)

7月1日 南米館不調冷蔵庫修理(文化電気)

7月5日 エコドーム蛍光灯交換工事(文化電気)

7月5日 アフリカセンター 屋外運動場天井格子
 スズメバチの巣駆除(蜂駆除K&K)

7月10日 アフリカセンター調理室照明器具交換
 (文化電気)

7月16日、17日
 Waoランドエアコン交換(文化電気)

7月18日 南米館外周通路スズメバチの巣除去(K&K)

7月25日 バックヤード 収容棟エアコン交換工事
 (文化電気)

7月30日 ツリーハウス解体(所沢建築)

7月31日 Waoランド mini エアコン交換工事(文化電気)

8月8日 アフリカセンター作業通路火災報知器
 点検(ALSOK・オーケー)

8月19日 アフリカセンター照明器具交換工事
 (文化電気)

8月19日 マダガスカル館エアコン不調改善(文化電気)

8月20日 市水水量計メーター確認(犬山水道局)

8月27日 アジア館 KA 暖房設置確認(渡辺工業)

9月3日 バックヤード 収容棟エアコン交換工事
 (文化電気)

9月6日 血液検査機の調整およびデモ機の搬入
 (富士フィルム)

9月10日 駐車場メタセコイヤと危険木伐採(松川林業)

9月11日 心電図モニターデモ機搬入(日本光電)

9月12日 新アフリカ館屋根上スプリンクラー設置
 工事(所沢建築)

9月25日、10月1日、8日、15日、22日、29日
 アフリカセンター屋外運動場投石防止
 ネット支柱設置工事(所沢建築)

9月30日 新アフリカ館屋内展示場スライド扉補修
 工事(シンエイライフ)

9月30日、10月1日、2日

KA 暖房設置(Wao ランド、
 マダガスカル館、ヒヒの城)(藤克工業)

10月1日 マダガスカル館 エアコンポンプ交換
 工事(東芝)

10月1日 リスザルの島寝室エアコン交換工事(文化電気)

10月7日 バックヤード病院棟ガス異常発報の
 現場確認、復旧(イワタニ東海)

10月7日 南米館冷蔵庫横コンセント不調確認(文化電気)

10月7日、10日
 アジア館 KA 暖房修理(渡辺工業)

10月9日 WaoランドA部屋エアコン確認(文化電気)

10月10日 Waoランドエアコン点検(ダイキン)

10月12日 アフリカセンターガスタンクの緊急点検・
 ガス漏れ箇所整備(名古屋プロパン瓦斯)

10月15日 アフリカセンターキュービクル交換工事・
 点検(フジサービス、中部電気保安協会)

10月22日 アフリカ館漏電箇所修理(文化電気)

10月25日 ニホンザルの丘コンセント設置工事(文化電気)

10月29日 アフリカセンター ガスボイラー整備
 (名古屋プロパン瓦斯)

11月5日 ヒヒの城 KA 暖房点検(藤克工業)

11月16日 アフリカセンター冷蔵庫断線補修(文化電気)

11月19日 アフリカセンター横ガスタンクメーター
 交換(名古屋プロパン瓦斯)

12月3日 マダガスカル館横灯油タンク看板設置
 (渡辺工業)

12月7日 Wao ランド KA 暖房修理(藤克工業)

12月24日 アフリカセンター寝室一予備室間
 シュート設置工事(所沢建築)

12月25日 アフリカセンター動物用通路設置工事
 (所沢建築)

2025年1月9日
 ビッグループ円盤電柵復旧(文化電気)

1月17日 ヒヒの城エアコン基板交換(藤克工業)

1月20日 アジア館 KA 暖房メンテナンス(渡辺工業)

1月20日 バックヤード浄化槽詰まり取り(輪米工業)

1月23日、24日、26日
 南米館中型通路蛍光灯交換と漏電箇所
 確認(文化電気)

1月27日、28日
 南米館漏電箇所確認、スローロリス保全
 センター電気設置(文化電気)

1月28日 アフリカセンター漏電調査(文化電気)

1月29日 ビジター裏ポンプメンテナンス(荏原製作所)

1月31日 アフリカセンター 寝室格子扉蝶番交換
 (所沢建築)

2月3日 ニホンザルの丘ヒーター交換工事(文化電気)

2月3日 南米館中型蛍光灯配線交換工事(文化電気)

2月3日 アフリカセンター寝室人用扉蝶番取替工事
 (所沢建築)

2月3日 事務所給水管(市水)漏水箇所修理工事
 (有川設備)

2月5日 アフリカセンター寝室扉微調整(所沢建築)

2月13日 モンキーバレイバルブ交換工事(有川設備)

2月14日 南米館ホール蛍光灯交換(文化電気)

2月15日 アフリカセンター調理場電気配線点検
 (文化電気)

2月17日 食事処楽猿雨漏り工事(シンエイライフ)

2月18日 ビッグループ分断盤補修工事(安達建築、文化電気)
 2月19日 南米館 中型寝室蛍光灯交換(文化電気)
 2月19日 アジア館床暖房のブレーカー通電確認(文化電気)
 3月4日、5日 リスザルの島樹木剪定とモンキーバレイ危険木伐採(松川林業)
 3月3日 ヒヒの城KA暖房、エアコン点検(藤克工業)
 3月4日 新アフリカ館 冷蔵庫修理(ホシザキ)
 3月11日 軽トラック運転席側ドア交換修理(アクセスコーポレーション)
 3月12日 アジア館通路天窗交換工事(荏原製作所)
 3月24日 ニホンザルの丘蛍光灯交換修理(文化電気)
 3月28日 病院分包機点検(TAKAZONO)

11. 施設修繕(自営作業、溶接など一部のみ)

2024年4月28日

アジア館放飼場檻溶接
 5月2日 アフリカ館放飼場檻溶接
 5月15日 アジア館運動場檻溶接
 5月21日 モンキーバレイ樹木電柵の枯れ木伐木
 5月21日 リスザルの島 島内の枯れ木伐木 奥村
 5月25日 病院棟スクイズケージ用メッシュ溶接
 5月26日 ニホンザルの丘 寝室外檻ネット補修
 5月28日 テナガ・クモザルの池浚渫作業
 5月30日 モンキーバレイ土留め矢板の杭打ち直し
 5月30日 バックヤード 移動ケージ格子溶接
 6月1日 ヒヒの城寝室シュート棒溶接作業
 6月3日 リスザルの島副室入口扉補修
 6月5日 くすのきの森場内漏水パイプ修繕
 6月10日 ヒヒの城寝室通路シュート扉ワイヤー交換
 6月12日 クモザルの池浚渫作業
 7月6日 テナガ舎 シュートハンドル交換
 7月6日 入園ゲート蜂の巣(スズメバチ)駆除
 7月7日 モンキーバレイ近くデッキ上蜂の巣駆除
 7月11日、19日、20日、24日、8月2日、3日
 モンキーバレイ新設やぐらの屋根骨組み溶接
 7月12日 セミナーハウス白帝ゴミ置き場作成
 7月24日、25日 アフリカセンター寝室扉ロック溶接
 8月1日、2日、15日 南米館ホール隔離エリア枠設置
 8月1日～9月30日 南米館スローロリス保全センター整備
 8月6日 アジア館運動場破損檻溶接
 8月14日、15日 ヒヒの城 寝室運動場側シュート扉補修
 8月15日 アフリカ館温度センサー配線補修
 8月23日 南米館中型通路排水桝破損箇所溶接
 8月27日 ニホンザルの丘寝室と放飼場間シュートメンテナンス
 9月1日 アフリカセンター屋外運動場間アシナガバチの巣駆除
 9月1日、2日 マダガスカル館 天窗格子補強
 9月5日 バックヤード屋外収容棟外れ箇所補修

9月8日 アフリカ館寝室ダクト溶接補修
 9月22日 ニホンザルの丘放飼場フェンス亀甲網張り
 9月24日 エコドーム天井フェンス外れ補修
 9月30日 モンキーバレイ コンクリート補修
 10月3日、10月7日、8日、10日、16日、21日 南米館スローロリス保全センター整備
 10月7日 リスザルの島寝室 床暖房スイッチ交換
 10月7日 ニホンザルの丘寝室扉修繕
 10月9日 アフリカセンター ボイラー自主点検
 10月14日 くすのきの森ヤギ小屋入口扉溶接補修
 10月15日 ギボンハウス 温度計配線補修
 10月15日 ニホンザルの丘放飼場フェンス補修
 10月21日、22日 ヒヒの城放飼場櫓溶接外れ箇所補修
 10月26日 アフリカ館部屋共通化用檻切断
 10月29日 アフリカ館屋外運動場連結工事
 11月1日 リスザルの島 観覧デッキ腐食部交換
 11月2日 ニホンザルの丘デッキ下野生ザル対策パレット設置
 11月12日 クモザルの島フェンス・電柵補修、危険木伐採等整備
 11月26日 アフリカセンター予備室寝室間扉穴補強溶接
 12月3日 テナガ、クモザルの池水中ポンプ設置
 12月13日 バックヤード屋外収容棟6部屋扉応急処置
 12月14日 ビッグループ上下シュート動作不良改善
 12月30日、31日 アフリカセンター予備室新シュート用ウインチ整備
 2025年1月8日 バックヤード 屋外収容棟蝶番のとりつけ
 1月10日、17日 アジア館シュート取っ手溶接
 1月11日 エコドーム 放飼場天井溶接外れ補修
 1月15日～17日 Wao ランド池掃除
 1月22日 アフリカセンター夜行性展示室土入れ等整備
 1月29日 リスザルの島水中ポンプ1基設置
 1月30日 アフリカセンター 寝室-屋内運動場間の格子戸ポリカ板設置
 2月1日、8日、18日、21日 テナガ・クモザルの島池電柵漏電復旧
 2月6日 ビッグループ支柱円状電柵漏電復旧
 2月8日 スーパーハウス外側水道管修繕
 2月18日 ヒヒの城寝室溶接修繕
 2月20日 アジア館寝室扉上部コーキング補修
 2月21日、22日 バックヤード移動ケージ修繕
 2月25日 アフリカセンター 屋外運動場フェンス溶接
 2月25日 アジア館運動場檻溶接
 3月2日 モンキーバレイフェンス内側補修
 3月3日 南米館通路排水桝破損箇所溶接
 3月7日 アフリカセンター屋外運動場溶接外れ箇所補修
 3月9日 アフリカセンター屋内鉄扉ラッチ溶接補修
 3月12日 テナガ・クモザルの島池電柵復旧
 3月13日、27日 エコドーム高所フェンス補修
 3月16日 ヒヒの城寝室天井檻溶接修繕
 3月17日 アフリカ館部屋共通準備のため檻補強溶接
 3月17日 ヒヒの城シュート檻腐食部溶接修繕

3月20日、21日 モンキーバレイ土留矢板補強
 3月22日 ニホンザルの丘 放飼場池掃除
 3月23日 ヒビの城放飼場排水弁の網溶接修繕
 3月27日 テナガ舎天井フェンス補修

① 麻薬施用者業務廃止届の提出 2024年5月
 ② 令和6年度麻薬管理者免許・麻薬研究者免許
 年間麻薬譲渡・譲受届の提出 2024年10月
 ③ 年間向精神薬輸入・輸出・製造届の提出 2025年2月

12. 設備点検

2024年4月23日 貯水槽水質検査（愛知県薬剤師会）
 4月22日 バックヤードX線漏えい検査
 （日本メディカルサービス）
 6月12日 電気設備点検（中部電気保安協会）
 6月24日 消防設備点検（ALSOK）
 8月1日、29日 バックヤード外部放射線による線量
 当量率測定（テクノ中部）
 9月24日 アフリカセンター・南米館のガスボイラー・
 ガスタンク点検（名古屋プロパン瓦斯、
 渡辺工業）
 10月8日 アフリカ館、バックヤードFA暖房点検
 （泉商店）
 11月5日 ビジターセンター自動ドア定期点検
 （ナブコドア）
 12月26日 消防設備点検（ALSOK）
 2025年2月5日 バックヤード外部放射線による線量
 当量率測定（テクノ中部）
 2月14日 市水貯水槽清掃（輪栄工業）

(5) 銃砲刀剣類所持等取締法関連（麻酔銃）（犬山警察署）
 ① 銃砲所持許可申請書の提出 2024年10月
 (6) 家畜伝染病予防法関係
 （愛知西部家畜保健衛生所尾張支所）
 ① 定期報告書の提出 2025年3月
 (7) 砂防指定地内における行為の規制に関する条例関係
 （愛知県一宮建設事務所）
 ① 砂防指定地内行為許可有効期間更新申請書の提出
 2024年5月

13. その他諸手続き

- (1) 動物愛護管理法関係（愛知県動物愛護センター）
 ① 特定動物飼養・保管許可申請書（申請11種、廃止1種）、
 特定動物飼養・保管増減届出書（2023年度1月～
 3月分）、動物販売業者等定期報告届出書の提出
 2024年4月
 ② 特定動物飼養・保管増減届出書（2024年度4月～
 6月分）の提出 2024年7月
 ③ 第一種動物取扱業変更届出書、特定動物飼養・保管
 許可変更届出書の提出 2024年7月
 ④ 特定動物飼養・保管増減届出書（2024年度7月～
 9月分）の提出 2024年10月
 ⑤ 特定動物飼養・保管増減届出書（2024年度10月～
 12月分）の提出 2025年1月
 ⑥ 特定動物識別措置実施届出書の提出
 2025年1月
- (2) 外来生物法関係（環境省中部地方環境事務所）
 ① 特定外来生物飼養飼養増減届出書の提出
 2024年7月
- (3) 獣医療法関係（愛知西部家畜保健衛生所尾張支所）
 ① 飼育動物診療施設届出事項変更届（2件）の提出
 2024年5月
- (4) 麻薬及び向精神薬取締法関係（江南保健所）

(8) 研究会、講演会の開催

1. 研究会の開催

(1) 第69回プリマーテス研究会の開催

日程：2025年2月9日

会場：ビジターセンター

共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス
リーディング大学院

参加者：会場参加70名（所員を除く）

内容：口頭発表11題

ポスター発表27題

発表賞：

優秀口頭発表賞

立河龍利（日本大学）

優秀ポスター発表賞

佐竹まどか（宇都宮大学）

優秀中高生ポスター発表賞

山口諒，濱田小太郎（関西大倉高等学校）

プログラム

10:25 開会

10:30～11:30 口頭発表①

O-1 サルはドローンを怖がるか？ ～対地高度と環境条件からの検討～

赤見理恵¹，星野智紀¹，杉山茂²，杉田暁³（¹公益財団法人日本モンキーセンター，²日本女子大学，³中部大学）

O-2 互いに血縁関係のある飼育下フサオマキザルの順位変動が個体間交流に及ぼす影響

栗田絢音¹，飯盛彩香²，重松由菜²，鹿野遥斗³，池上美鈴⁴，池田義知⁴，古屋実恵⁵，齋藤華⁶，後藤千夏⁷，北尾拓磨⁷，村上聡⁷，岡本優芽⁸，島遼⁸，鈴木百夏⁸，横坂楓，山本真也^{9,10,11}（¹関西大倉高等学校，²大阪府立北野高等学校，³京都大学工学部，⁴京都大学経済学部，⁵京都大学大学院医学研究科，⁶関西学院大学文学部，⁷京都大学農学部，⁸京都大学大学院理学研究科，⁹京都大学人と社会の未来研究院，¹⁰京都大学高等研究院，¹¹京都大学野生動物研究センター）

O-3 京都市動物園の子世代ゴリラの遊び行動

國司紗那¹，相馬葉月²，池田義知³，岡本優芽⁴，北尾拓磨⁵，横坂楓，山本真也^{6,7,8}（¹関西大倉高等学校，²大阪府立北野高等学校，³京都大学経済学部，⁴京都大学大学院理学研究科，⁵京都大学農学部，⁶京都大学人と社会の未来研究院，⁷京都大学高等研究院，⁸京都大学野生動物研究センター）

O-4 Water games by mountain gorillas: implications for behavioural development and flexibility

– a case report

Raquel Costa^{1,2,3}，Misato Hayashi^{1,4}（¹Japan Monkey Centre，²Primate Cognition Research Group, Lisbon, Portugal，³Primatologia, Brazil，⁴Chubu Gakuin University）

13:15～14:00 ポスター発表 コアタイム①（奇数番号）

14:00～14:45 ポスター発表 コアタイム②（偶数番号）

15:00～15:45 口頭発表②

O-5 アジアゾウにおける耳仰ぎ行動の機能の検討

北尾拓磨¹，宮地藍¹，平山陽菜¹，後藤千夏¹，藤島成邦¹，山本真也^{2,3,4}（¹京都大学農学部，²京都大学人と社会の未来研究院，³京都大学高等研究院，⁴京都大学野生動物研究センター）

O-6 伊谷純一郎の研究資料のアーカイブ化に向けて

新宅勇太^{1,2}（¹公益財団法人日本モンキーセンター，²京都大学野生動物研究センター）

O-7 日本モンキーセンター「連携研究」公益化後10年間のまとめ

綿貫宏史朗^{1,2}，武田康祐^{1,2}，新宅勇太^{1,2}，赤見理恵¹，高野智¹，林美里^{1,3}（¹公益財団法人日本モンキーセンター，²京都大学野生動物研究センター，³中部学院大学）

16:00～17:00 口頭発表②

O-8 新世界ザルの犬歯外形の比較

山田博之（愛知学院大学歯学部解剖）

O-9 オナガザル科及びテナガザル科の耳垢から分離された *Malassezia japonica*

立河龍利¹，綿貫宏史朗^{2,3}，新宅勇太^{2,3}，岡部直樹^{2,3}，武田康祐^{2,3}，廣瀬大¹（¹日本大学薬学部病原微生物学研究室，²公益財団法人日本モンキーセンター，³京都大学野生動物研究センター）

O-10 動物園の利用者は音環境をどのように感じているか：予備的分析結果の報告

打越万喜子¹，赤見理恵²，綿貫宏史朗^{2,3}（¹京都大学ヒト行動進化研究センター，²公益財団法人日本モンキーセンター，³京都大学野生動物研究センター）

O-11 愛知県におけるニホンカモシカの分布拡大に関する遺伝子調査

川本芳¹，山口遙介²，中村廣貴³（¹日本獣医生命科学大学，²岡崎市経済振興部中山間政策課地域づくり係，³愛知県環境局環境政策部自然環境課野生生物・鳥獣グループ）

17:00 閉会 Closing

17:15 懇親会 Social Gathering

ポスター発表

- P-1 ワオキツネザルの福祉向上を目的とした群れ調整と展示について
阿野隆平, 川崎千穂, 坂口真悟, 宗像大和 (公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-2 樹液食に適応したマーモセットの腸管上皮細胞における栄養素感知機構解明のための腸管オルガノイド樹立
石村有沙^{1,2}, 岩槻健³, 今井啓雄¹ (¹ 京都大学ヒト行動進化研究センター, ² 京都大学大学院理学研究科, ³ 東京農業大学応用生物科学部)
- P-3 飼育ジェフロイクモザルの利き手と尾の側方性の関係性
戎岡里紗, 武井大祐 (愛知県立明和高等学校)
- P-4 アジアゾウの常同行動および尾・足による行動に対する来客数および個体間行動の影響
岡田美乃湮¹, 瀬川陽詩¹, 吉田雪乃², 北尾拓磨³, 後藤千夏³, 平山陽菜³, 藤島成邦³, 村上聡³, 田辺雄亮⁴, 横坂楓, 山本真也^{5,6,7} (¹ 関西大倉高等学校, ² 大阪府立北野高等学校, ³ 京都大学農学部, ⁴ 京都大学理学部, ⁵ 京都大学人と社会の未来研究院, ⁶ 京都大学高等研究院, ⁷ 京都大学野生動物研究センター)
- P-5 飼育環境下のケープハイラックス (*Procavia capensis*) の場所選択と個体間関係、気温の関係
岡本尚大¹, グエンニャットミン², 崎本雲鷲¹, 大柴紗来¹, 平山陽菜², 北尾拓磨³, 島遼⁴, 鈴木百夏⁴, 岡本優芽⁴, 横坂楓, 山本真也^{4,5,6} (¹ 関西大倉高等学校, ² 大阪府立北野高等学校, ³ 京都大学農学部, ⁴ 京都大学野生動物研究センター, ⁵ 京都大学人と社会の未来研究院, ⁶ 京都大学高等研究院)
- P-6 非展示エリア"バックヤード"における単独飼育解消における取り組みについて
奥川みらい, 堀川晴喜, 藤森唯, 奥村文彦 (公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-7 混合展示におけるフラミンゴの攻撃行動と種の関係性について
加藤千歳¹, 原千慧², 藤島成邦³, 池上美鈴⁴, 北尾拓磨³, 横坂楓, 山本真也^{5,6,7} (¹ 大阪府立北野高等学校, ² 関西大倉高等学校, ³ 京都大学農学部, ⁴ 京都大学経済学部, ⁵ 京都大学人と社会の未来研究院, ⁶ 京都大学高等研究院, ⁷ 京都大学野生動物研究センター)
- P-8 ヒヒの城で飼育しているアマビスヒヒのケガの部位、回数と順位の関係について
川原宇翔, 荒木謙太, 辻内祐美, 高野智 (公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-9 マントヒヒの非侵襲的な繁殖抑制方法の検討
菊村風穂, 永峰令子, 秋元哲, 勝見智, 井上渚, 伊藤綾夏, 鮫島弘士, 鈴木大河, 荒巻玲, 平野芽生 (鹿児島市平川動物公園)
- P-10 文化面からみる Primates と人との関わりについて
小宮山はつよ (日本モンキーセンター友の会)
- P-11 クロミミマーモセットのオスの活動時間割合における同居メスとの関係の影響
櫻井美月 (南山高等学校女子部)
- P-12 ヤクシマザルの登攀・下降運動時の姿勢と利用する支持体の選好
佐竹まどか¹, 半谷吾郎² (¹ 宇都宮大学地域創生科学研究科, ² 京都大学生態学研究センター)
- P-13 日本モンキーセンターにおけるシロガオオマキザルの育児と成長およびノドジロオマキザル人工哺育の取り組み
高田晃行, 坂口真悟, 阿野隆平, 浮瀬百々香 (公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-14 特別展「音声展」を振り返る ～来場者アンケートから～
高野智, 赤見理恵, 江藤彩子, 阪倉若菜 (公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-15 大型類人猿情報ネットワーク (GAIN) を介した類人猿の遺体の有効活用率の変遷
武田康祐^{1,2}, 綿貫宏史朗^{1,2}, 平田聡¹ (¹ 京都大学野生動物研究センター, ² 公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-16 SNS を活用した市民参加型調査の有用性について～アビシニアコロブスの行動観察を例に～
武田直子, 星野智紀 (公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-17 2024 年度モンキーキャンパス受講生有志による屋久島研修ツアー
中村千晶¹, 小宮山はつよ¹, 甲田眞佐枝¹, 甲田彰¹, 中野直子¹, 石樽玲子¹, 森本裕里¹, 加藤美知子¹, 中野洋二郎¹, 杉本憲治¹, 川原宇翔^{1,2}, 赤見理恵^{1,2} (¹ 日本モンキーセンター友の会, ² 公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-18 高齢ニシゴリラに対するヒト用補助食品適用の試み～加齢による身体機能低下に備えて～
林直弘¹, 中村千晶¹, 石橋ゆき子¹, 森香奈¹, 綿貫宏史朗² (¹ 日本モンキーセンター友の会, ² 公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-19 中部学院大学教育学部における日本モンキーセンターを活用した授業実践
林美里^{1,2}, 梅田裕介¹ (¹ 中部学院大学, ² 公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-20 飼育下バーバリーマカクにおけるメスの性皮腫脹の記録
廣澤麻里^{1,2}, 土性亮賀¹, 田中ちぐさ¹, 星野智紀¹, 武田直子¹, 綿貫宏史朗^{1,2} (¹ 公益財団法人日本モンキーセンター, ² 京都大学野生動物研究センター)

- P-21 飼育下における糖尿病を患った霊長類のケア
藤森唯, 奥村文彦, 奥川みらい, 武田康祐, 岡部直樹(公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-22 飼育下アヌビスヒヒにおける「隊列」順序にある規則性と社会構造の推定
松尾花¹, 國枝匠², 高野智³, 荒木謙太³, 川原宇翔³, 和田玲央⁴, 井原泰雄¹, 松田一希², 香田啓貴⁴ (¹東京大学理学部, ²京都大学野生動物研究センター, ³公益財団法人日本モンキーセンター, ⁴東京大学総合文化研究科)
- P-23 アフリカ館における空室活用による動物の移動変遷
宗像大和, 阿野隆平, 星野智紀(公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-24 フクロテナガザルの成長したメスの子の両親の歌への参加
矢野由季乃(南山中学校女子部)
- P-25 アジアゾウにおける耳仰ぎ行動のコミュニケーション機能と個体間関係
山口諒¹, 濱田小太郎¹, 北尾拓磨², 後藤千夏², 平山陽菜², 藤島成邦², 村上聡², 田辺雄亮³, 横坂楓, 山本真也^{4,5,6} (¹関西大倉高等学校, ²京都大学農学部, ³京都大学理学部, ⁴京都大学人と社会の未来研究院, ⁵京都大学高等研究院, ⁶京都大学野生動物研究センター)
- P-26 日本におけるゴリラ飼育の「はじまり」に関する考察
綿貫宏史朗^{1,2} (¹公益財団法人日本モンキーセンター, ²京都大学野生動物研究センター)
- P-27 モンキーバレイでみられるヤクシマザルの文化的行動の紹介
堀川晴喜, 奥村文彦, 赤見理恵(公益財団法人日本モンキーセンター)

2. シンポジウムの共催

- (1) 第6回 動物園水族館大学シンポジウム
主催：京都大学野生動物研究センター
日程：2025年2月23日・24日
方式：会場参加・オンライン参加のハイブリッド
会場：名古屋港ポートビル(愛知県名古屋市)

3. 研究会の受入

- (1) 第32回サル疾病ワークショップ
主催：サル類の疾病と病理のための研究会
日程：2024年7月6日
会場：ビジターセンターホール

(9) 展示、保全、環境教育及び 社会普及活動に関わる人材の育成

1. 京都大学野生動物研究センター実習

- (1) 野生動物・動物園科学基礎論
内容：レクチャー、飼育実習、標本実習、来園者調査など
日程：2024年6月14日～6月16日 8名

2. 飼育研修の受け入れ 計4名

- (1) Pacific Collegiate School (アメリカ合衆国) 卒業生
2024年7月1日～7月31日 1名
- (2) 帯広畜産大学
2024年9月9日～9月22日 5年生1名
- (3) 名古屋 ECO 動物海洋専門学校
2025年2月27日～3月10日 1年生1名
2025年3月3日～3月16日 1年生1名

3. 名古屋 ECO 動物海洋専門学校作業実習の受け入れ 計106名

- 2024年11月21日 54名
2025年1月16日 52名

4. 職場体験・インターンシップの受け入れ 計14名

- (1) 大成高等学校
2024年8月1日 2年生1名
- (2) 愛知県立犬山総合高等学校
2024年8月22日～8月23日 1年生1名
- (3) 各務原市立緑陽中学校
2024年10月24日～10月25日 2年生3名
- (4) 豊田市立豊南中学校
2024年10月30日～11月1日 2年生2名
- (5) 犬山市立東部中学校
2024年11月7日～11月8日 2年生2名
- (6) 各務原市立鶴沼中学校
2024年11月27日～11月28日 2年生3名
- (7) 犬山市立南部中学校
2024年12月4日～12月5日 2年生2名

5. 博物館実習の受け入れ 計17名

- (1) 名古屋芸術大学
2024年7月28日～8月8日 1名
2024年9月26日～10月6日 4年生1名
- (2) 酪農学園大学
2024年7月29日～8月8日 4年生1名
- (3) 広島大学
2024年8月8日～8月19日 4年生1名
- (4) 岐阜大学
2024年8月8日～8月19日 3年生1名
2025年2月20日～3月3日 3年生1名
- (5) 帯広畜産大学
2024年8月22日～9月2日 4年生1名
- (6) 都留文科大学
2024年8月22日～9月2日 3年生1名
- (7) 中部大学
2024年9月14日～9月27日 4年生2名
- (8) 京都産業大学
2024年9月26日～10月6日 4年生1名

- (9) 名城大学
 2024年10月10日～10月21日 4年生1名
 2024年10月23日～10月28日および
 11月13日～11月16日 4年生1名
 2024年11月20日～11月30日 4年生1名
- (10) 岡山理科大学
 2024年10月10日～10月21日 4年生1名
- (11) 帝京科学大学
 2024年10月31日～11月11日 4年生2名

6. 獣医実習の受け入れ 計1名

- (1) 岡山理科大学
 2024年6月24日～6月28日 獣医学部5年生1名

(10) その他

1. 友の会

会員数：1,086名（2025年3月31日時点）
 うち、サポート会員 273名

年会費：サポート会員	5,000円以上
大人（高校生以上）	4,000円
小中学生	2,000円
幼児（3才以上）	1,500円

- (1) モンキーセンター友の会 NEWS LETTER の発行
 Vol. 11-1（通巻第21号）2024年9月14日 発行
 Vol. 11-2（通巻第22号）2025年3月1日 発行

(2) 友の会のつどいの開催

① 第19回

日程：2024年4月7日 10:30～12:00
 会場：ビジターセンターホール
 （収録動画を会員限定ページで公開）
 内容：講演「世界最大の魚・ジンベエザメの話」
 下村実（JMC 附属動物園長）
 JMC 活動報告
 マンドリルの群れ調整の近況報告 土性亮賀
 モンキーキャンパスサークル活動
 会員限定〇×クイズ大会（14:00～）

② 第20回

日程：2024年10月13日 10:30～12:00
 会場：ビジターセンターホール
 （収録動画を会員限定ページで公開）
 内容：講演「野生動物の腸内細菌研究と保全科学
 —日本とウガンダの動物園の挑戦—」
 牛田一成（中部大学、JMC 理事）
 JMC 活動報告
 クラウドファンディング 田中ちぐさ

(3) サポーター専用ページの運用

2017年4月1日より運用開始
 2024年度中に記事13本を公開

2. 日本モンキーセンター団体協賛制度

2022年4月9日より運用開始
 協賛団体（2025年3月現在）
 天野エンザイム株式会社
 株式会社畑中建築事務所
 株式会社フェイスワン

3. 日本モンキーセンター大学等賛助会員制度

会員校（2025年3月現在）
 中部大学
 名古屋 ECO 動物海洋専門学校
 中部学院大学

4. オンラインサロン「猿分補給」

2021年3月6日より運用開始
登録メンバー数：142名（2025年3月31日時点）
月額会費：1,000円以上
プラットフォーム：
CAMPFIRE
ブログ「飼育の部屋」（限定記事を公開）
Discord
内容：飼育員による限定記事配信
オンライン交流会の開催など

5. 博物館登録

- (1) 博物館法改正にともなう再登録
2024年11月1日 愛知県教育委員会に申請書類提出
12月6日 愛知県教育委員会による現地調査
12月17日 博物館登録完了

6. 会議・研修

- (1) 令和6年度EHUB-JMC-KS 獣医師合同カンファレンス
(Zoomによるオンライン開催)
- ① 第1回合同カンファレンス
日程：2024年4月25日
報告：ヤクシマザル上顎骨の扁平上皮癌に対する
手術適応症例
岡部直樹
- ② 第2回合同カンファレンス
日程：2024年6月13日
報告：ヤクシマザル尻ダコの扁平上皮癌に対する
治療と安楽死処置の考察
岡部直樹
- ③ 第3回合同カンファレンス
日程：2024年8月8日
報告：クロミミマーモセット難産に対する開腹手術
適応症例
岡部直樹
- ④ 第4回合同カンファレンス
日程：2024年11月28日
報告：ニホンザル臀部肉腫に対する手術適応症例
岡部直樹

(2) 愛知県博物館協会

- ① 令和6年度愛知県博物館協会総会
日程：2024年6月14日
場所：名古屋市科学館（愛知県名古屋市） 高野智
- ② 令和6年度愛知県博物館協会職員研修会
日程：2024年10月22日
場所：豊田市博物館・豊田市美術館（愛知県豊田市）
高野智、新宅勇太

(3) 日本動物園水族館協会

- ① ゴリラ計画推進会議
日程：2024年10月28日～10月29日
方式：オンライン参加 田中ちぐさ
- ② チンパンジー計画推進会議拡大会議
日程：2025年3月8日
方式：オンライン参加 綿貫宏史朗

7. その他

- (1) 宮島サル問題対策連絡会議
日程：2024年6月7日
場所：宮島（広島県廿日市市）
伊谷原一、下村実、綿貫宏史朗
- (2) 第43回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に
関する研究会
日程：2024年6月22日
方式：オンライン開催 新宅勇太

- (3) 小型ボイラー取扱技能講習
日程：2024年8月5日～6日
場所：ワークプラザ岐阜（岐阜県岐阜市） 土性亮賀
- (4) アーク溶接講習
日程：2025年2月24日～26日
場所：那加クレーンセンター（岐阜県各務原市） 阿野隆平
- (5) あいちサイエンスフェスティバル2024 第2回実行委員会
日程：2025年3月6日
方式：オンライン 高野智
- (6) 尾張北部生態系ネットワーク総会
日程：2025年3月10日
場所：犬山市役所（愛知県犬山市） 高野智

II 収益事業

(1) 動物園における物品並びに飲食物販事業

1. ミュージアムショップの運営

- 場所： ビジターセンター内
取扱商品： 書籍、海外民芸品、美術作品、
オリジナル雑貨、菓子類、委託販売品等
新規商品の開発：
動物園イベント関連デザイン商品の開発
(タオル、てぬぐいなど)

2. 他企業との商品開発

- (1) 澤田酒造（愛知県常滑市）
オリジナルラベル商品の販売
第8弾：「タロウさんとこのみかんのおさけ」
2024年4月20日～
第9弾：「嗅鼻乃狐猿」 10月5日～
第10弾：「X（テン）」 12月21日～
- (2) 株式会社ユニクロ
UTme!にてオリジナルデザイン商品のオンデマンド
販売（衣料品）
- (3) GMO ペパボ株式会社
オンラインサイト SUZURIにてオリジナルデザイン
商品のオンデマンド販売（衣料品、スマホケースなど）
- (4) LINE 株式会社
クリエイターズスタンプの販売
- (5) 株式会社電通
京都大学野生動物研究センターとコラボした
キーホルダーの販売
- (6) Amazon
Merch by Amazonにてオリジナルデザイン商品の
オンデマンド販売（日・米・独・伊で展開、衣料品）
- (7) 柳沢製茶かつき園（鹿児島県志布志市）
オリジナルラベル商品の販売
- (8) swan's cafe（愛知県犬山市）
奇跡のミカンを使ったパウンドケーキの販売
（100個限定） 2025年2月1日～

3. 自動販売機の設置

オリジナルラッピングを施した自動販売機を
園内15か所に設置

4. YouTube 動画配信の収益化

広告およびスーパーチャットの導入

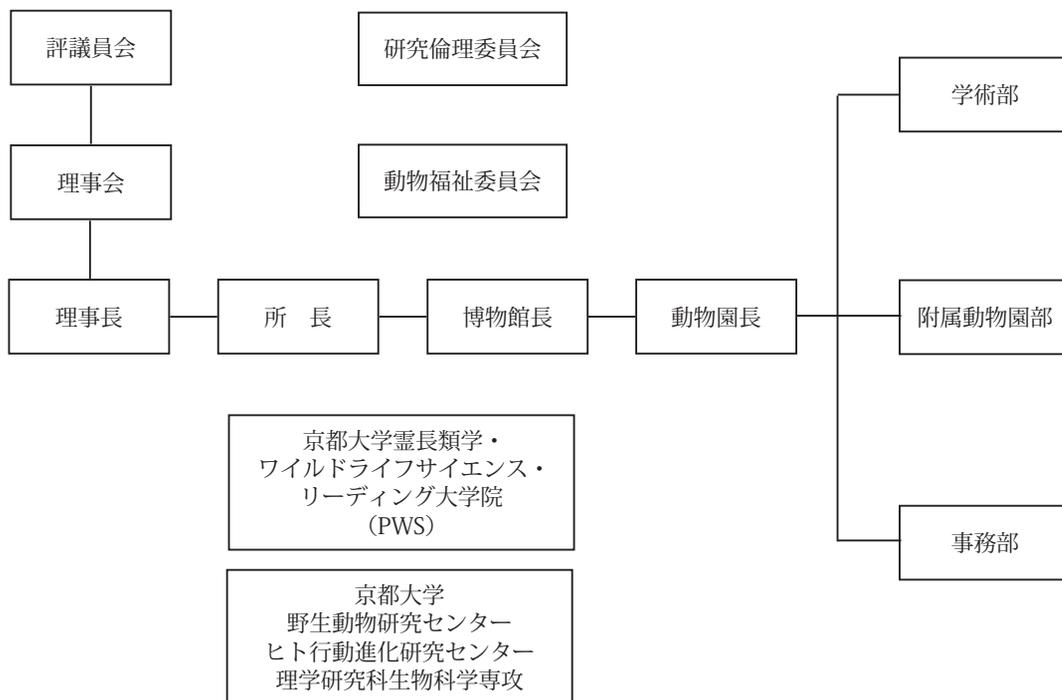
(2) 所有する土地・建物の賃貸事業

1. 犬山市大字犬山字官林他 土地建物
賃貸先：京都大学
目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究
2. 犬山市大字善師野字小野洞他 土地
賃貸先：京都大学
目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究
3. 犬山市大字犬山字官林 建物
賃貸先：京都大学
目的：教育等
4. 犬山市大字犬山字官林（JMC管理棟） 建物
賃貸先：（株）名鉄インプレス
目的：日本モンキーパークの運営
5. 犬山市大字犬山字官林 駐車場施設
賃貸先：（株）名鉄インプレス
目的：駐車場
6. 犬山市大字犬山字官林 土地
賃貸先：グレー株式会社
目的：太陽光発電

III 総務

(1) 組織

1. 組織図 (2025年3月31日現在)



2. 役員 (2025年3月31日現在、50音順、敬称略)

理事長	
山極 壽一	総合地球環境学研究所 所長
常務理事	
伊谷 原一	京都大学野生動物研究センター センター長 日本モンキーセンター 所長
湯本 貴和	京都大学名誉教授 日本フードスタディーズカレッジ 学長
中村 美知夫	京都大学大学院理学研究科 准教授
理事	
牛田 一成	中部大学創発学術院 教授
下村 実	日本モンキーセンター 附属動物園長
長谷川 壽一	独立行政法人大学改革支援・学位授与 機構 参与
古橋 幸長	名古屋鉄道株式会社 常務執行役員
明和 政子	京都大学大学院教育学研究科 教授
吉川 泰弘	共和化工株式会社環境微生物研究所 所長

監事	
中野 雄介	清友税理士法人 代表
松下 明	名古屋鉄道株式会社 常任監査役
評議員	
今井 啓雄	京都大学ヒト行動進化研究センター 副センター長
小川 秀司	中京大学国際教養学部 教授
川本 祥子	国立遺伝学研究所 准教授
齋藤 垂矢	京都芸術大学文明哲学研究所 教授
坂本 英房	京都市動物園 シニアアドバイザー
鷲見 勝彦	株式会社名鉄インプレス 社長
田中 正之	京都市動物園 生き物・学び・研究 センター長
村山 美穂	京都大学野生動物研究センター 教授
平田 聡	京都大学野生動物研究センター 教授
細江 航	名古屋市東山動物園 園長

3. 職員（2025年3月31日現在、同日付退職者を含む）

理事長・博物館長（兼任）

山極 壽一（総合地球環境学研究所・所長）

所長

伊谷 原一（京都大学野生動物研究センター・センター長）

動物園長

下村 実

国際学術顧問

James R. Anderson（京都大学名誉教授）

学術部長

林 美里（中部学院大学・准教授）

附属動物園部長・キュレーター（兼任）、動物取扱責任者

綿貫 宏史朗（京都大学野生動物研究センター・技術補佐員）

学術部

高野 智 キュレーター、標本・資料管理責任者

赤見 理恵 キュレーター、教育責任者

新宅 勇太 キュレーター
（京都大学野生動物研究センター・特定准教授）

豊田 有 リサーチフェロー
（日本学術振興会・国際競争力強化研究員、
タイ国立霊長類研究センター・
アライアンス・リサーチャー）

Raquel Costa 研究員
（日本学術振興会・外国人特別研究員）

江藤 彩子 エducーター

阪倉 若菜 エducーター

武田 康祐 獣医師兼任
（京都大学野生動物研究センター・特定研究員）

國枝 匠 研究補助員
（京都大学野生動物研究センター・技術補佐員）

附属動物園部

岡部 直樹 獣医師・病院長
（京都大学野生動物研究センター・特定研究員）

江戸 暢章

奥村 文彦 動物管理責任者

坂口 真悟 施設・設備管理責任者

田中 ちぐさ

辻内 祐美 企画責任者

星野 智紀 飼育責任者

阿野 隆平

荒木 謙太

浮瀬 百々香

奥川 みらい

川崎 千穂

川原 宇翔

高田 晃行

武田 直子

土性 亮賀

廣澤 麻里（京都大学野生動物研究センター・特定研究員）

藤森 唯

堀川 晴喜

宗像 大和

事務部

安倍 由里香

今井 由香

根本 真菜美

大岡 幸男

仙石 久子

大坊 早苗

木村 陽子

柴田 彩子

鈴木 かさね

(2) 人事

1. 採用

2025年1月1日付
附属動物園部 江戸暢章

2. 就任

2024年4月1日付
附属動物園長 下村実

3. 退職

2024年11月30日付
附属動物園部 工藤大輝

2025年3月31日付
学術部 豊田有
学術部 Raquel Costa

4. 退任

2025年3月31日付
所長 伊谷原一
理事長・博物館長 山極壽一
国際学術顧問 James R. Anderson

(3) 総務

1. 理事会、評議員会の開催

(1) 第27回公益財団法人日本モンキーセンター理事会
日程：2024年6月5日

(2) 第15回公益財団法人日本モンキーセンター
定時評議員会
日程：2024年6月20日

(3) 第28回公益財団法人日本モンキーセンター理事会
日程：2024年6月28日（みなし決議）

(4) 第29回公益財団法人日本モンキーセンター理事会
日程：2025年3月13日

(5) 第16回公益財団法人日本モンキーセンター
臨時評議員会
日程：2025年3月27日（みなし決議）

2. 訓練の実施

(1) 大型類人猿脱出時対策訓練（捕獲訓練）
2024年12月11日

3. 研修の実施

(1) ハラスメント防止講習会 2025年1月29日

(4) 寄附

1. 寄附受領

(1) 寄附金の受入

単位：円

法人寄附	126,624,786
個人寄附	31,359,341
合計	157,984,127

(2) 寄附物品の受領

① 動物用飼料の寄附

年間で 102 品目、693 件を受領

② Amazon ほしいものリストの運用

2019 年 4 月 25 日運用開始

③ 中古でもいいからほしいものリストの掲載

2019 年 8 月 20 日開始

④ その他寄附物品の受領

(3) 株式会社 OHANA「Hello! OHANA」

生産者から直送される飼料をアプリを通じて寄附
動物の採食動画を返礼として受け取るサービス
2023 年 10 月 1 日開始

(4) クラウドファンディング

「動物たちの暮らしをまもり、未来へつなぐ！」

期間：2024 年 4 月 1 日～2024 年 5 月 31 日

プラットフォーム：READYFOR

目標金額：10,700,000 円

(ネクストゴール：15,940,000 円)

支援金額：16,472,790 円

支援件数：1066 件

返礼品：オリジナルデザインのグッズやガイドツアー、
ヤクシマザルがカチカチならした石など

実施項目：

剥製標本修復

2024 年 7 月 1～5 日、9 月 10 日～14 日

無線機納品 8 月 27 日

血液検査機器納品 9 月 6 日

新アフリカ館スプリンクラー設置 9 月 12 日

KA 暖房 2 台の搬入・設置

9 月 30 日～10 月 2 日

アフリカセンターキュービクル交換 10 月 5 日

令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

令和 7 年 6 月

公益財団法人日本モンキーセンター